

EPSON

CPS ソフトリッパー Plus3
ユーザーズガイド

PostScript® ソフトウェアインタープリタ



Adobe® PostScript® 3™

NPD1492-00

商標およびご注意

Apple の名称、ロゴ、漢字 Talk、AppleTalk、Macintosh、Power Macintosh、PowerBook、ColorSync、FireWire および TrueType は米国その他の国における米国アップルコンピュータ社の登録商標または商標です。

Adobe、Adobe ロゴ、Adobe Illustrator、Adobe Photoshop、Adobe PageMaker、PostScript、Acrobat は Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）およびその子会社の各国での登録商標または商標です。

PowerPC は米国 IBM コーポレーションの商標です。

Quark、QuarkXPress は Quark 社の登録商標です。

GretagMacbeth は GretagMacbeth Holding AG. Logo の登録商標です。ProfileMaker は LOGO GmbH の商標です。

本書に記載したその他の製品名は、その所有者の登録商標または商標です。

ご注意

- ① 本書の内容の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
- ② 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- ③ 本書の内容については、万全を期して作成いたしました但、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気づきの点がありましたらご連絡ください。
- ④ 運用した結果の影響については、③項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- ⑤ 本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者以外の第三者により修正・変更されたこと等に起因して生じた障害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。

もくじ

はじめに

本製品の特長.....	8
使用時の注意.....	10

Windows での使用方法

セットアップについて	12
使用可能なプロトコルについて	12
プリンタ共有（SMB）環境でのサーバの設定	14
プリンタ共有（SMB）環境でのクライアントの設定.....	18
LPR 接続でのサーバのセットアップ	22
LPR 接続でのクライアントのセットアップ	26
LPR ポートの設定.....	32
印刷を始める前に	35
EPSON PS Server の準備.....	35
EPSON PS Server の起動.....	38
印刷の手順	40
プリンタドライバの設定項目について.....	42
[印刷設定] ダイアログ	42
[詳細オプション] ダイアログ	44
その他の印刷方法.....	49
ファイルへの出力	49
ドラッグ&ドロップによる印刷.....	51
[ファイル] メニューから印刷.....	51
ホットフォルダを使用して印刷（EPSON PS Utility）	52
カラーシミュレーション機能について.....	53
CMYK/RGB カラーシミュレーションとは.....	53
設定と印刷の手順	54
フチなし印刷を行うには.....	57
フチなし印刷が可能な用紙とサイズ.....	57
カスタム用紙サイズでのフチなし印刷のご注意.....	57
フチなし印刷の手順	58
EPSON PS Server の使用方法.....	61
ファイルの直接印刷	61
初期設定.....	62
共有フォルダ設定	63
プリンタ初期設定	64
カラーマネージャ設定	70
プリンタの再選択	76
メッセージのクリア	76
メインウィンドウ	77

[ヘルプ] メニュー	78
EPSON PS Manager について	79
EPSON PS Manager の概要	79
インストール	79
起動	80
終了方法	82
EPSON PS Manager の操作	82
EPSON PS Utility について	86
EPSON PS Utility の概要	86
EPSON PS Utility の起動方法	86
EPSON PS Utility 使用方法	87
ホットフォルダの作成方法	88
ホットフォルダプロパティ画面について	89
ホットフォルダの削除方法	91
EPSON PS Utility の終了方法	92
インク情報の更新方法	93
サーバでの更新作業	93
クライアントでの更新作業	94

Mac OS X での使用方法

セットアップについて	97
使用可能なプロトコルについて	97
AppleTalk 接続でのプリンタの追加	99
Rendezvous 接続でのプリンタの追加	102
TCP/IP (LPR) 接続でのプリンタの追加	104
印刷を始める前に	107
EPSON PS Server の準備	107
印刷の手順	112
用紙設定の手順	112
印刷設定の手順	113
プリンタドライバの設定項目について	114
[ページ設定] ダイアログ	114
[プリント] ダイアログ	117
その他の印刷方法	128
ファイルへの出力	128
ドラッグ&ドロップによる印刷	129
[ファイル] メニューから印刷	130
ホットフォルダを使用して印刷 (EPSON PS Folder)	130
カラーシミュレーション機能について	131
CMYK/RGB カラーシミュレーションとは	131
設定と印刷の手順	132
フチなし印刷を行うには	135
フチなし印刷が可能な用紙とサイズ	135

カスタム用紙サイズでのフチなし印刷のご注意	135
フチなし印刷の手順	136
EPSON PS Server の使用方法	139
ファイルの直接印刷	139
環境設定	140
プリンタ初期設定	145
カラーマネージャ設定	150
プリンタの再選択	155
メッセージのクリア	156
メインウィンドウの表示 / 非表示	156
[ヘルプ] メニューについて	157
EPSON PS Manager について	158
EPSON PS Manager の概要	158
インストール	158
起動	161
終了方法	163
EPSON PS Manager の操作	163
ホットフォルダについて	167
ホットフォルダの概要	167
ホットフォルダの作成方法	167
[ホットフォルダプロパティ] 画面について	172
ホットフォルダの削除方法	174
インク情報の更新方法	175
サーバでの更新作業	175
クライアントでの更新作業	177

Mac OS 9 クライアントでの使用方法

印刷を始める前に	180
使用可能なネットワークプロトコルについて	180
プリンタの選択	183
AppleTalk の場合	183
TCP/IP (LPR) の場合	185
印刷の手順	190
用紙設定の手順	190
印刷設定の手順	191
プリンタドライバの設定項目について	192
[用紙設定] ダイアログ	192
[プリント] ダイアログ	198
ファイルへの出力	211
カラーシミュレーション機能について	213
CMYK/RGB カラーシミュレーションとは	213
設定と印刷の手順	214
フチなし印刷を行うには	217

フチなし印刷が可能な用紙とサイズ	217
カスタム用紙サイズでのフチなし印刷に関するご注意	217
フチなし印刷の手順	218
EPSON PS Manager について	221
EPSON PS Manager の概要	221
起動	221
終了方法	223
EPSON PS Manager の操作	223
インク情報の更新方法	227

付録

RGB カラー印刷について	229
RGB 印刷用 PPD ファイルの機能	229
RGB 用 PPD ファイルのインストールについて	230
困ったときは	231
本製品をアンインストールしたい	235
ソフトウェア上でのカラーマネージメント設定	236
各プリンタ用 ICC プロファイルについて (Mac OS 9、Mac OS X の場合)	236
用紙種類 / 解像度と ICC プロファイルの一覧	237
PX-5500 用の用紙種類と、その対応 ICC プロファイル名	237
PX-6500 用の用紙種類と、その対応 ICC プロファイル名	238
インストールされるファイル、フォルダ	240
索引	244



はじめに

ここでは、本製品の特長と使用上の注意について説明します。

● 本製品の特長	8
● 使用時の注意	10

本製品の特長

本製品は、エプソンインクジェットプリンタを PostScript プリンタとしてお使いいただくためのアプリケーションソフトです。プリンタ本体が PostScript に対応していなくても、本製品を使って一般の PostScript プリンタと同じ感覚で使用できます。本製品の特長は次の通りです。

■ EPSON PS Server のプリントサーバ機能

本製品の中心的なソフトウェア「EPSON PS Server」は、コンピュータからの印刷命令を処理して、プリンタを PostScript プリンタとして機能させて印刷を行います。ネットワーク環境で、1 台のコンピュータに EPSON PS Server をインストールし、そのコンピュータをプリントサーバとして、他の複数コンピュータ（クライアント）から、プリンタを共有して印刷できます。また、スタンドアロン接続も使用できます。

■ EPSON PS Manager の印刷ジョブ管理機能

EPSON PS Server の印刷ジョブを管理・コントロールするユーティリティソフト「EPSON PS Manager」を装備しています。EPSON PS Manager を使って、以下のことができます。

- 印刷ジョブの再印刷、印刷設定の変更が可能。
- 印刷ジョブのプレビュー（サムネイル）表示が可能。
- FTPを使用してEPSON PS Serverに印刷ファイルの転送が可能（Mac OS Xサーバはサポートしていません）。

■ ファイルの直接印刷（管理者権限でのみ印刷可）

PostScript ファイル、EPS ファイル、PDF（Ver. 1.5）ファイル、JPEG ファイル、TIFF ファイルの直接印刷ができます。お使いのアプリケーションソフトウェアから直接印刷できるだけでなく、アプリケーションを起動することなく、これらの形式のファイルを印刷することができます。

■ PS Folder を使用したホットフォルダによる印刷をサポート

最大 16 個の PS Folder を作成して、個々の PS Folder に印刷設定を行うことでドラッグ&ドロップで印刷できます。

■ EPSON Color Base を使用したプリンタキャリブレーションに対応

「EPSON Color Base」（本製品には含まれません）を使用すれば、プリンタ個体ごとの色合いを調整して、プリンタ間の色の違いを最小限に抑えるキャリブレーションを行うことができます。なお、EPSON Color Base は本製品に同梱されていません。EPSON Color Base については、下記エプソンのホームページをご覧ください。
<http://www.i-love-epson.co.jp/>

■ オフセット印刷機色のシミュレーション機能を搭載

本製品は「CMYK シミュレーション機能」を搭載しています。最終的にオフセット印刷機で印刷する CMYK 色をシミュレート（再現）できます。シミュレートできる印刷機の色は、「DIC」、「TOYO」、「SWOP」、「Euro」、「JMPA」、「JapanColor2001」の 6 つの中から選択できます。さらに、カスタムプロファイルを使用することで、上記 6 種類以外の CMYK シミュレーションも可能です。

■ RGB カラーのシミュレーション機能を搭載

本製品は「RGB シミュレーション機能」を搭載しています。RGB プロファイルを使用して、RGB カラーをシミュレート（再現）できます。代表的な「Adobe RGB」、「Apple RGB」の 2 つの中から選択できます。さらに、カスタムプロファイルを使用することで、その他の RGB シミュレーションも可能です。

■ プリンタに同梱されている標準プリンタドライバの色合いに近い RGB カラー印刷を実現

プリンタに同梱されている標準プリンタドライバに近い RGB データの出力が可能です。色補正方法として、「自然な色合い」、「あざやかな色合い」、「EPSON 基準色 (sRGB)」、「Adobe RGB」をサポートしています。

参考

- RGB 用の PPD ファイルを選択する必要があります。
- RGB カラー印刷を行う場合は、「CMYK シミュレーション」と「RGB シミュレーション」は使用できません。RGB カラー印刷について、詳細は次のページを参照してください。

△ 本書 229 ページ「RGB カラー印刷について」

■ 市販の Type 1/CID フォントが利用可能（Windows は不可）

本製品の標準フォント以外にも、市販のさまざまな欧文 Type 1 フォントや和文 CID フォントで印刷できます。ただし、OCF フォントは使用できません。

- 市販のプリンタフォントは、本製品のEPSON PS Serverをインストールした1台のコンピュータにインストールします。各フォントパッケージに添付されている標準のインストーラでインストールできます。必ずEPSON PS Serverを先に起動しておいてから、プリンタフォントをインストールしてください。フォントのインストール手順については、フォントの取扱説明書をお読みください。
- 印刷を行うコンピュータには、スクリーンフォントやATMフォントをインストールします。

■ 市販の OpenType フォントが利用可能

Windows 版および Mac OS 版の OpenType フォントを、印刷を行う各コンピュータにインストールして印刷できます。フォントのインストール手順については、フォントの取扱説明書をお読みください。

参考

本製品は OpenType フォントのダイナミックダウンロード機能に対応しています。お使いのアプリケーションソフトがダイナミックダウンロードに対応していれば OpenType フォント用の特殊なプリンタフォントは必要はありません。

使用時の注意

本製品のプリントサーバ機能（EPSON PS Server）を管理する方は、次の点に注意してください。

■ スリープ機能について

プリントサーバがスリープしないようにしてください。スリープすると EPSON PS Server が正常に動作せず、印刷できない場合があります。

- Windows の場合
[電源オプションのプロパティ] の [電源設定] ダイアログで [電源設定] を [常にオン] に設定してください。
- Mac OS X の場合
[省エネルギー] の [スリープ] を無効にしてください。

■ FTP サーバまたは LPR サーバについて

FTP サーバまたは LPR サーバが動作しているコンピュータでは、EPSON PS Server の一部の機能が正常に動作しません。EPSON PS Server を起動するときは、これらのサービスを終了してください。終了方法については、各サービスのソフトウェアの取扱説明書を参照してください。

■ Mac OS X のパーソナル Web 共有について

Mac OSX 版の EPSON PS Server で EPSON PS Manager を使用したジョブの操作を行うには、[共有] の [パーソナル Web 共有] の機能をオンにする必要があります。

■ OS のログオンユーザ権限について

EPSON PS Server の実行には Administrator（管理者）権限のユーザでログオンする必要があります。

■ Windows XP SP2 のファイアウォールの設定について

WindowsXPSP2 の場合は、EPSON PS Server をファイアウォールの例外対象に設定します。

- ① Windows XP SP2 で [スタート] - [コントロールパネル] を選択し、コントロールパネル画面で [Windows ファイアウォール] をダブルクリックします。
- ② Windows ファイアウォールの画面で [例外] タブをクリックし、[例外] タブ画面で [プログラムの追加] をクリックします。
- ③ [プログラムの追加] 画面で [EPSON PS Server] を選択し、[OK] をクリックします。
- ④ [Windows ファイアウォール] の [例外] 画面で、[EPSON PS Server] が登録され、チェックが付いていることを確認したら、[OK] をクリックします。



Windows での使用方法

ここでは、Windows で使用する方法について説明します。

● セットアップについて	12
● LPR ポートの設定	32
● 印刷を始める前に	35
● 印刷の手順	40
● プリンタドライバの設定項目について	42
● その他の印刷方法	49
● カラーシミュレーション機能について	53
● フチなし印刷を行うには	57
● EPSON PS Server の使用方法	61
● EPSON PS Manager について	79
● EPSON PS Utility について	86
● インク情報の更新方法	93

セットアップについて

使用可能なプロトコルについて

EPSON PS Server が稼動する OS と印刷を行う OS の組み合わせにより、使用できるプロトコル（コンピュータ間でデータをやりとりする手順・規約）が異なります。

下表から OS と使用可能なプロトコルの組み合わせと、それぞれのプロトコルに応じた前提条件〔A〕～〔F〕を確認してください。

プリントサーバ接続

		プリントサーバの OS (EPSON PS Server 稼動コンピュータ)	
		Mac OS X	Windows 2000/XP
クライアントの OS	Mac OS 9	AppleTalk [A] TCP/IP (LPR)	TCP/IP (LPR) [B]
	Mac OS X	AppleTalk [C] Rendezvous TCP/IP (LPR)	TCP/IP (LPR) [D]
	Windows 2000/XP	TCP/IP (LPR) [E]	SMB [F] TCP/IP (LPR)

以下の「XXX → YYY」という記載について、「XXX」がクライアントの OS を示し、「YYY」はプリントサーバの OS を示します。

〔A〕Mac OS 9 → Mac OS X

Mac OS 9 ではクライアントとして印刷できますが、本製品のプリントサーバとしては使用できません。

TCP/IP (LPR) を使用する場合、〔セレクトA〕でプリンタ名は表示されません。〔セレクトA〕では〔Adobe PS〕を選択してください。

〔B〕Mac OS 9 → Windows2000/XP

Mac OS 9 の〔セレクトA〕からは本製品を利用したプリンタ名が表示されません。デスクトップ・プリンタを作成します。

📖 本書 183 ページ「プリンタの選択」

また、Windows2000/XP をプリントサーバとした場合、プリンタフォントの追加はできません。

〔C〕Mac OS X → Mac OS X

Mac OS X から印刷する場合、カスタム用紙サイズの作成や解像度の指定方法など、制限事項や注意事項があります。Mac OS X ドライバの注意事項についての詳細は、ユーザーズガイドまたはエプソンのホームページ (i-love-epson) でご確認ください。

[D] Mac OS X → Windows2000/XP

Mac OS X から印刷する場合、カスタム用紙サイズの作成や解像度の指定方法など、制限事項やの注意事項があります。Mac OS X ドライバの注意事項についての詳細は、ユーザーズガイドまたはエプソンのホームページ (i-love-epson) でご確認ください。また、Windows2000/XP をプリントサーバとした場合、プリンタフォントの追加はできません。

[E] Windows2000/XP → Mac OS X

Windows2000/XP の [LPR Port] を必ず使用してください。

[Standard TCP/IP Port] を使用した接続は動作保証外となります。

[F] Windows2000/XP → Windows2000/XP

Windows のプリンタ共有 (SMB) を利用する場合、クライアントのコンピュータにログオンするユーザアカウントにはプリントサーバのコンピュータに対する Administrator 権限が必要です。

TCP/IP を使用する場合は、必ず Windows2000/XP の [LPR Port] を使用してください。[Standard TCP/IP Port] を使用した接続は動作保証外となります。

また、Windows2000/XP をプリントサーバとした場合、プリンタフォントの追加はできません。

スタンドアロン接続

本製品をスタンドアロン接続で使用する場合でも、システム内部ではプリントサーバとクライアントソフトがネットワークによる通信を行います。下表から OS と使用可能なプロトコルの組み合わせと、それぞれのプロトコルに応じた前提条件 ([G] ~ [H]) を確認してください。

Mac OS X	Windows2000/XP
TCP/IP (LPR) [G] AppleTalk	PS Port (SMB) [H] TCP/IP (LPR)

[G] Mac OS X スタンドアロン接続

Mac OS X 環境から印刷する場合、TCP/IP (LPR) の使用を推奨します。AppleTalk の利用には、物理的にネットワークに接続された環境が必要です。TCP/IP (LPR) を使用する場合は必ず EPSON PS Server インストール後に [環境設定] メニューで確認したアドレスを設定してください。

🔗 本書 99 ページ「AppleTalk 接続でのプリンタの追加」

🔗 本書 104 ページ「TCP/IP (LPR) 接続でのプリンタの追加」

また、カスタム用紙サイズの作成や解像度の指定方法など、制限事項や注意事項があります。Mac OS X ドライバの注意事項についての詳細は、ユーザーズガイドまたはエプソンのホームページ (i-love-epson) でご確認ください。

[H] Windows2000/XP

Windows2000/XP 環境に EPSON PS Server をインストールすると、「PS Port」が追加されます。通常はこの PS Port を使用してください。

TCP/IP を使用する場合は必ず Windows2000/XP の [LPR Port] を使用してください。[Standard TCP/IP Port] を使用した接続は動作保証外となります。

また、Windows2000/XP 環境ではプリンタフォントの追加はできません。

プリンタ共有（SMB）環境でのサーバの設定

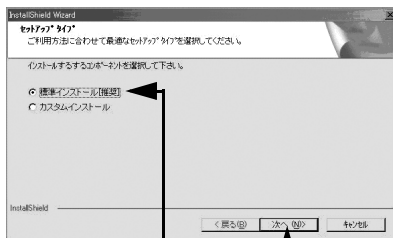
- 1 コンピュータの電源をオンにし、Windows を起動します。
- 2 プリンタに同梱されている標準プリンタドライバがインストールされていることを確認します。
プリンタドライバのセットアップについては、プリンタの取扱説明書を参照してください。
- 3 CD-ROM をセットします。
インストーラが自動的に起動して、インストールの画面が表示されます。



インストールの画面が表示されない場合は

- ① [スタート] メニューから [ファイル名を指定して実行] を選択します。
- ② [名前] に「CD-ROM ドライブ名: \<drive>\launch.exe」と入力して [OK] をクリックします。

- 4 [次へ] をクリックします。
- 5 使用許諾契約の画面で内容を確認して、[はい] をクリックします。
- 6 [標準インストール] を選択して [次へ] をクリックします。



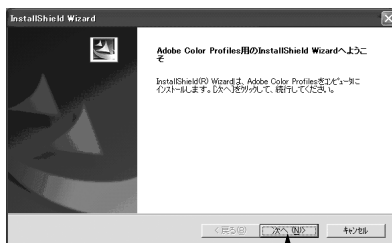
① 選択して

② クリックします

- 7 インストールの情報を確認して [次へ] をクリックします。

Adobe Color Profiles のインストール

- 8 Adobe Color Profile のインストール画面が表示されたら [次へ] をクリックします。



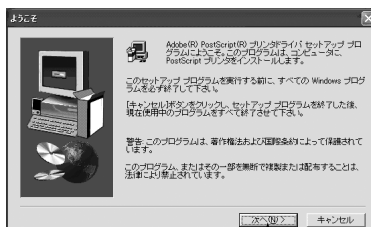
クリックします

- 9 使用許諾契約の画面で内容を確認して、[はい] をクリックします。

Adobe PostScript ドライバのインストール

続いて、Adobe PostScript ドライバのインストールを行います。

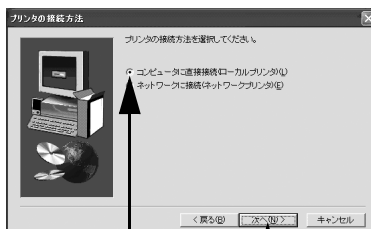
- 10 Adobe PostScript ドライバのインストール画面が表示されたら [次へ] をクリックします。



クリックします

- 11 使用許諾の画面で内容を確認して、[同意する] をクリックします。

- 12 [コンピュータに直接接続（ローカルプリンタ）] を選択して [次へ] をクリックします。



①選択して

②クリックします

- 13 [PS Port] を選択して [次へ] をクリックします。



①選択して

②クリックします

！注意

オプションのネットワークインターフェイスカードでネットワーク接続する場合も、必ず [コンピュータに直接接続 (ローカルプリンタ)] を選択して [PS Port] を設定する必要があります。

- 14 [参照] クリックし、CD-ROM ドライブ名: ¥ Japanese¥psdriver¥adobe¥winxp を選択して [OK] をクリックします。



①選択して

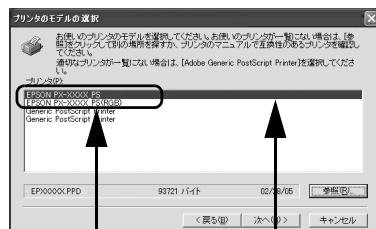
②クリックします

- 15 プリンタのモデル (PPD ファイル) を選択して [次へ] をクリックします。

プリンタごとに 2 種類の PPD ファイル (CMYK 用 / RGB 用) が用意されています。

- 通常は CMYK 用の PPD を選択してください (RGB 用の PPD では機能が限定されています)。
- RGB データを、プリンタに同梱されている標準プリンタドライバ (EPSON 基準色 sRGB 等) と同様の色合いで PostScript 印刷したいときに、RGB 用の PPD を選択します。RGB 用 PPD の詳細は以下のページを参照してください。

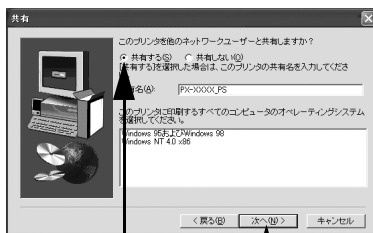
📖 本書 229 ページ「RGB 印刷用 PPD ファイルの機能」



①選択して

②クリックします

- 16 [共有する] を選択して [次へ] をクリックします。(共有名は任意に設定してください。)



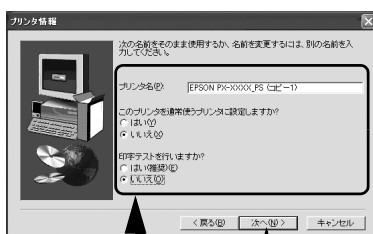
① 選択して ② クリックします

！注意

[このプリンタに印刷するすべてのコンピュータのオペレーティングシステムを選択してください] の項目に [Win95 or 98 or NT4] が表示されていますが、この項目は選択しないでください。

- 17 プリンタ情報を設定して [次へ] をクリックします。

- [プリンタ名] を確認または変更します。
- 通常使うプリンタにするか、しないかを選択します。
- [テスト印刷を行いますか] には必ず [いいえ] をクリックします。



① 設定して ② クリックします

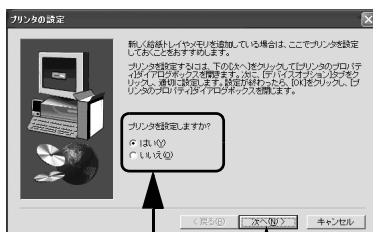
！注意

- 初期設定では [テスト印刷を行いますか] には [はい] が選択されています。
- 初めてインストールする時は、EPSON PS Server が起動していませんので、テスト印刷をしないでください。

- 18 設定内容を確認して [次へ] をクリックします。

- 19 プリンタを設定するかどうかを選択して [次へ] をクリックします。

- 通常は [はい] を選択して後で設定してください。
- 必要に応じて [はい] をクリックして、表示された画面でプリンタの設定を行ってください。



① 設定して ② クリックします

参考

プリンタの設定は、インストール後もプリンタドライバのプロパティを開いて行えます。

- 20 [完了] をクリックします。
[Readme ファイルを開く] にチェックをしていると、注意事項や最新の情報が掲載されている Readme ファイルが開きます。

以上でサーバの設定環境は終了です。
続いてクライアントの設定を行います。

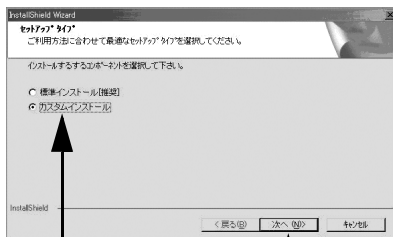
プリンタ共有（SMB）環境でのクライアントの設定

- 1 コンピュータの電源をオンにし、Windows を起動します。
- 2 CD-ROM をセットします。
インストーラが自動的に起動して、インストールの画面が表示されます。



インストールの画面が表示されない場合は
① [スタート] メニューから [ファイル名を指定して実行] を選択します。
② [名前] に「CD-ROM ドライブ名: \launch.exe」と入力して [OK] をクリックします。

- 3 [次へ] をクリックします。
- 4 使用許諾契約の画面で内容を確認して、[はい] をクリックします。
- 5 [カスタムインストール] を選択して [次へ] をクリックします。



① 選択して

② クリックします

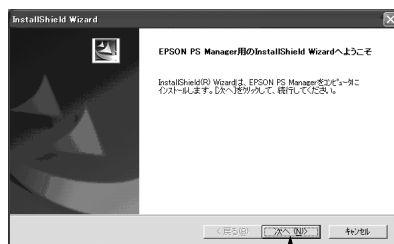
- 6 [サーバーソフト] のチェックを外して [次へ] をクリックします。



- 7 インストールの情報を確認して [次へ] をクリックします。

EPSON PS Manager のインストール

- 1 EPSON PS Manager のインストール画面が表示されたら、[次へ] をクリックします。



- 2 画面の指示に従ってインストールを進めます。

- 3 EPSON PS Manager のインストール終了画面が表示されたら、[完了] をクリックします。

EPSON PS Utility のインストール

- 1 EPSON PS Utility のインストール画面が表示されたら、[次へ] をクリックします。



- 2 画面の指示に従ってインストールを進めます。
- 3 EPSON PS Utility のインストール終了画面が表示されたら、[完了] をクリックします。

Adobe PostScript ドライバのインストール

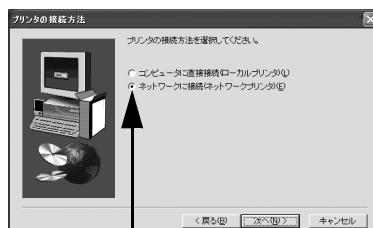
- 1 Adobe PostScript ドライバのインストール画面が表示されたら [次へ] をクリックします。



クリックします

- 2 使用許諾の画面で内容を確認して、[同意する] をクリックします。

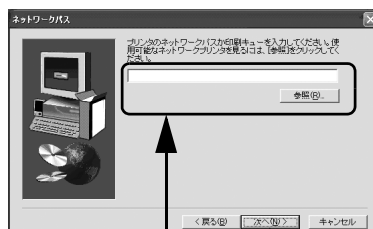
- 3 [ネットワークに接続（ネットワークプリンタ）] を選択して [次へ] をクリックします。



①選択して

②クリックします

- 4 プリンタのネットワークパスを入力するか、[参照] をクリックして共有設定を行ったプリンタを選択して [次へ] をクリックします。



①選択して

②クリックします

5 プリンタ情報を確認して [次へ] をクリックします。

- 通常使うプリンタにするか、しないかを選択します。
- [テスト印刷を行いますか] には必ず [いいえ] をクリックします。



①確認して

②クリックします

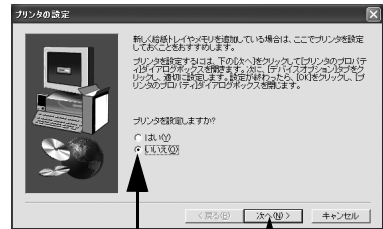
！注意

- 初期設定では [テスト印刷を行いますか] には [はい] が選択されています。
- 初めてインストールする時は、EPSON PS Server が起動していませんので、テスト印刷をしないでください。

6 設定内容を確認して [次へ] をクリックします。

7 プリンタを設定するかどうかを選択して [次へ] をクリックします。

- 通常は [いいえ] を選択して後で設定してください。
- 必要に応じて [はい] をクリックして、表示された画面でプリンタの設定を行ってください。



①選択して

②クリックします

参考

プリンタの設定は、インストール後もプリンタドライバのプロパティを開いて行えます。

8 [完了] をクリックします。

[Readme ファイルを開く] にチェックをしていると、注意事項や最新の情報が掲載されている Readme ファイルが開きます。

以上でクライアント環境でのセットアップは終了です。

LPR 接続でのサーバのセットアップ

- 1 本製品をインストールするシステムから Windows を起動します。
- 2 プリンタに同梱されている標準プリンタドライバがインストールされていることを確認します。
プリンタに同梱されている標準プリンタドライバのセットアップについては、プリンタの取扱説明書を参照してください。

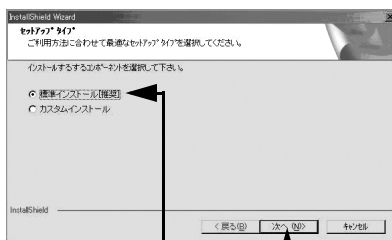
- 3 CD-ROM をセットします。
インストーラが自動的に起動して、インストールの画面が表示されます。



インストールの画面が表示されない場合は

- ① [スタート] メニューから [ファイル名を指定して実行] を選択します。
- ② [名前] に「CD-ROM ドライブ名:\launch.exe」と入力して [OK] をクリックします。

- 4 [次へ] をクリックします。
- 5 使用許諾契約の画面で内容を確認して、[はい] をクリックします。
- 6 [標準インストール] を選択して [次へ] をクリックします。



① 選択して

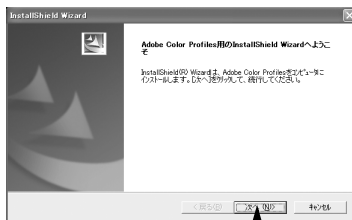
② クリックします

- 7 インストールの情報を確認して [次へ] をクリックします。

Adobe Color Profiles のインストール

続いて、Adobe Color Profiles のインストールを行います。

- 1 Adobe Color Profiles のインストール画面が表示されたら、[次へ] をクリックします。



クリックします

- 2 使用許諾契約の画面で内容を確認して、[はい] をクリックします。

[はい] をクリックするとインストールが行われます。画面が変わるまでしばらくお待ちください。

続いて EPSON PS Manager のインストール、EPSON PS Utility のインストールが行われます。

Adobe PostScript ドライバのインストール

続いて、Adobe PostScript ドライバのインストールを行います。

- 1 Adobe PostScript ドライバのインストール画面が表示されたら、[次へ] をクリックします。



クリックします

- 2 使用許諾契約の画面で内容を確認して、[同意する] をクリックします。

- 3 [コンピュータに直接接続（ローカルプリンタ）] を選択して [次へ] をクリックします。

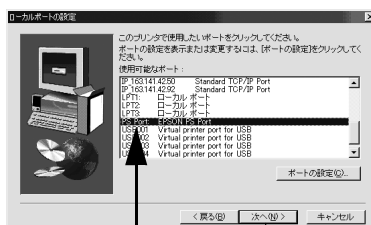


①クリックして ②クリックします

！注意

ネットワーク接続の場合も必ず[コンピュータに直接接続(ローカルプリンタ)]を選択します。

- 4 プリンタのポートを設定します。
[PS Port] を選択して [次へ] をクリックします。



①選択して ②クリックします

！注意

USB や IEEE1394 でプリンタと接続している場合にも必ず [PS Port] を選択します。

- 5 [参照] をクリックして、CD-ROM ドライブ名：¥ Japanese¥psdriver¥adobe¥winxp を選択して、[OK] をクリックします。



①選択して ②クリックします

6 プリンタのモデル（PPD ファイル）を選択して「次へ」をクリックします。

プリンタごとに2種類の PPD ファイル（CMYK 用 / RGB 用）が用意されています。

- 通常はCMYK用のPPDを選択してください。（RGB 用の PPD は機能が限定されます）
- RGB データを、プリンタに同梱されている標準プリンタドライバ（EPSON 基準色 sRGB 等）と同様の色合いで PostScript 印刷したいときに、RGB 用の PPD を選択します。RGB 用 PPD の詳細は以下のページをを参照してください。

📖 本書 229 ページ「RGB カラー印刷について」



① 選択して

② クリックします

7 「共有しない」を選択して「次へ」をクリックします。



① 選択して

② クリックします

8 プリンタ情報を設定して「次へ」をクリックします。

- 「プリンタ名」を確認または変更します。
- 通常使うプリンタにするか、しないかを選択します。
- 「印字テストを行いますか？」には、必ず「いいえ」を選択します。



① 設定して

② クリックします

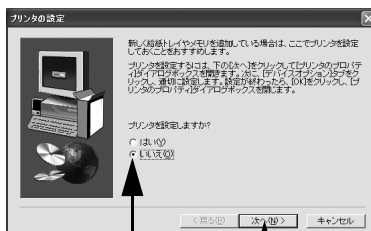
！注意

- 初期設定では「テスト印刷を行いますか」には「はい」が選択されています。
- 初めてインストールする時は、EPSON PS Server のセットアップが完了していないため、テスト印刷ができません。

9 設定内容を確認して「次へ」をクリックします。

10 プリンタを設定するかどうかが選択して [次へ] をクリックします。

- 通常は [いいえ] を選択して後で設定してください。
- 必要に応じて [はい] をクリックして、表示された画面でプリンタの設定を行ってください。

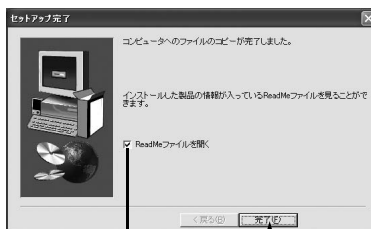


①選択して ②クリックします



プリンタの設定は、インストール後も PS プリンタドライバのプロパティを開いて行えます。

11 [完了] をクリックします。



クリックします

[ReadMe ファイルを開く] を選択して「はじめにお読みください」ファイルを開き、注意事項や最新の追加情報をお読みください。

以上でサーバへのインストールは終了です。次に接続先のポートの設定を行います。下記ページへ進んでください。

📖 本書 32 ページ「LPR ポートの設定」

LPR 接続でのクライアントのセットアップ

1 コンピュータの電源をオンにし、Windows を起動します。

2 CD-ROM をセットします。

インストーラが自動的に起動して、インストールの画面が表示されます。



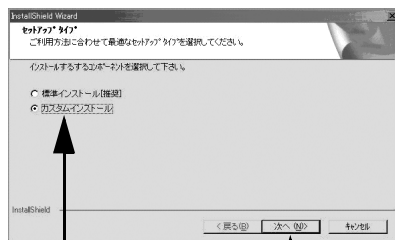
インストールの画面が表示されない場合は

- ① [スタート] メニューから [ファイル名を指定して実行] を選択します。
- ② [名前] に「CD-ROM ドライブ名: \>launch.exe」と入力して [OK] をクリックします。

3 [次へ] をクリックします。

4 使用許諾契約の画面で内容を確認して、[はい] をクリックします。

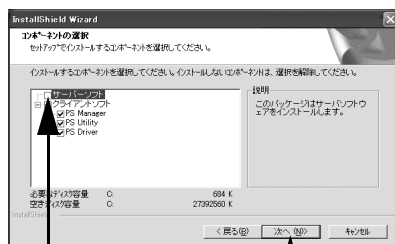
5 [カスタムインストール] を選択して [次へ] をクリックします。



① 選択して

② クリックします

6 [サーバーソフト] のチェックを外して [次へ] をクリックします。



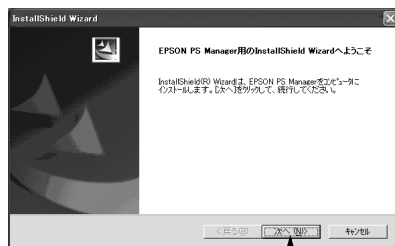
① チェックを外し

② クリックします

7 インストールの情報を確認して [次へ] をクリックします。

EPSON PS Manager のインストール

1 EPSON PS Manager のインストール画面が表示されたら、[次へ] をクリックします。



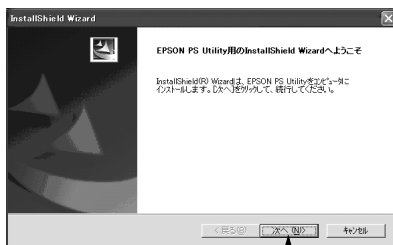
クリックします

2 画面の指示に従ってインストールを進めます。

3 EPSON PS Manager のインストール終了画面が表示されたら、[完了] をクリックします。

EPSON PS Utility のインストール

- 1 EPSON PS Utility のインストール画面が表示されたら、[次へ] をクリックします。

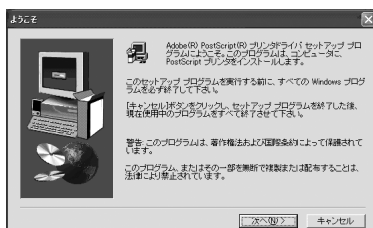


クリックします

- 2 画面の指示に従ってインストールを進めます。
- 3 EPSON PS Utility のインストール終了画面が表示されたら、[完了] をクリックします。

Adobe PostScript ドライバのインストール

- 1 Adobe PostScript ドライバのインストール画面が表示されたら [次へ] をクリックします。



クリックします

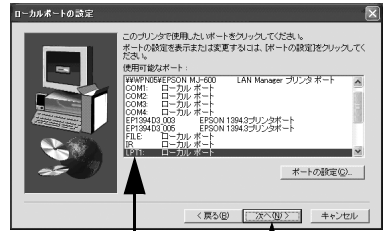
- 2 使用許諾の画面で内容を確認して、[同意する] をクリックします。
- 3 [コンピュータに直接接続（ローカルプリンタ）] を選択して [次へ] をクリックします。



①選択して

②クリックします

4 [LPT1] を選択して[次へ] をクリックします。



①選択して

②クリックします

5 [参照] クリックして、CD-ROM ドライブ名：
¥Japanese¥psdriver¥adobe¥winxp を選択
します。



①選択して

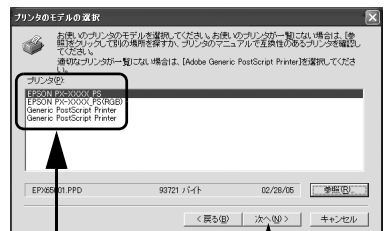
②クリックします

6 プリンタのモデル（PPD ファイル）を選択し
て[次へ] をクリックします。

プリンタごとに 2 種類の PPD ファイル
(CMYK 用 / RGB 用) が用意されています。

- 通常は CMYK 用の PPD を選択してください (RGB 用の PPD では機能が限定されています)。
- RGB データを、プリンタに同梱されている標準プリンタドライバ (EPSON 基準色 sRGB 等) と同様の色合いで PostScript 印刷したいときに、RGB 用の PPD を選択します。RGB 用 PPD の詳細は以下のページを参照してください。

📖 本書 229 ページ「RGB 印刷用 PPD ファイルの機能」



①確認して

②クリックします

- 7 [共有しない] を選択して [次へ] をクリックします。



① 選択して

② クリックします

- 8 プリンタ情報を設定して [次へ] をクリックします。

- [プリンタ名] を確認または変更します。
- 通常使うプリンタにするか、しないかを選択します。
- [テスト印刷を行いますか] には必ず [いいえ] をクリックします。



① 設定して

② クリックします

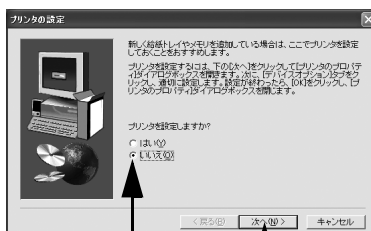
！ 注意

- 初期設定では [テスト印刷を行いますか] には [はい] が選択されています。
- 初めてインストールする時は、EPSON PS Server が起動していませんので、テスト印刷をしないでください。

- 9 設定内容を確認して [次へ] をクリックします。

- 10 プリンタを設定するかどうかを選択して [次へ] をクリックします。

- 通常は [いいえ] を選択して後で設定してください。
- 必要に応じて [はい] をクリックして、表示された画面でプリンタの設定を行ってください。



① 選択して

② クリックします

参考

プリンタの設定は、インストール後もプリンタドライバのプロパティを開いて行えます。

11 **【完了】をクリックします。**

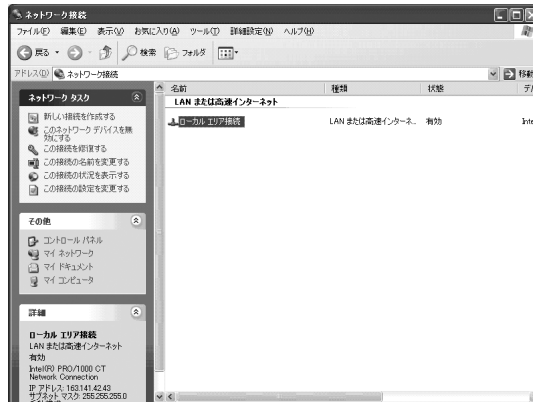
「Readme ファイルを開く」にチェックをしていると、注意事項や最新の情報が掲載されている Readme ファイルが開きます。

以上でインストールは終了です。
続いて LPR ポートの設定を行います。

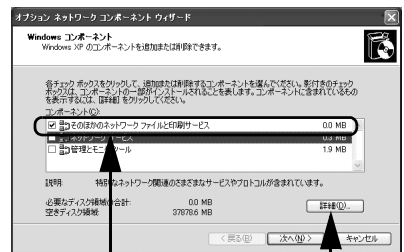
LPR ポートの設定

- 1 Windows の [スタート] - [コントロールパネル] - [ネットワークとインターネット接続] - [ネットワーク接続] の順にクリックします。

Windows 2000 の場合は、[スタート] - [設定] - [コントロールパネル] - [ネットワークとダイヤルアップ接続] を選択します。



- 2 [詳細設定] メニューから [オプションネットワークコンポーネント] を選択し、[その他のネットワークファイルと印刷サービス] を選択して「詳細」をクリックします。



①選択して

②クリックします

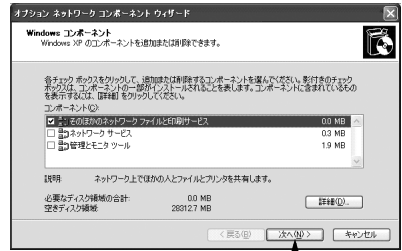
- 3 [UNIX 用印刷サービス] がチェックされていることを確認して、[OK] をクリックします。



①確認して

②クリックします

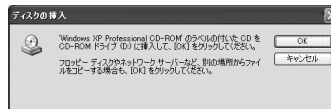
- 4 [オプションネットワークコンポーネントウィザード] のウィンドウで、[次へ] をクリックします。



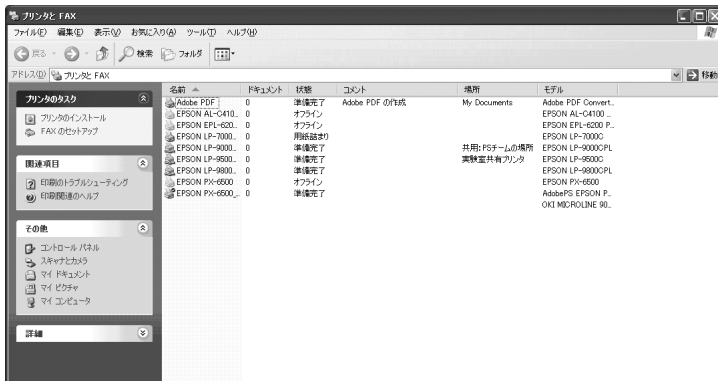
クリックします



次の画面が表示された場合は、CD-ROM ドライブに Windows 2000/XP のシステム CD-ROM を挿入します。



- 5 [スタート] をクリックし、[プリンタと FAX] を選択します。
Windows 2000 の場合は、[スタート] - [設定] - [プリンタ] の順に選択します。



- 6 使用するプリンタのアイコンを右クリックし、[プロパティ] を選択します。

- 7 プロパティダイアログボックスで[ポート] タブをクリックして、[ポートの追加] をクリックします。

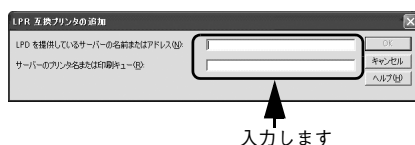


- 8 [LPR Port] を選択し、[新しいポート] をクリックします。

LPR Port が一覧にない場合、TCP/IP プロトコルをインストールしてください。詳細は Windows 2000/XP の取扱説明書を参照してください。



- 9 EPSON PS Server の IP アドレスを入力し、[サーバのプリンタ名または印刷キュー] には [print] と入力します。



！注意 [サーバのプリンタ名または印刷キュー] に入力する名前は、大文字、小文字が区別されるため、必ず「print」と入力してください。

- 10 [OK] をクリックします。

入力したIP アドレスまたはDNS 名がネットワーク上でチェックされ、アドレスエラーの場合はメッセージが表示されます。

- 11 [プリンタポート] ダイアログボックスの [ポート] 欄に新ポート名が表示されますので、内容を確認して [適用] をクリックします。

！注意 ポートを変更した場合、ここで [適用] をクリックして設定を有効にする必要があります。

以上で LPR ポートの設定は終了です。

印刷を始める前に

Windows から印刷する前に、EPSON PS Server を起動する必要があります。
以下の手順に従って、コンピュータの準備を整えてください。

EPSON PS Server の準備

電源オプションの設定

EPSON PS Server をインストールした PC がスリープしないように設定します。

① [コントロールパネル] を表示します。

- Windows XP の場合は、[スタート] - [コントロールパネル] の順にクリックします。
- Windows 2000 の場合は、[スタート] - [設定] - [コントロールパネル] の順にクリックします。

② [電源オプションのプロパティ] ダイアログを表示します。

- Windows XP の場合は、[パフォーマンスとメンテナンス] - [電源オプション] の順にクリックします。
- Windows 2000 の場合は、[電源オプション] をダブルクリックします。

③ [電源設定] タブをクリックし、[電源設定] で [常にオン] を選択して、[OK] をクリックします。



① クリックして
② 選択して
③ クリックします

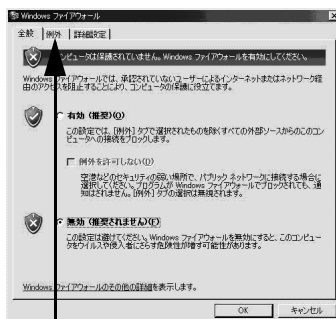
！ 注意

EPSON PS Server をインストールしたプリントサーバはスリープしないようにしてください。スリープすると EPSON PS Server が正常に動作せず、印刷できない場合があります。

- 4 [パフォーマンスとメンテナンス] ウィンドウ (Windows XP) または [コントロールパネル] ウィンドウ (Windows 2000) の右上の [×] をクリックして、ウィンドウを閉じます。

Windows ファイアウォールの設定

- 1 [スタート] - [コントロールパネル] を選択して、[セキュリティセンター] をクリックします。
- 2 [Windows ファイアウォール] をクリックします。
- 3 [例外] タブをクリックします。



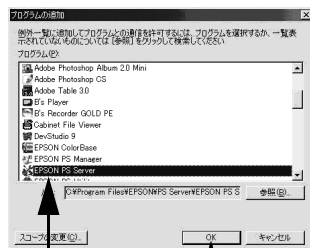
クリックします

- 4 [プログラムの追加] をクリックします。



クリックします

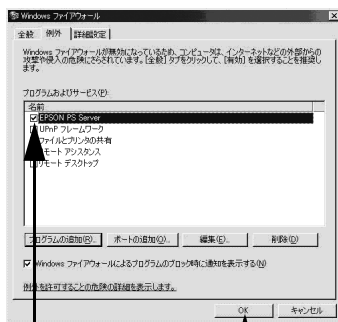
- 5 [EPSON PS Server] を選択して [OK] をクリックします。



①選択して

②クリックします

- 6 [EPSON PS Server] が登録され、チェックが付いていることを確認したら、[OK] をクリックします。



①確認して

②クリックします

起動する前に

EPSON PS Server を起動する前に、次の点に注意してください。

■ プリンタは印刷可能な状態ですか？

EPSON PS Server を起動する前にプリンタの動作確認を行って、プリンタに異常のないことを確認してください。動作確認の方法は、プリンタの取扱説明書をお読みください。

■ プリンタに同梱されている標準プリンタドライバと EPSON プリンタウィンドウ!3 はインストールされていますか？

EPSON PS Server を起動する場合、プリンタに同梱されている標準プリンタドライバと EPSON プリンタウィンドウ!3 がインストールされており、印刷可能な状態になっている必要があります。これらのソフトウェアがインストールされていない場合は、インストールしてから EPSON PS Server を起動してください。

■ 管理者権限のユーザアカウントでログオンしていますか？

EPSON PS Server を起動するには管理者 (Administrator) 権限が必要です。制限ユーザアカウントでは EPSON PS Server を起動できません。

■ SNMP プロトコルを使用するアプリケーションや FTP サーバ / LPR サーバが動作していませんか？

SNMP プロトコルを使用するアプリケーションや FTP サーバまたは LPR サーバが動作しているコンピュータでは、EPSON PS Server の一部の機能が正常に動作しません。EPSON PS Server を起動するときは、これらのサービスを終了してください。終了方法については、各サービスのソフトウェアの取扱説明書を参照してください。

EPSON PS Server の起動

印刷する前に、EPSON PS Server を起動してください。Windows 環境にインストールした EPSON PS Server は以下の手順で起動できます。

！注意

EPSON PS Server を起動する前に、Windows で以下のように設定してあるか確認してください。

- Administrator 権限のあるユーザアカウントでログオンしてください。
- コンピュータがスリープしないように設定してください。また、Windows XP SP2 の場合は、EPSON PS Server をファイアウォールの例外対象に設定します。設定方法は以下のページを参照してください。

📖 本書 10 ページ「使用時の注意」

- プリンタに同梱されている標準プリンタドライバと EPSON プリンタウィンドウ !3 が印刷可能な状態になっている必要があります。プリンタドライバがインストールされていない場合は、インストールしてから EPSON PS Server を起動してください。プリンタドライバのインストールと使用方法については、プリンタの取扱説明書を参照してください。

1 プリンタの電源をオンにします。

EPSON PS Server を起動する前に必ずプリンタの電源をオンにし、プリンタがエラー状態にないことを確認します。

参考

使用しているコンピュータに SNMP プロトコルを使用するアプリケーションや FTP サーバまたは LPR サーバが動作している場合は、EPSON PS Server の一部の機能が正常に動作しません。EPSON PS Server を起動するときは、これらのサービスを終了してください。終了方法については、各サービスのソフトウェアの取扱説明書を参照してください。

2 EPSON PS Server をインストールした Windows の [スタート] – [すべてのプログラム] または [プログラム] – [EPSON] – [CPS ソフトリッパー Plus3] – [EPSON PS Server] の順にクリックします。

EPSON PS Server が起動するとメインウィンドウが開き、印刷の状態やエラー状況を確認できます。EPSON PS Server の詳細は、以下のページを参照してください。

📖 本書 61 ページ「EPSON PS Server の使用方法」



- EPSON PS Server をインストール後初めて起動する場合は、以下のページを参照してライセンス番号を入力してください。
📖 セットアップガイド「ライセンス番号の入力」
- プリンタのインクの組み合わせを変更した場合は、以下のページを参照してください。
📖 本書 93 ページ「インク情報の更新方法」

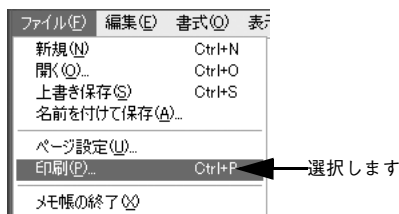
印刷の手順

EPSON PS Server が管理するプリンタが [プリンタと FAX] または [プリンタ] に追加されており、EPSON PS Server が起動していれば印刷できます。ここでは、Windows アプリケーションソフトでの基本的な印刷手順について説明します。実際に印刷データを作成する前に、プリンタドライバ上で印刷の向きなどを設定します。



アプリケーションソフトによっては、独自の用紙設定ダイアログを表示することがあります。その場合は、アプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

- 1 アプリケーションソフトを起動します。
- 2 [ファイル] メニューから [印刷] を選択します。
アプリケーションソフトによっては、コマンド名が異なる場合があります（[プリント] など）。



- 3 [印刷] ダイアログで、EPSON PS Server が使用するプリンタ（通常は EPSON XXXX_PS のように、機種名の末尾に PS が付いているプリンタ）を選択し、[詳細設定] または [プロパティ] をクリックします。

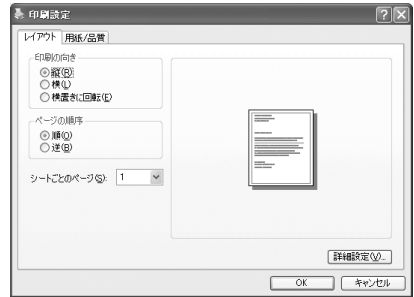


プリンタに同梱されている標準プリンタドライバ（EPSON PX-XXXX）と本製品の PS プリンタドライバ（EPSON PX-XXXX_PS）を混同しないよう使い分けてください。PostScript プリンタとして利用するには、本製品としてインストールされた PS プリンタドライバを使用してください。

4 各項目を設定します。

- 表示されている設定条件によれば、改めて設定する必要はありません。
- 各設定項目の説明は、以下のページをお読みください。

☞ 本書 42 ページ「[印刷設定] ダイアログ」



参考

- CMYK/RGB カラーシミュレーション機能を使用したり、フチなし印刷を行うなどプリンタ固有の機能を利用するには、[詳細オプション] ダイアログで設定してください。
☞ 44 ページ「[詳細オプション] ダイアログ」
- アプリケーションソフトによっては、独自の印刷ダイアログを表示する場合があります。その場合は、アプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。
- 設定項目の説明は、右クリックして表示される [ヘルプ] をクリックし、ヘルプを表示させてご覧いただける場合があります。

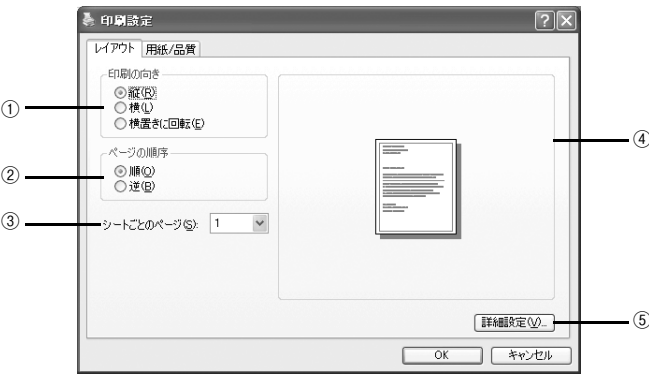
5 [OK] をクリックし、[印刷] ダイアログで [印刷] をクリックして印刷を実行します。

プリンタドライバの設定項目について

[印刷設定] ダイアログ

[印刷設定] ダイアログでは、印刷に関わる各種の設定を行います。

レイアウト



① 印刷の向き

印刷データを用紙に対してどの方向で印刷するか選択します。
[横向きに回転]を選択すると、用紙を反時計回りに 90° 回転して印刷します。

② ページの順序

設定	機能
順	最初のページから印刷します。
逆	最後のページから印刷します。

③ シートごとのページ

設定	機能
1	割付印刷しません。
2、4、6、9、16	連続した印刷データを 1 枚の用紙に、指定したページ数を割り付けて印刷します。

④ プレビューウィンドウ

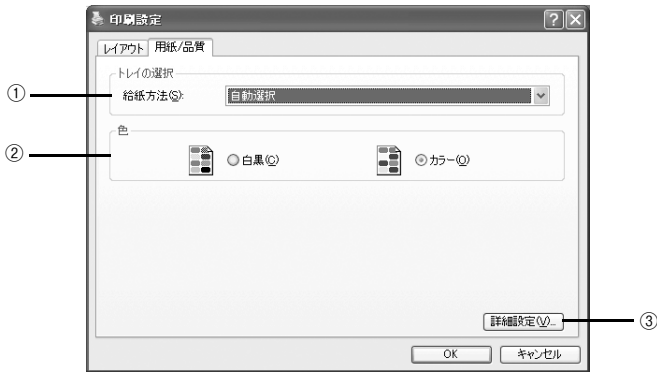
設定状況をイラストで表示します。

⑤ 詳細設定

[詳細オプション] ダイアログを開きます。

📖 本書 44 ページ「[詳細オプション] ダイアログ」

[用紙 / 品質] ダイアログ



① 給紙方法

〔自動選択〕 選択時、接続形態によって使用される給紙装置が次のように異なります。

- プリントサーバ、スタンドアロン接続の場合
プリンタ本体側と EPSON PS Server の〔プリンタ初期設定〕で、設定されている給紙装置が異なる場合、プリンタ本体側で設定されている給紙装置が使用されます。（プリンタ本体側の設定は、プリンタの操作パネルで確認できます。）
- クライアントの場合
プリンタ本体側と EPSON PS Server の〔プリンタ初期設定〕で、設定されている給紙装置が異なる場合、EPSON PS Server の〔プリンタ初期設定〕で設定されている給紙装置が使用されます。
この場合、EPSON プリンタウィンドウ !3 やプリンタの操作パネルに給紙装置変更のメッセージが表示されますので、メッセージに従って給紙装置を変更する必要があります。

📖 本書 64 ページ「プリンタ初期設定」

② 色

カラー / グレースケールの印刷方法を設定します。

設定	機能
白黒*	モノクロ（白黒）で印刷します。グレースケール（階調）は再現しません。
カラー	カラーまたはグレースケールで印刷するときに選択します。

* アプリケーションソフトによっては、〔白黒〕を選択してもカラーで印刷される場合があります。その場合は、〔詳細オプション〕ダイアログで〔インク〕を〔グレースケール〕に設定してください。

📖 本書 44 ページ「〔詳細オプション〕ダイアログ」

③ 詳細設定

〔詳細オプション〕ダイアログを開きます。

📖 本書 44 ページ「〔詳細オプション〕ダイアログ」

[詳細オプション] ダイアログ

[詳細オプション] ダイアログでは、プリンタ固有の機能を設定できます。プリンタの機種によって、設定できる機能や設定の選択肢が異なります。



各項目で、現在の設定では使用できない選択肢は、選択肢名の左側にが表示されます。

PX-5500 の例



用紙 / 出力

設定	機能
用紙サイズ	印刷する用紙サイズを選択します。
部数	印刷する部数を最大 9999 部まで設定できます。EPSON PS Server の [初期設定] で [ラスタープールモード] を有効にすると、高速に印刷することができます。 📖 本書 62 ページ「初期設定」

グラフィックス

設定	機能	
イメージの色の管理	カラーグラフィックの色の管理について設定します。詳細については、PS ドライバのヘルプを参照してください。	
拡大縮小	3% ～ 1000% の範囲で拡大または縮小して印刷できます。	
TrueType フォント	TrueType フォントのオプションを指定します。	
	デバイスフォントと代替 (初期設定)	TrueType フォントが含まれるデータを印刷するときに、同等のプリンタフォントを使います。印刷は高速化されますが、プリンタフォントでサポートされていない特殊文字は印刷されません。
	ソフトフォントとしてダウンロード	プリンタフォントを使わずに、TrueType フォントをダウンロードして印刷します。

ドキュメントのオプション

RGB 用 PPD ファイルを使用する場合、「CMYK シミュレーション」、「RGB シミュレーション」、「RGB レンダリングインテント」、「グレースケール制御」は設定できません。

📖 本書 229 ページ「RGB カラー印刷について」

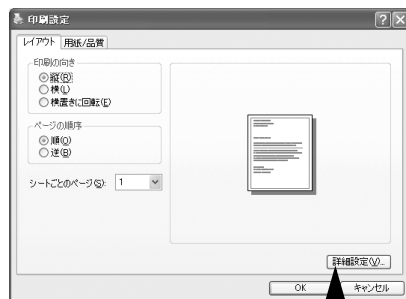
設定	機能	
詳細な印刷機能	印刷の詳細機能を有効にするかどうかを指定します。	
	有効（初期設定）	メタファイルスプーリングはオンになり、それぞれのプリンタに応じた、[ページの順序]、[ブックレット印刷]、[シートごとのページ数]などのオプションもオンになります。通常は[有効]に設定してください。
	無効	メタファイルスプーリングはオフになり、印刷オプションも利用不能になる可能性があります。互換性に関する問題が発生する場合は、[無効]に設定できます。
PostScript オプション	PostScript オプションを設定します。詳細については、PS ドライバのヘルプを参照してください。	
プリンタの機能	プリンタの印刷オプションを設定します。	
用紙種類	使用する用紙の種類を選択します。選択した[用紙種類]によって[解像度]に制限があります。[印刷品質] タブで設定されている[解像度]では使用できない用紙は🖨️で表示されます。用紙種類と解像度の組み合わせについては、以下のページを参照してください。 📖 本書 237 ページ「用紙種類 / 解像度と ICC プロファイルの一覧」	
解像度	印刷の解像度を選択します。選択した[解像度]によって[用紙種類]に制限があります。[用紙種類]では使用できない解像度は🖨️で表示されます。用紙種類と解像度の組み合わせについては、以下のページを参照してください。 📖 本書 237 ページ「用紙種類 / 解像度と ICC プロファイルの一覧」	
カラー	カラー印刷するかグレースケール印刷するかを設定します。	
	カラー（初期設定）	カラーで印刷します。
	グレースケール	グレースケール（階調）で印刷します。
双方向印刷	プリントヘッドが左右どちらに移動するときも印刷するかどうかを設定します。ただし、双方向印刷を行うと印刷品質が多少低下する場合がありますので、より高品質な印刷を行いたい場合はオフに設定してください。	
	オン（初期設定）	双方向印刷を行います。
	オフ	双方向印刷を行いません。

設定	機能	
CMYK シミュレーション (RGB用PPD選択時は表示されません)	オフセット印刷機の CMYK インク色を再現して印刷する場合に、シミュレーションする CMYK インクの色を選択できます。 📖 本書 53 ページ「カラーシミュレーション機能について」	
	オフ	シミュレーションしません。
	DIC	大日本インキ化学工業株式会社の DIC 標準色
	SWOP	SWOP™ 出版印刷色
	Euro	ヨーロッパの印刷色
	TOYO	東洋インキ製造株式会社の東洋インキ標準色
	JMPA	雑誌広告基準カラー（JMPA カラー）
	JapanColor2001(初期設定)	Japan Color 色再現印刷 2001 に準拠
	カスタム 1 ～ 10	EPSON PS Server に登録したカスタムプロファイルで定義した CMYK 印刷色
グレースケール制御 (RGB用PPD選択時は表示されません)	黒の調整方法を設定します。	
	オフ（初期設定）	CMYK4 色を混ぜて、黒の階調を表現します。
	オン	CMYK4 色の内、K のみを使用して黒の階調を表現します。
RGB シミュレーション (RGB用PPD選択時は表示されません)	RGB 色空間を CMYK 印刷でシミュレートする場合に、シミュレーションする RGB 色を選択できます。 📖 本書 53 ページ「カラーシミュレーション機能について」	
	オフ	シミュレーションしません。
	Adobe RGB（初期設定）	Adobe 社が定義する RGB 色
	Apple RGB	Apple 社が定義する RGB 色
	カスタム 1 ～ 10	EPSON PS Server に登録したカスタムプロファイルで定義した RGB 色
RGB レンダリングインテント (RGB用PPD選択時は表示されません)	出力装置が再現できる色には限界があり、特定の出力装置で色を再現する場合、指定した色の再現範囲を調整する必要があります。その再現範囲の調整方法の種類を選択します。本設定は、RGB シミュレーションのみに機能します。	
	知覚的（初期設定）	視覚的に自然なイメージになるように変換します。画像データが広範囲な色域を使用している場合に使用します。
	相対的な色域を維持	元データの色域座標と印刷時の色域座標が一致するように、さらに白色点（色温度）の座標値が一致するように変換します。多くのカラーマッチング時に使用されます。
	彩度	彩度を保持して変換を行います。
	絶対的な色域を維持	元データも印刷データも絶対的な色域座標に割り当てて変換します。元データと印刷データの白色点（色温度）は色調補正されません。ロゴカラーの印刷など、特殊な用途で使います。

設定	機能	
フチなし印刷	フチなし印刷を行うかどうかを設定します。フチなし印刷を「オフ」以外に設定したら、「用紙サイズ」で「PostScript カスタムページサイズ」を選択し、「カスタムページサイズの編集」で用紙設定を行います。 📖 本書 57 ページ「フチなし印刷を行うには」	
	オフ（初期設定）	フチなし印刷を行いません。
	カスタム設定（原寸維持）	原寸を維持した状態で、フチなし印刷を行います。この設定でフチなしを行うためには、予めカスタム用紙でフチなしにする用紙サイズ+左右 3mm の大きさの用紙を定義する必要があります。
	自動拡大（標準）	フチなし用紙を選択して印刷することでイメージを自動的に拡大してフチなし印刷を実現します。はみ出し量は、左右上下 3mm になります。
	自動拡大（多い）	フチなし用紙を選択して印刷することでイメージを自動的に拡大してフチなし印刷を実現します。はみ出し量は、左上下 3mm、右 5mm になります。
	自動拡大（少ない）	フチなし用紙を選択して印刷することでイメージを自動的に拡大してフチなし印刷を実現します。はみ出し量は、左右上下 1.5mm になります。
こすれ軽減 （PX-5500 のみ）	印刷こすれを軽減します。印刷こすれが発生したときのみオンにします。オンにすると、印刷速度が遅くなる場合があります。	
	オン	こすれ軽減の機能を有効にします。
	オフ（初期設定）	こすれ軽減の機能を有効にします。
自動回転 （PX-6500 のみ）	給紙装置で指定したロール紙の幅に応じて、用紙方向の自動回転を行うかを設定します。オンにする場合は、同時にロール紙の用紙幅を選択してください。	
	オフ（初期設定）	自動回転しません。
	オン [17 in] オン [420 mm] オン [16 in] オン [400mm] オン [14 in] オン [13 in] オン [12 in] オン [300 mm] オン [10 in] オン [210mm] オン [8 in]	自動回転します。 用紙幅を選択します。

設定	機能	
オートカット (PX-6500 のみ)	オートカッターを使用して用紙を切断するかを設定します。	
	カットなし（初期設定）	オートカッターは使用しません。
	カットあり	オートカッターで用紙を切断します。
	四辺フチなし 1 カット	四辺フチなし印刷時、オートカットを行います。 ページとページの間を 1 回のカットで切り離します。
	四辺フチなし 2 カット	四辺フチなし印刷時、オートカットを行います。 ページとページの間をカットする場合、ページの 終端をカットした後、用紙を送り出して次のペー ジの上端をカットします。
切り取り線印刷 (PX-6500 のみ)	切り取り線を印刷するかを設定します。	
	オフ（初期設定）	切り取り線を印刷しません。
	オン	切り取り線を印刷します。
待機	印刷せずに印刷ジョブを待機させるかを設定します。	
	オフ（初期設定）	印刷ジョブを待機しません（印刷します）。
	オン	印刷ジョブを待機します（印刷しません）。
ジョブ情報の印刷	ジョブ情報を印刷するかを設定します。	
	オフ（初期設定）	ジョブ情報を印刷しません。
	上端に印刷	ジョブ情報を用紙の上端に印刷します。
	下端に印刷	ジョブ情報を用紙の下端に印刷します。
	左端に印刷	ジョブ情報を用紙の左端に印刷します。
	右端に印刷	ジョブ情報を用紙の右端に印刷します。

4 [詳細設定] をクリックします。

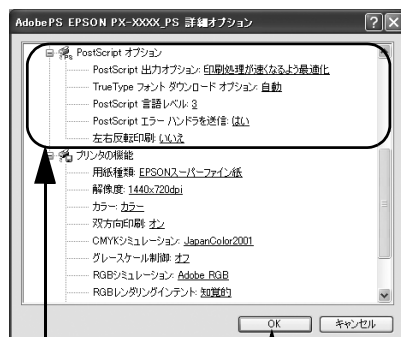


クリックします

5 [Post Script オプション] の各項目を設定し、[OK] をクリックします。

各項目の詳細は、以下のページを参照してください。

本書 44 ページ「[詳細オプション] ダイアログ」



①設定して

②クリックします

6 [印刷設定] ダイアログで [OK] をクリックし、[印刷] ダイアログで [印刷] をクリックします。

7 出力先のファイル名を入力して、[OK] をクリックします。



①入力して

②クリックします

ドラッグ&ドロップによる印刷

EPSON PS Server をインストールしてあるコンピュータであれば、ファイルへ出力した印刷ファイルを [EPSON PS Server] アイコンまたは EPSON PS Server のウィンドウに重ね合わせて（ドラッグ&ドロップ）印刷できます。また、アプリケーションソフトによってはドラッグ&ドロップで印刷できる PostScript/EPS ファイルを作成できる場合があります。

参考

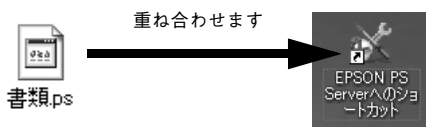
- EPSON PS Server のショートカットを作成してデスクトップに置くと、簡単にドラッグ&ドロップして印刷できるので便利です。
- 通常の印刷より速く処理を終えて印刷を始められます。

① 印刷したいファイルをクリックして反転表示させます。

② EPSON PS Server（またはそのショートカット）のアイコンまたはウィンドウにファイルをドラッグ&ドロップします。

選択したファイルをクリックしたまま、マウスを操作して EPSON PS Server（またはショートカット）のアイコンまたはウィンドウの上に重ね合わせ、マウスボタンを離します。EPSON PS Server はドロップしたファイルを読み込んで印刷を始めます。

＜例：EPSON PS Server のショートカットにドラッグ&ドロップする場合＞



参考

- [印刷設定] ダイアログは表示されません。読み込んだファイルは EPSON PS Server の [プリンタ初期設定] で設定した印刷条件に従って印刷されます。なお、ファイル出力時や PostScript/EPS ファイル作成時に [印刷設定] や [詳細オプション] ダイアログの設定を行っている場合は、それらの設定が EPSON PS Server の [プリンタ初期設定] より優先されます。
📖 本書 64 ページ「プリンタ初期設定」
- ファイルをドラッグ&ドロップしても EPSON PS Server が反転表示しない場合は、デスクトップの更新を実行してください。

[ファイル] メニューから印刷

EPSON PS Server の [ファイル] メニューから [開く] を選択し、印刷したいファイルを直接開いて印刷することができます。

印刷できるファイル形式と印刷方法については、以下のページを参照してください。

📖 本書 61 ページ「ファイルの直接印刷」

ホットフォルダを使用して印刷（EPSON PS Utility）

コンピュータ上にホットフォルダを作成し、印刷したいファイルをドラッグ&ドロップすることで印刷できます。詳細については、以下のページを参照してください。

📖 本書 86 ページ「EPSON PS Utility について」

カラーシミュレーション機能について

CMYK/RGB カラーシミュレーションとは



RGB 用 PPD ファイルを使用する場合は、CMYK/RGB カラーシミュレーションは行えません。
📖 本書 229 ページ「RGB カラー印刷について」

CMYK シミュレーション

ほとんどの PostScript 対応アプリケーションソフト日本語版（PageMaker、QuarkXPress、Illustrator、Photoshop < CMYK カラーモード>など）は、印刷機で使用する CMYK カラーを指定できます。これらのアプリケーションソフトから本製品で印刷する際に、CMYK シミュレーション機能を使用することにより、最終的に使用するオフセット印刷機の色（CMYK カラー）を再現（シミュレーション）することができます。本製品でシミュレーションできる CMYK カラーは、次の通りです。

設定	CMYK シミュレーション
オフ	CMYK シミュレーション機能を使用しません。
DIC	大日本インキ化学工業株式会社の DIC 標準色
SWOP	SWOP™ 出版印刷色
Euro	ヨーロッパ（Eurostandard）の印刷色
TOYO	東洋インキ製造株式会社の東洋インキ標準色
JMPA	雑誌広告基準カラー（JMPA カラー）
JapanColor2001 （初期設定）	Japan Color 色再現印刷 2001 に準拠
カスタム 1 ～ 10	EPSON PS Server の [カラーマネージャ設定] ダイアログで登録したカスタム CMYK プロファイルで定義している印刷色 📖 本書 70 ページ「カラーマネージャ設定」

RGB シミュレーション

一部の PostScript 対応アプリケーションソフト（Photoshop < RGB カラーモード>など）は、RGB カラーを指定できます。これらのアプリケーションソフトから本製品で印刷する際に、RGB シミュレーション機能を使用することにより、使用する RGB カラーを再現（シミュレーション）することができます。本製品でシミュレーションできる RGB カラーは、次の通りです。

設定	RGB シミュレーション
オフ	シミュレーションしません。
Adobe RGB（初期設定）	Adobe 社が定義する RGB 色
Apple RGB	Apple 社が定義する RGB 色
カスタム 1 ～ 10	EPSON PS Server の [カラーマネージャ設定] ダイアログで登録したカスタム RGB プロファイルで定義した RGB 色 📖 本書 70 ページ「カラーマネージャ設定」

！注意

本製品の CMYK/RGB シミュレーション機能をご利用いただく場合は、以下の点に留意してください。

- この機能を使用しても、必ずしも最終印刷物や RGB モニタと完全な色合わせが行えるわけではありません。出力機器（印刷機や RGB モニタ）には特性の違いや個体差があり、特定出力機器の色を完全にシミュレーションできないためです。
- 印刷物の色は、照明によって見え方が変化します。この機能は、D50 光源の照明下で印刷物を観測することを想定しています。
- アプリケーションソフト上でカラーマネージメント機能を設定する場合は、この機能は使用しないでください。

📖 本書 236 ページ「ソフトウェア上でのカラーマネージメント設定」

設定と印刷の手順

CMYK/RGB シミュレーションを行うには、以下の手順に従ってください。

参考

印刷を行うアプリケーションソフトや印刷条件により、手順が異なる場合があります。その場合は、アプリケーションソフトの取扱説明書をお読みください。また、必要に応じて手順中に表示されるそのほかの項目の設定を行ってください。

1 印刷するファイルを作成します。

- CMYK シミュレーションを行う場合は、色を CMYK カラーで指定して、ファイルを作成します。
- RGB シミュレーションを行う場合は、色を RGB カラーで指定して、ファイルを作成します。

参考

Adobe 社の Photoshop などのアプリケーションソフトは、CMYK や RGB のカラープロファイルを選択することができます。シミュレーションするカラー専用のプロファイルを選択してから、ファイルを作成してください。詳細は、アプリケーションソフトの取扱説明書をお読みください。

2 [プリント] ダイアログを開きます。

📖 本書 40 ページ「印刷の手順」

3 EPSON PS Server が使用するプリンタ（通常は EPSON XXXX_PS のように、機種名の末尾に PS が付いているプリンタ）を選択して、[詳細設定]（または [プロパティ]）をクリックします。

- 4 [印刷設定] ダイアログの [用紙 / 品質] タブをクリックし、[色] で [カラー] を選択します。



①クリックして

②クリックします

！注意

必ず [カラー] を選択してください ([白黒] ではカラーシミュレーションされません)。

- 5 [詳細設定] をクリックします。

- 6 [ドキュメントのオプション] の [プリンタの機能] の [インク] で [カラー] を選択します。

！注意

[グレースケール] を選択すると、CMYK シミュレーションは行われません。

- 7 [CMYK シミュレーション] と [RGB シミュレーション] で、シミュレーションの対象となるプロファイルを選択して、[OK] をクリックします。

- CMYK シミュレーションする場合は、以下のプロファイルから選択できます。

設定	CMYK シミュレーション
オフ	CMYK シミュレーション機能を使用しません。
DIC	大日本インキ化学工業株式会社のDIC 標準色をシミュレーションするプロファイルです。
SWOP	SWOP™ 出版印刷物をシミュレーションするプロファイルです。
Euro	ヨーロッパ (Eurostandard) の印刷物をシミュレーションするプロファイルです。
TOYO	東洋インキ製造株式会社の東洋インキ標準色をシミュレーションするプロファイルです。
JMPA	雑誌広告基準カラー (JMPA カラー) をシミュレーションするプロファイルです。
JapanColor2001 (初期設定)	Japan Color 色再現印刷 2001 に準拠
カスタム 1 ～ 10	EPSON PS Server の [カラーマネージャ設定] ダイアログで登録したカスタム CMYK プロファイルで定義している印刷色をシミュレーションします。 📖 本書 70 ページ「カラーマネージャ設定」

- RGB シミュレーションする場合は、以下のプロファイルから選択できます。

設定	RGB シミュレーション
オフ	シミュレーションしません。
Adobe RGB (初期設定)	Adobe 社が定義する RGB 色
Apple RGB	Apple 社が定義する RGB 色
カスタム 1 ～ 10	EPSON PS Server の [カラーマネージャ設定] ダイアログで登録したカスタム RGB プロファイルで定義した RGB 色をシミュレーションします。 📖 本書 70 ページ「カラーマネージャ設定」

参考

- CMYKデータであればCMYKシミュレーションが行われ、RGBデータであればRGBシミュレーションが行われます。
- シミュレーションを行わない場合は（プリンタ本来の色で印刷する場合は）、[オフ] を選択してください。
- アプリケーションソフト上でカラーマネージメント機能を設定する場合は、必ず [オフ] を選択してください。両方の機能を同時に使用すると、2 重にカラー補正されて正しい色で印刷できません。
📖 本書 236 ページ「ソフトウェア上でのカラーマネージメント設定」
- カスタムプロファイルを EPSON PS Server に登録する方法については、以下のページをお読みください。
📖 本書 70 ページ「カラーマネージャ設定」

- 8 [印刷設定] ダイアログで [OK] をクリックし、[印刷] ダイアログで [印刷] をクリックして印刷を実行します。

フチなし印刷を行うには

通常の印刷では、プリンタの構造上どうしても用紙の四辺に余白ができてしまい、用紙いっぱいに印刷することができません。本機のフチなし印刷機能を使用すると、用紙の四辺または左右にフチ（余白）のない印刷が可能になります。操作の手順は以下のページをお読みください。

📖 本書 58 ページ「フチなし印刷の手順」

フチなし印刷が可能な用紙とサイズ

本製品でフチなし印刷が可能な用紙とサイズは、お使いのプリンタの機種によって異なります。使用する用紙の種類に合わせて [用紙種類] を設定し、詳細オプションの [フチなし] をオンに設定します。フチなし印刷が可能な用紙と用紙サイズは、プリンタの機種により異なります。詳細については、プリンタの取扱説明書を参照してください。

参考

- 以下のエプソン純正専用紙をお使いいただくことをお勧めします。下記以外の組み合わせでは、プリントヘッドがこすれて印刷結果が汚れるおそれがあります。
- 市販の用紙をお使いいただく場合、対応する [用紙種類] の設定については、用紙の取扱説明書をお読みください（不明な場合は、用紙メーカーにお問い合わせください）。用紙によっては、プリントヘッドがこすれて印刷結果が汚れるおそれがあります。試し印刷することをお勧めします。

カスタム用紙サイズでのフチなし印刷のご注意

カスタム用紙サイズでフチなし印刷する場合、プリンタドライバの [詳細設定] ダイアログで、[用紙] の中から [PostScript カスタムページ] を選択し、[PostScript カスタムページの定義] 画面でカスタム用紙サイズを設定します。この場合、次の制限があります。

- フチなし印刷の場合、[用紙の向き] の設定に関係なく、短辺から出力されます。
- 用紙幅は、定形紙と同じ用紙幅に設定する必要があります。

📖 本書 44 ページ「[詳細オプション] ダイアログ」

フチなし印刷の手順

フチなし印刷の詳細については各プリンタの取扱説明書を参照してください。
PX-5500、PX-6500 の場合、「自動拡大」と「カスタム設定（原寸維持）」の 2 種類があります。

設定	説明
自動拡大（標準） 自動拡大（多い） 自動拡大（少ない）	印刷するデータを印刷用紙のサイズより左右に拡大し、はみ出させることでフチなし印刷します。上下は左右と同じ比率で拡大します。 自動的に印刷データを拡大して印刷するため、簡単にフチなし印刷ができます。ただし、はみ出した部分（左右拡大分、上下は用紙サイズを越えた部分）は印刷されません。 左右に拡大・はみ出す量は、次の通りです。 - 自動拡大（標準）：左右 3mm - 自動拡大（多い）：左 3mm、右 5mm（印刷データの中心は右に 1mm 偏ります。） - 自動拡大（少ない）：左右 1.5mm 印刷データの作成時、次の点に注意してください。 - 用紙サイズいっぱいになるよう、印刷データを作成します。 - 余白設定ができる場合、余白を 0mm に設定します。
カスタム設定（原寸維持）	印刷するデータのサイズは変えません。 あらかじめ、アプリケーションソフト側で、実際の用紙サイズより大きめに印刷データを作成しておくことでフチなし印刷を実現します。 通常、実際のサイズより左右 3mm（合計 6mm）はみ出すように印刷データを作成します。 上下方向の長さはカット方法によって変わります。 印刷データの作成時、次の点に注意してください。 - 用紙サイズより左右各 3mm（計 6mm）広くなるよう、印刷データを作成します。 - 余白設定ができる場合、余白を 0mm に設定します。

プリンタの機種により、フチなし印刷後の用紙カットの方法が異なります。

PX-5500

ロール紙の場合は左右フチなし印刷となり、印刷後にカットする必要があります。単票紙の場合は四辺フチなし印刷となります。

PX-6500

ロール紙のフチなし印刷の場合、設定によってオートカット（上端・下端を自動的にカットします）の動作が異なります。

設定	説明
左右フチなし	左右フチなし印刷の場合、ページの上端と下端の余白の部分で用紙をカットします。
四辺フチなし（1 カット）	四辺フチなし印刷した各ページを、1 回でカットします。 カット位置がずれていると、連続するページの画像がわずかに上下端に残ることがありますが、「四辺フチなし（2 カット）」より印刷時間は短くなります。 複数部数を連続して印刷する場合、1 枚目の上端と連続部の下端のみ、余白が残らないよう 1mm 内側をカットします。
四辺フチなし（2 カット）	四辺フチなし印刷で 1 ページ分の印刷が終わると、用紙の下端をカットした後、自動的に紙送りを行い、次ページの上端をカットします。このため紙送りの分（80 ～ 130mm 程）切れ端が生じますが、より正確にカットします。 上下端に余白が残らないよう、画像の内側でカットしますので、指定サイズより 2mm 程度短くなります。

フチなし印刷を行うには、以下の手順に従ってください。



アプリケーションソフトによっては、連続のフチなし印刷ができないものがあります。

- 1 お使いのプリンタの機種に応じて、フチなし印刷可能な種類とサイズの紙（定形紙、ロール紙、単票紙）を用意し、プリンタにセットします。

📖 本書 57 ページ「フチなし印刷が可能な用紙とサイズ」



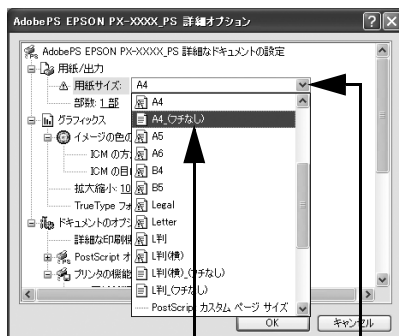
PX-5500 の場合、定形紙ではフチなし印刷できません。「用紙サイズ」で「PostScript カスタムページサイズ」を選択し、用紙サイズを指定する必要があります。

- 2 アプリケーションソフトで、1 で用意した用紙サイズに合わせて印刷データを作成します。

- 用紙サイズの設定方法やデータの作成方法については、アプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。
- 原寸維持の場合は予め左右 6mm 上下任意（カット方法による）のサイズのデータを作成する必要があります。

3 [詳細オプション] ダイアログの [用紙サイズ] を選択します。

[XXX (フチなし)] を選択します。(XXX は用紙サイズ。)

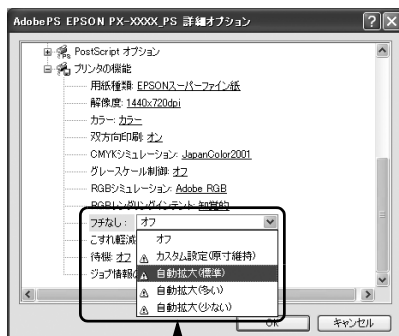


② クリックします ① クリックして

4 [ドキュメントのオプション] の [プリンタの機能] の [フチなし] を設定します。

設定は [オフ]、[カスタム設定 (原寸維持)]、[自動拡大 (標準)]、[自動拡大 (多い)]、[自動拡大 (少ない)] から選択できます。

🔗 47 ページ「フチなし印刷」



設定します

5 必要に応じて印刷に必要な項目を設定し、[OK] をクリックして、[詳細オプション] ダイアログを閉じ、印刷を実行します。

EPSON PS Server の使用方法

ファイルの直接印刷

本製品は、以下のファイルにネイティブ対応していますので、これらの形式のファイルはアプリケーションを起動することなく直接印刷できます。

対応：

PS、PDF Ver. 1.5、TIFF*1、JPEG*2、EPS

*1 ベースラインに準拠。LZW 圧縮・JPEG 圧縮をサポート。

ZIP 圧縮は非対応。16bit TIFF 非対応。YcbC、マルチページ、 α チャンネルには非対応。

1bit TIFF についても非対応です。

*2 ベースラインに準拠。1 ピクセル=1 ポイントで描画。プログレッシブ形式の圧縮等は非対応。

！ 注意

直接印刷については、以下のページをお読みください。

📖 本書 49 ページ「その他の印刷方法」

[ファイル] メニューから [開く] を選択します。印刷したいファイルを選択して、[開く] をクリックしてください。

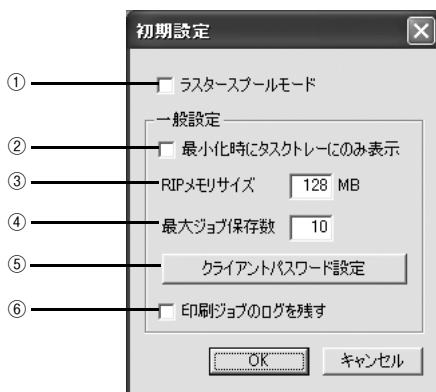


PDF、TIFF、JPEG、EPS ファイルを直接印刷する場合の、印刷設定は [プリンタ初期設定] ダイアログで設定できます。

📖 本書 64 ページ「プリンタ初期設定」

初期設定

EPSON PS Server が備える基本機能の初期状態を設定するには、EPSON PS Server の [編集] メニューから [初期設定] を選択します。



① ラスタースプールモード

[ラスタースプールモード] をオンにすると、最初に印刷データをすべてハードディスクにスプールします。そして、1 部目からスプールしたラスタータデータをプリンタへ送って印刷します。なお、設定は EPSON PS Server の再起動後に有効となります。[ラスタースプールモード] がオンの場合、はじめに印刷データをハードディスクに送るため、1 部目の印刷はオフの場合より遅くなることがあります。複数部の印刷を行う場合や、ネットワーク経由の印刷で通信速度を確保できない場合等にオンにしてください。



[ラスタースプールモード] をオフに設定した場合、1 部目の印刷データをスプールする途中でプリントヘッドが一時的に停止して印刷ムラが発生する可能性があります。印刷ムラが発生する場合は、[ラスタースプールモード] をオンに設定して印刷してください。

② 最小化時にタスクトレイにのみ表示

チェックマークを付けると、EPSON PS Server ウィンドウを最小化したときに、タスクバー右側のタスクトレイにアイコンで表示します。

③ RIP メモリサイズ

PostScript インタプリタが使用可能な最大メモリサイズを設定します。20MB から設定できます（初期設定は 128MB）。処理が遅い場合や一部が印刷できない場合などにメモリサイズを増やしてみてください。なお、設定は EPSON PS Server の再起動後に有効となります。

④ 最大ジョブ保存数

保存できるジョブの最大数を設定します。1 ～ 99 まで設定できます（初期設定は 10 です）。設定数を超えるジョブを受信した場合、古いジョブから順に削除されます。なお、設定は EPSON PS Server の再起動後に有効となります。

⑤ クライアントパスワード設定

クリックして表示される [PS Manager パスワード] 画面で、クライアントの EPSON PS Manager が接続するときに必要なパスワードを設定します。半角で 32 文字まで設定できます。テキストボックスにパスワードを入力し、[OK] をクリックするとパスワードが設定されます。なお、設定は EPSON PS Server の再起動後に有効となります。



初期設定では、パスワードは設定されていません。

⑥ 印刷ジョブのログを残す

チェックマークを付けると、以下のフォルダに印刷ジョブのログを残します。

¥Documents and Settings¥(ログインユーザ名)¥Application Data¥EPSON¥PS Server¥job.log

共有フォルダ設定

EPSON PS Server が監視するフォルダを設定するには、EPSON PS Server の [編集] メニューから [共有フォルダ設定] を選択します。EPSON PS Utility が起動し、次の画面が表示されますので、下記の箇所を参照して、共有フォルダを設定してください。

📖 本書 86 ページ「EPSON PS Utility について」



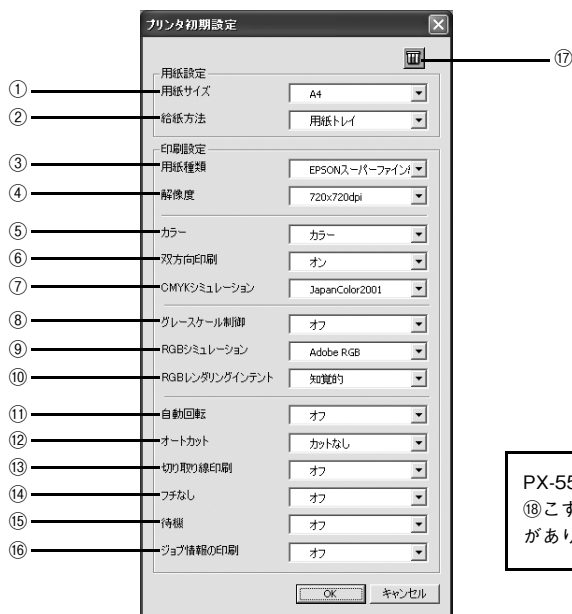
プリンタ初期設定

EPSON PS Server が印刷を行うときの初期条件を設定するには、EPSON PS Server の [編集] メニューから [プリンタ初期設定] を選択します。ここで設定した印刷条件は、アプリケーションソフトで作成した PDF、TIFF、JPEG、EPS ファイルを、EPSON PS Server から直接印刷する場合（アプリケーションソフトから印刷しない場合）に有効となります。なお、ここで設定できる機能は、プリンタの機種によって異なります。

📖 本書 61 ページ「ファイルの直接印刷」

参考

- アプリケーションソフトから印刷する場合は、印刷時のプリンタドライバの印刷設定が EPSON PS Server の印刷設定より優先されます。
- アプリケーションソフトからプリンタドライバを使って PS または EPS ファイルに出力して保存した場合は、出力時点でのプリンタドライバでの印刷設定が EPSON PS Server の印刷設定より優先されます。



PX-5500 の場合は
⑱こすれ軽減
があります。

① 用紙サイズ

印刷で使用する用紙のサイズを選択します。選択できる用紙サイズはプリンタの機種によって異なります。TIFF、JPEG ファイルの場合、用紙サイズに合わせて画像サイズが拡大・縮小されます。この自動縮小・拡大をさせたくない場合、PS Utility の共有フォルダを使うと拡大させない設定が可能です。

📖 本書 86 ページ「EPSON PS Utility について」

② 給紙方法

用紙の給紙装置を選択します。

③ 用紙種類

印刷で使用する用紙の種類を選択します。選択できる用紙種類はプリンタの機種やインクセット（マットブラック / フォトブラック）によって異なります。用紙種類と解像度の組み合わせには制限があり、以下のページを参照してください。

📖 本書 237 ページ「用紙種類 / 解像度と ICC プロファイルの一覧」

④ 解像度

印刷の解像度を選択します。選択できる解像度は選択する用紙種類によって異なります。用紙種類と解像度の組み合わせについては、以下のページを参照してください。

📖 本書 237 ページ「用紙種類 / 解像度と ICC プロファイルの一覧」

⑤ カラー

カラー印刷するかモノクロ印刷するかを設定します。

設定	説明
カラー（初期設定）	カラーで印刷します。
グレースケール	モノクロ（白黒）で印刷します。

⑥ 双方向印刷

プリントヘッドが左右どちらに移動するときも印刷するかどうかを設定します。ただし、双方向印刷を行うと印刷品質が多少低下する場合がありますので、より高品質な印刷を行いたい場合は「オフ」を選択してください。

設定	説明
オン（初期設定）	双方向印刷を行います。
オフ	双方向印刷を行いません。

⑦ CMYK シミュレーション

オフセット印刷機の CMYK インク色を再現して印刷する場合に、シミュレーションするプロファイルを選択できます。

設定	シミュレーションする CMYK 色
オフ	シミュレーションしません。
DIC	大日本インキ化学工業株式会社の DIC 標準色
SWOP	SWOP™ 出版印刷色
Euro	ヨーロッパの印刷色
TOYO	東洋インキ製造株式会社の東洋インキ標準色
JMPA	雑誌広告基準カラー（JMPA カラー）
JapanColor2001（初期設定）	Japan Color 色再現印刷 2001 に準拠
カスタム 1 ～ 10	EPSON PS Server に登録したカスタムプロファイルで定義した CMYK 印刷色

⑧ グレースケール制御

黒の調整方法を設定します。

設定	説明
オフ（初期設定）	CMYK4 色を混ぜて、黒の階調を表現します。
オン	CMYK4 色の内、K のみを使用して黒の階調を表現します。

⑨ RGB シミュレーション

RGB 色を再現して印刷する場合に、シミュレーションする RGB プロファイルを選択できます。

設定	シミュレーションする RGB 色
オフ	シミュレーションしません。
Adobe RGB（初期設定）	Adobe 社が定義する RGB 色
Apple RGB	Apple 社が定義する RGB 色
カスタム 1 ～ 10	EPSON PS Server に登録したカスタムプロファイルで定義した RGB 色

⑩ RGB レンダリングインテント

出力装置が再現できる色には限界があり、特定の出力装置で色を再現する場合、指定した色の再現範囲を調整する必要があります。その再現範囲の調整方法の種類を選択します。

設定	説明
知覚的（初期設定）	視覚的に自然なイメージになるように変換します。画像データが広範囲な色域を使用している場合に使用します。
相対的な色域を維持	元データの色域座標と印刷時の色域座標が一致するように、さらに白色点（色温度）の座標値が一致するように変換します。多くのカラーマッチング時に使用されます。
彩度	彩度を保持して変換を行います。
絶対的な色域を維持	元データも印刷データも絶対的な色域座標に割り当てて変換します。元データと印刷データの白色点（色温度）は色調補正されません。ロゴカラーの印刷など、特殊な用途で使用します。

⑪ 自動回転（PX-6500 の場合のみ）

給紙装置で指定したロール紙の幅に応じて、用紙方向の自動回転を行うかを設定します。オンにする場合は、同時にロール紙の用紙幅を選択してください。

設定	説明
オフ（初期設定）	自動回転しません。
オン [17 in] オン [420 mm] オン [16 in] オン [400mm] オン [14 in] オン [13 in] オン [12 in] オン [300 mm] オン [10 in] オン [210mm] オン [8 in]	自動回転します。 ロール紙の用紙幅を選択します。

⑫ オートカット（PX-6500 の場合のみ）

オートカッターを使用して、印刷した用紙を自動的に切断する機能を設定します。

設定	説明
オフ（初期設定）	オートカットは使用しません。
オン	左右フチなし印刷時、オートカットを行います。
四辺フチなし 1 カット	四辺フチなし印刷時、オートカットを行います。 ページとページの間を 1 回のカットで切り離します。
四辺フチなし 2 カット	四辺フチなし印刷時、オートカットを行います。 ページとページの間をカットする場合、ページの終端をカットした後、用紙を送り出して次のページの上端をカットします。

⑬ 切り取り線印刷（PX-6500 の場合のみ）

切り取り線を印刷するかを設定します。

設定	説明
オフ（初期設定）	切り取り線を印刷しません。
オン	切り取り線を印刷します。

⑭ フチなし

フチなし印刷を行うかどうかを設定します。

🔗 本書 57 ページ「フチなし印刷を行うには」

設定	説明
オフ（初期設定）	フチなし印刷を行いません。
カスタム設定（原寸維持）	原寸を維持した状態で、フチなし印刷を行います。この設定でフチなしを行うためには、予めカスタム用紙でフチなしにする用紙サイズ+左右 3mm の大きさの用紙を定義する必要があります。
自動拡大（標準）	フチなし用紙を選択して印刷することでイメージを自動的に拡大してフチなし印刷を実現します。はみ出し量は、左右上下 3mm になります。
自動拡大（多い）	フチなし用紙を選択して印刷することでイメージを自動的に拡大してフチなし印刷を実現します。はみ出し量は、左上下 3mm、右 5mm になります。
自動拡大（少ない）	フチなし用紙を選択して印刷することでイメージを自動的に拡大してフチなし印刷を実現します。はみ出し量は、左右上下 1.5mm になります。

⑮ 待機

印刷せずに印刷ジョブを待機させるかを設定します。

設定	説明
オフ（初期設定）	印刷ジョブを待機しません（印刷します）。
オン	印刷ジョブを待機します（印刷しません）。

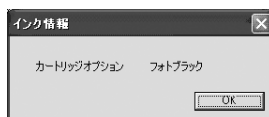
⑯ ジョブ情報の印刷

ジョブ情報を印刷するかを設定します。

設定	説明
オフ（初期設定）	ジョブ情報を印刷しません。
上端に印刷	ジョブ情報を用紙の上端に印刷します。
下端に印刷	ジョブ情報を用紙の下端に印刷します。
左端に印刷	ジョブ情報を用紙の左端に印刷します。
右端に印刷	ジョブ情報を用紙の右端に印刷します。

⑰ インク情報アイコン

クリックすると、インク情報を示すダイアログが表示されます。インク情報がプリンタにセットされているインクと同じことを確認して、[OK] をクリックします。



⑱ こすれ軽減（PX-5500 のみ）

印刷時の用紙とプリントヘッドとのこすれを軽減します。印刷こすれが発生したときのみオンにします。オンにすると、印刷速度が遅くなる場合があります。

設定	説明
オフ（初期設定）	こすれ軽減の機能を有効にします。
オン	こすれ軽減の機能を有効にします。

カラーマネージャ設定

EPSON PS Server の [カラーマネージャ設定] ダイアログでは、以下の操作が行えます。

- 印刷モード（用紙種類、解像度）ごとに適用するカラープロファイルの設定を変更する。
- CMYK 入力カラープロファイルのトーンカーブを微調整する。
- EPSON 純正専用紙以外の用紙についての用紙設定を行う。

EPSON PS Server のカラーマネージャ機能を設定するには、EPSON PS Server の [編集] メニューから [カラーマネージャ設定] を選択します。



① CMYK

CMYK シミュレーションのプロファイル名をメニューから選択します。

② ICC プロファイル (CMYK)

①のメニューで選択しているプロファイル名に対応する実際のCMYKシミュレーションプロファイルを表示します。本製品であらかじめ用意している標準プロファイルを編集する場合や、①で [カスタム] を選択した場合は、ここで [+] をクリックして任意のカスタムプロファイルを選択してください。

参考

- ここで選択されているプロファイルが、プリンタドライバの [詳細オプション] ダイアログで選択する CMYK シミュレーションプロファイルとして使用されます。
- 本製品に標準添付のプロファイルを使用する場合は、特に操作する必要はありません。
- カスタムプロファイルの作成方法については、お使いになるプロファイル作成ツールの取扱説明書をお読みください。

③ 色調整

①のメニューで選択している CMYK シミュレーションプロファイルに対して、さらに色の調整をする場合はトーンカーブアイコンをクリックして [トーンカーブ] ダイアログを開きます。標準およびカスタムどちらのプロファイルに対しても、微調整することができます。トーンカーブで調整を行うと、[調整済み] と表示されます。

📖 本書 72 ページ [[トーンカーブ] ダイアログ]

参考

トーンカーブの設定は、プロファイルの色定義そのものを変更します。色定義を元に戻す場合は、[トーンカーブ] ダイアログで [リセット] クリックしてから、[保存] をクリックしてください。

④ RGB

RGB シミュレーションのプロファイル名をメニューから選択します。

⑤ ICC プロファイル (RGB)

④のメニューで選択しているプロファイル名に対応する実際のRGBシミュレーションプロファイルを表示します。本製品であらかじめ用意している標準プロファイルを編集する場合や、④で [カスタム] を選択した場合は、ここで [+] をクリックして任意のカスタムプロファイルを選択してください。

参考

- ここで選択されているプロファイルが、プリンタドライバの [詳細オプション] ダイアログで選択する RGB シミュレーションプロファイルとして使用されます。
- 本製品に標準添付のプロファイルを使用する場合は、特に操作する必要はありません。
- カスタムプロファイルの作成方法については、お使いになるプロファイル作成ツールの取扱説明書をお読みください。

⑥ 用紙

印刷で使用する用紙種類と解像度の組み合わせを選択します。

⑦ ICC プロファイル (用紙)

⑥のメニューで選択している用紙名に対応する実際の用紙プロファイルを表示します。各用紙 (メディア) に対応するお客様独自のプロファイルを選択する場合は、ここで [+] をクリックして任意のカスタムプロファイルを選択してください。選択したカスタムプロファイルは所定のフォルダに追加コピーされます (プロファイルは 5 つまで追加可能)。また、追加コピーした任意のカスタムプロファイルを削除する場合は、[-] をクリックして削除してください。

⑧ ユーザー用紙調整

各用紙に設定されている用紙の情報を表示します。[+] をクリックすると [用紙調整] ダイアログが開きますので、必要に応じて用紙関連の設定を行ってください。

📖 本書 74 ページ [[ユーザー用紙調整] ダイアログ]

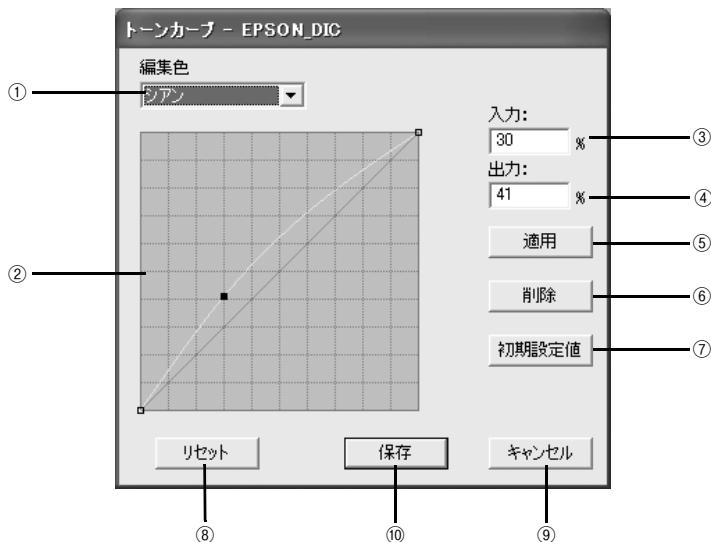
⑨ リセット

[カラーマネージャ] ダイアログで変更した設定を初期設定に戻します。

〔トーンカーブ〕 ダイアログ

〔カラーマネージャ設定〕 ダイアログの〔色調整〕にあるトーンカーブアイコンをクリックすると、〔トーンカーブ〕ダイアログが開きます。選択している CMYK プロファイルで定義している色濃度に対して、さらに濃度調整を行えます。

📖 本書 71 ページ「③ 色調整」



① 編集色

調整する色を [シアン]、[マゼンタ]、[イエロー]、[ブラック] の中から選択します。

② トーンカーブ

CMYK プロファイルが定義している色濃度（入力値）が実際にどの色濃度（出力値）で印刷されるかの相関関係を、最初は 45 度の直線で表示します（CMYK プロファイルで定義しているトーンカーブをそのまま再現しません）。任意の色濃度位置（入力値）をドラッグして、出力値を調整できます。また、〔入力〕と〔出力〕で指定した値をグラフィカルに表示することもできます。

③ 入力

調整対象となる色濃度（入力値）をパーセントで直接指定できます。

④ 出力

〔入力〕で指定した色濃度に対して、実際にどの色濃度で出力するかをパーセントで直接指定できます。

⑤ 適用

〔入力〕と〔出力〕で指定した値を、トーンカーブに反映させるときにクリックします。

⑥ 削除

トーンカーブでクリックして選択した入出力点を削除します。

⑦ 初期設定値

[編集色] で選択した色のトーンカーブを 45 度の直線に戻します（プロファイル本来の定義に戻します）。

⑧ リセット

すべての設定をリセットし、トーンカーブを 45 度の直線に戻します（プロファイル本来の定義に戻します）。

⑨ キャンセル

変更した設定値をキャンセルします。

⑩ 保存

調整したトーンカーブを記憶して、ダイアログを閉じます。トーンカーブが調整された場合は、[カラーマネージャ設定] ダイアログの[色設定]に[調整済み]と表示します。

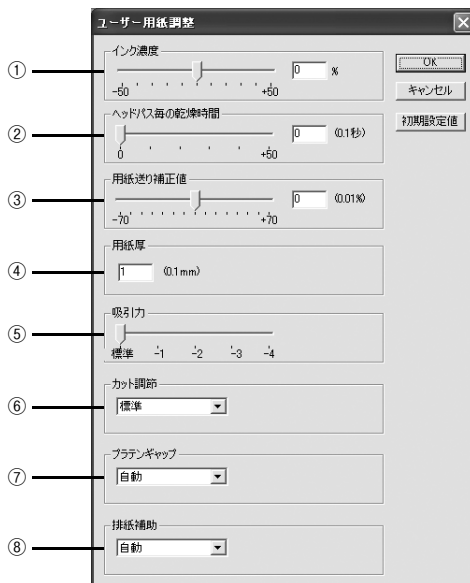


トーンカーブの設定は、プロファイルの色定義そのものを変更します。色定義を元に戻す場合は、[トーンカーブ] ダイアログで [リセット] クリックしてから、[保存] をクリックしてください。

[ユーザー用紙調整] ダイアログ

[カラーマネージャ設定] ダイアログの [ユーザー用紙調整] にある [＋] をクリックすると、[ユーザー用紙調整] ダイアログが開きます。なお、設定項目は機種によって異なります。

📖 本書 71 ページ「⑧ ユーザー用紙調整」



① インク濃度

インク濃度（濃淡）を標準値からの割合で調整できます。インク濃度は、スライドバーを左（より薄い -50%）または右（より濃い +50%）へ動かすか、ボックスに直接数値を入力して設定します（初期設定：0%）。

② ヘッドパス毎の乾燥時間

プリンタヘッド 1 パス毎の乾燥時間（0.1 秒単位）を設定します。時間（0 ～ 50）は、スライドバーを動かすか、ボックスに直接数値を入力して設定します（初期設定：0）。

③ 用紙送り補正值（PX-6500 のみ）

紙送りを調整します。補正值は、スライドバーを左（下方向 -70）または右（上方向 +70）へ動かすか、ボックスに直接数値を入力して設定します（初期設定：0）。

④ 用紙厚（PX-6500 のみ）

用紙の厚み（0.1mm 単位）を、ボックスに直接数値（1 ～ 15）入力して設定します（初期設定：1）。

⑤ 吸引力（PX-6500 のみ）

用紙の吸着力をスライドバーを動かして [標準]（初期設定：100%）、[-1]（50%）、[-2]（30%）、[-3]（10%）、[-4]（6%）に設定します。

⑥ カット調節（PX-6500 のみ）

紙厚に応じたカット圧力と速度を調整します。メニューから〔標準〕（初期設定：カット圧標準＋高速）、〔薄紙〕（カット圧小＋低速）、〔厚紙、高速〕（カット圧大＋高速）、〔厚紙、低速〕（カット圧大＋低速）を選択して設定します。

⑦ プラテンギャップ（PX-6500 のみ）

プラテンのギャップ（間隔）を調整します。通常は〔自動〕（初期設定）を推奨します。EPSON 純正専用紙以外の市販の用紙によってはプリンタヘッドに紙があたる場合がありますので、そのような場合にはプラテンギャップを広く取る必要があります。最初は〔広め〕に設定してテストし、徐々にプラテンギャップを狭めて、用紙に合った最適なプラテンギャップを設定をしてください。

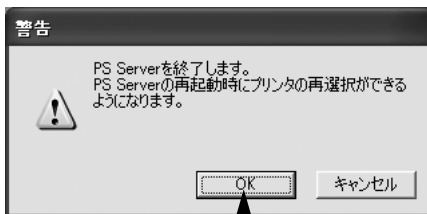
⑧ 排紙補助（PX-6500 のみ）

単票用紙を完全に排紙するために必要な排紙ローラの種類を選択します。EPSON 純正専用紙以外の市販の用紙を使用する場合などに設定を行ってください。

設定	説明
自動（初期設定）	通常はこの設定で使用してください。
単票紙	単票紙印刷時に使用してください。排紙ローラが下がり、プラテンの回転リブが上った状態になります。
ロール紙（カール強）	巻きぐせの強いロールに使用します。排紙ローラが下がり、プラテン回転リブが下がった状態になります。
ロール紙	排紙ローラが上り、プラテン回転リブが下がった状態になります。

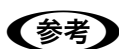
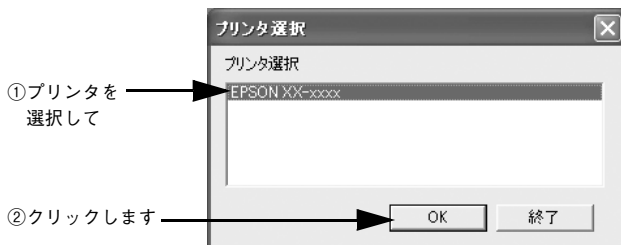
プリンタの再選択

インクセットの変更（マットブラック / フォトブラック）を行った場合やプリンタを接続するインターフェイスを変更した場合は、プリンタを再選択する必要があります。[編集] メニューから[プリンタの再選択]を選択してください。以下のダイアログが表示されますので、[OK] をクリックし EPSON PS Server をいったん終了させます。



クリックします

次回 EPSON PS Server を起動すると、接続先を選択するダイアログが表示されます。同じプリンタを選択してください。



プリンタの再選択時に別のプリンタを選択すると、元のプリンタ（プリントサーバ）にインストールした市販のプリンタフォントは使用できません。

メッセージのクリア

メインウィンドウのメッセージをクリアしたい場合は、[編集] メニューから[メッセージをクリア]を選択してください。

メインウィンドウに表示されるプリンタのエラーやワーニングメッセージは、エラーなどが解除されても EPSON PS Server が終了するまでクリアされません。必要に応じて[メッセージのクリア]を実行してください。

📖 本書 77 ページ「メインウィンドウ」

メインウィンドウ

EPSON PS Server が起動すると、印刷状況を表示するメインウィンドウが開きます。
また、エラーが発生した場合などは、ウィンドウを広げてエラー状況を確認することができます。

印刷中のメインウィンドウ



エラー状況の表示



① ステータス

現在進行中のジョブの名称と印刷状況を表示します。

② キャンセル

印刷中のジョブを削除（印刷をキャンセル）するときをクリックします。

③ プログレスバー

印刷の進行状況の度合いを表示します。

④ メッセージを表示

EPSON PS Server やプリンタのエラーやワーニングメッセージを確認するには、この [メッセージを表示] をクリックしてウィンドウを広げます。メッセージに表示されるプリンタのエラーやワーニングメッセージは、エラーなどが解除されても EPSON PS Server が終了するまでクリアされません。メッセージの内容を消すには、[編集] メニューにある [メッセージをクリア] を選択します。

 本書 76 ページ「メッセージのクリア」

[ヘルプ] メニュー

⑤ ヘルプ

メニューバーで、[ヘルプ] - [EPSON PS Server ヘルプ] を選択、クリックすると、ユーザズガイド（PDF マニュアル）が表示されます。

[ヘルプ] - [EPSON PS Server について] をクリックすると、本製品のバージョン情報などが確認できます。

EPSON PS Manager について

EPSON PS Manager の概要

EPSON PS Manager は EPSON PS Server に接続して、印刷ジョブを管理するためのユーティリティソフトです。

EPSON PS Manager にはアプリケーション版と Web 版の 2 種類があります。接続する EPSON PS Server の OS 環境によって使い分けてください。

EPSON PS Server の OS (プリントサーバまたはスタンドアロン接続)	EPSON PS Manager の種類
Windows2000/XP	アプリケーション版 EPSON PS Manager 通常のアプリケーションとして、インストールしたコンピュータ上で動作します。
Mac OS X	Web 版 EPSON PS Manager Web アプリケーションとして、Web ブラウザ上で動作します。 < 使用可能ブラウザ > (最新バージョンのご利用をお勧めします) Windows : IE4.0 以降 Mac OS X : Safari1.0 以降 Mac 9 : IE4.0 以降

インストール

EPSON PS Manager は、通常の場合、他のソフトウェアと一緒にインストールされます。アンインストール後の再インストール時などは、インストールするソフトウェアを選択する画面で EPSON PS Manager だけを選択してインストールすることもできます。

1 コンピュータの電源をオンにし、Windows を起動します。

2 CD-ROM をセットします。

インストーラが自動的に起動して、インストールの画面が表示されます。



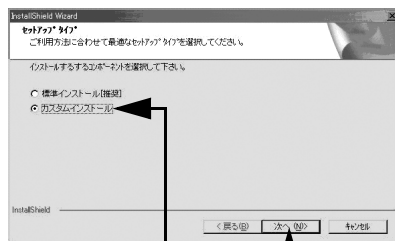
インストールの画面が表示されない場合は

- ① [スタート] メニューから [ファイル名を指定して実行] を選択します。
- ② [名前] に「CD-ROM ドライブ名: \> launch.exe」と入力して [OK] をクリックします。

3 [次へ] をクリックします。

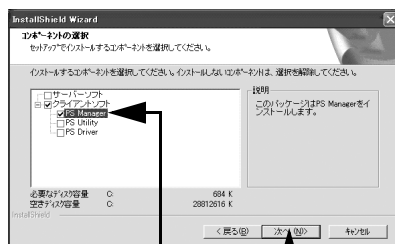
4 使用許諾契約の画面で内容を確認して、[はい] をクリックします。

- 5 [カスタムインストール] を選択して [次へ] をクリックします。



① 選択して
② クリックします

- 6 [PS Manager] のみにチェックを付けて [次へ] をクリックします。



① チェックして
② クリックします

- 7 インストールの情報を確認して [次へ] をクリックします。

- 8 画面の指示に従ってインストールを行います。

- 9 インストールが終了したら [完了] をクリックします。

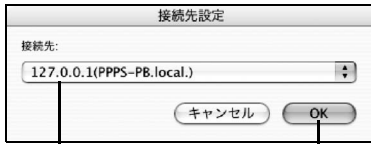
起動

EPSON PS Manager の起動手順は次の通りです。

- 1 **EPSON PS Manager を起動する前に、次のようにします。**
 - EPSON PS Server で印刷するプリンタが使用可能な状態になっていること（正しく接続され、電源がオンになっていること）を確認します。
 - EPSON PS Server を起動します。
- 2 **次の手順で EPSON PS Manager を起動します。**
 - Windows2000/XP
Windows 上で [スタート] をクリックし、表示されるメニューから [すべてのプログラム] - [EPSON] - [CPS ソフトリッパ+Plus3] - [EPSON PS Manager] の順に選択、クリックします。
 - Mac OS X、Mac OS 9
EPSON PS Server をインストールした起動ディスク内の [アプリケーション] フォルダにある [EPSON PS Manager] アイコンをダブルクリックします。

3 ポップアップメニューにサーバの一覧が表示されるので、接続したいサーバ（EPSON PS Server）を選択します。

接続したいサーバが表示されない場合は、サーバのホスト名または IP アドレスを入力します。



① 選択して

② クリックします



① 選択して

② クリックします

4 パスワード入力画面が表示されます。

- 初期状態では、パスワードは設定されていませんので、そのまま [OK] をクリックします。
- Web 版 EPSON PS Manager では、パスワード設定されていないときにはそのままブラウザが開きます。

参考

パスワードを設定する場合、プリントサーバの EPSON PS Server で、[編集] メニュー - [初期設定] (Windows) / [環境設定] (Mac OS X) - [クライアントパスワードの設定] (Windows) / [クライアントパスワード] (Mac OS X) で設定します。

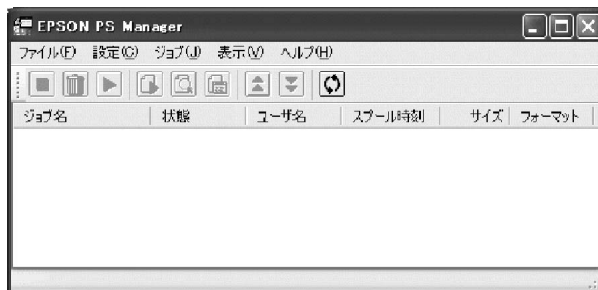
📖 Windows：本書 62 ページ「初期設定」

📖 Mac OS X：本書 140 ページ「環境設定」

5 EPSON PS Manager が起動し、次の画面が表示されます。

画面中央には、EPSON PS Server に送られた印刷ジョブの一覧が表示されています。画面のメニューやボタンをクリックして、印刷ジョブや印刷の設定を行います。

【アプリケーション版 EPSON PS Manager】



【Web 版 EPSON PS Manager】



終了方法

EPSON PS Server の OS (プリントサーバまたはスタンドアロン接続)	EPSON PS Manager の種類
アプリケーション版 EPSON PS Manager での操作	メニューバーの [ファイル] - [終了] をクリックします。
Web 版 EPSON PS Manager での操作	Web ブラウザを終了します。

EPSON PS Manager の操作

アプリケーション版 EPSON PS Manager と Web 版 EPSON PS Manager は基本的な操作方法や機能は同じです。



【ジョブ一覧表示画面】

PS Manager には EPSON PS Server にスプールされた印刷ジョブの一覧が表示されます。

列名	表示内容
ジョブ名	印刷状態を示すアイコンと、ジョブのファイル名を表示します。
状態	ジョブの状態を表示します。表示する状態は以下のとおりです。「印刷中」と「プレビュー準備中」は進行状況をパーセント（％）で表示します。 • 待機 • スプール中 • 印刷待ち • 印刷中 • プレビュー待ち • プレビュー準備中 • フォーマット異常 • PS エラー • 用紙切れ
ユーザ名	ジョブのファイルを印刷したユーザ名を表示します。
スプール時刻	ジョブのファイルを印刷した時刻を、「時：分：秒」で表示します。
サイズ	ジョブのファイルサイズを表示します。
フォーマット	ジョブのファイル形式を表示します。表示する形式は以下のとおりです。これら以外の形式は「不明」と表示されます。 • PostScript • PDF • EPS • TIFF • JPEG



- PS エラーとなったジョブに対しては「PS エラー」と表示されますが、プリンタエラーとなったジョブは、印刷済みと同様に「待機」と表示されます。
- アプリケーション版 EPSON PS Manager の場合、印刷済みジョブは「待機」と表示されます。印刷時に、[待機] を [オン] に設定した印刷ジョブは、印刷が完了していない状態でも「待機」と表示されますの。ジョブ名や日時でご判断ください。

【基本操作ボタン】

ボタン	名前	機能
	中止	選択したジョブの印刷またはプレビューを中止して、待機状態にします。
	削除	選択したジョブを削除します。
	印刷	選択した待機状態のジョブの印刷を再開します。
	プレビュー準備	選択したジョブに対して、プレビュー用リッピングを開始します。選択したジョブがプレビュー用リッピングを完了していない場合に有効になります。
	プレビュー表示	〔プレビュー〕画面を表示し、選択したジョブのプレビューを表示します。選択したジョブがプレビュー用リッピングを完了している場合に有効になります。
	印刷設定	〔印刷設定〕画面を表示します。選択したジョブの印刷設定をします。
	優先度を上げる	優先度を変更してもジョブ一覧上での表示位置は変わりません。
	優先度を下げる	優先度を変更してもジョブ一覧上での表示位置は変わりません。
	最新の情報に更新	ジョブの一覧を更新します。

【その他の機能】

① サーバ設定

接続している EPSON PS Server とプリンタの情報を表示する機能です。

アプリケーション版 EPSON PS Manager での操作	メニューバーの〔設定〕－〔サーバ設定〕をクリックし、〔全般〕タブをクリックします。
Web 版 EPSON PS Manager での操作	〔サーバ設定〕をクリックします。

② プリンタ初期設定

接続している EPSON PS Server の〔プリンタ初期設定〕の内容を表示します。
設定したい項目をクリックすると、ポップアップメニューが表示され設定値を変更することもできます。
プリンタによって設定項目が異なります。各設定項目については次のページを参照してください。

📖 本書 64 ページ「プリンタ初期設定」

アプリケーション版 EPSON PS Manager での操作	メニューバーの〔設定〕－〔サーバ設定〕をクリックし、〔デフォルト〕タブをクリックします。
Web 版 EPSON PS Manager での操作	〔プリンタ初期設定〕をクリックします。

③ メッセージを表示 (Web 版 EPSON PS Manager のみ)

EPSON PS Server やプリンタのエラーやワーニングメッセージを確認できます。

Web 版 EPSON PS Manager での操作	[メッセージを表示] をクリックします。
-----------------------------	----------------------

④ イメージ (サムネイル) 表示 (Web 版 EPSON PS Manager のみ)

ジョブ一覧の [イメージ] に印刷ジョブにサムネイル画像を表示します。

[イメージ] にサムネイルを表示すると、どのような印刷ジョブが分かりやすくなりますが、多量のサムネイル表示を行うと、Web ブラウザ表示に時間がかかることがあります。

また、長尺印刷など、用紙サイズの大きなデータはサムネイル表示できない場合があります。

Web 版 EPSON PS Manager での操作	ジョブ一覧の [イメージ] 欄  をクリックします。
-----------------------------	---

⑤ EPSON PS Folder のダウンロード (Web 版 EPSON PS Manager を MacOSX から起動時のみ)

ドラック&ドロップ印刷を行うための「PS Holder」をダウンロードできます。

EPSON PS Folder の詳細については以下のページを参照してください。

 本書 167 ページ「ホットフォルダについて」

Web 版 EPSON PS Manager での操作	[ダウンロード] をクリックします。
-----------------------------	--------------------

Windows から Web 版 EPSON PS Manager を起動した場合には [ダウンロード] は表示されません。

Windows 環境からドラック&ドロップ印刷を行うには、EPSON PS Utility を使用してください。

！ 注意

Web 版 EPSON PS Manager について

- Web 版 EPSON PS Manager を使用するには、次のブラウザが標準のブラウザに設定されている必要があります。
使用可能ブラウザ (※最新バージョンのご利用をお勧めします)
Windows : IE4.0 以降
Mac OS X : Safari1.0 以降
Mac 9 : IE4.0 以降
- Web 版 EPSON PS Manager は、起動時に Web ブラウザを呼び出します。起動時にキャンセル操作を行うと、この Web ブラウザの実行は中止されますが、EPSON PS Manager 自体は起動してしまいます。この場合には、タスクバーなどで起動している EPSON PS Manager を手動で終了する必要があります。
- Web 版 EPSON PS Manager のジョブ一覧画面では、表示順序をソートしたり、自動更新の時間を設定したりすることができますが、これらの設定条件は保存されません。Web ブラウザの表示を更新したり、EPSON PS Manager を再起動すると初期設定に戻ります。

EPSON PS Utility について

EPSON PS Utility の概要

EPSON PS Utility は、ホットフォルダのアイコンを作成するユーティリティです。EPSON PS Utilityで作成したホットフォルダを使用してファイルのドラッグ&ドロップ印刷が可能です。

作成したホットフォルダは次の特徴を持っています。

- 印刷するファイルをアイコン上にドラッグ&ドロップすることで印刷可能
- フォルダごとに印刷設定を指定可能
- 1 台のコンピュータに最大 16 個のホットフォルダが作成可能
- 以下のファイル形式に対応

PS、PDF (Ver.1.5)、TIF*1、JPEG*2、EPS

*1 ベースラインに準拠。LZW 圧縮・JPEG 圧縮をサポート。

ZIP 圧縮は非対応。16bit TIFF 非対応。YcbC、マルチページ、 α チャネルには非対応。

*2 ベースラインに準拠。1 ピクセル=1 ポイントで描画。プログレッシブ形式の圧縮等は非対応。

- ホットフォルダはハードディスクドライブ上の任意のパス（ローカルドライブ）に作成可能

！注意

MacOS9 は、本機能には対応していません。



Mac OS X 環境で同様の機能を使用する場合には以下のページを参照してください。

📖 本書 167 ページ「ホットフォルダについて」

EPSON PS Utility の起動方法

EPSON PS Utility は次の 2 種類の方法で起動できます。

EPSON PS Server から起動する方法

EPSON PS Server を起動しているコンピュータ（プリントサーバまたはスタンドアロン接続）からは次の手順で起動できます。

- 1 EPSON PS Server を起動します。
起動方法は以下のページを参照してください。
📖 本書 38 ページ「EPSON PS Server の起動」
- 2 [編集] — [共有フォルダ設定] を選択し、クリックします。
- 3 EPSON PS Utility が起動します。

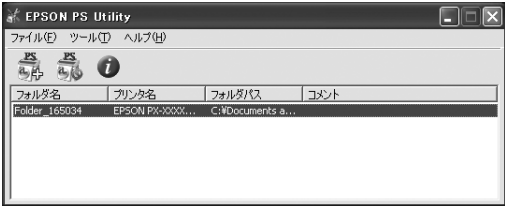
アプリケーションから起動する方法

- 1
- 「スタート」をクリックし、「すべてのプログラム」－「EPSON」－「CPS ソフトリッ
パー Plus3」－「EPSON PS Utility」を選択します。
- 2
- EPSON PS Utility が起動します。

EPSON PS Utility 使用方法

EPSON PS Utility 起動画面の説明

EPSON PS Utility を起動すると次の画面が表示されます。



画面中央のリストには、作成済みのホットフォルダの一覧が表示されます。
メニューから各項目を選択することで、次の操作が可能です。

■ [ファイル] メニュー

[終了]：EPSON PS Utility を終了します。

■ [ツール] メニュー

フォルダの追加	フォルダ追加ウィザードが起動し、新しいホットフォルダを作成、追加できます。 アイコンをクリックすることで同様の操作ができます。
フォルダの削除	画面のリストでフォルダを選択し、本項目をクリックすると、そのホットフォルダを削除することができます。 アイコンをクリックすることで同様の操作ができます。
情報を表示	画面のリストでフォルダを選択し本項目をクリックすると、そのフォルダのプロパティ画面が表示され印刷設定の確認や変更ができます。 アイコンをクリックすることで同様の操作ができます。

■ [ヘルプ] メニュー

EPSON PS Utility のバージョン情報を表示します。

ホットフォルダの作成方法

- 1 EPSON PS Utility で、メニューバーの [ツール] - [フォルダ追加] をクリックすると、[フォルダ追加] ウィザードが起動し、次の画面が表示されます。

印刷に使用するプリンタをリストから選択して [次へ] をクリックします。



① 選択して

② クリックします

- 2 次の画面が表示されたら、新しく作成するホットフォルダのフォルダ名（任意）と、パスを入力します。

パスは [参照] をクリックして、現在のフォルダ構成を参照して指定することもできます。フォルダ名とパスを入力したら、[次へ] をクリックします。



① 入力して

② クリックします

！注意

- ・ ローカルディスクのみ指定できます。ネットワークフォルダは使用できません。
- ・ フォルダ名は自動的に「Folder_ 作成日時（時、分、秒）」で表示されます。必要に応じてわかりやすいフォルダ名に変更してください。

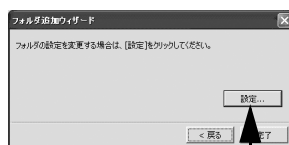
- 3 次の画面が表示されたら [設定] をクリックし印刷設定を行います。

[設定] をクリックすると、新しく作成するホットフォルダのプロパティ画面が表示され、印刷設定の変更が行えます。

印刷設定の変更は、フォルダを作成した後で行うこともできます。

ホットフォルダのプロパティ画面については以下のページを参照してください。

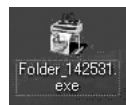
📖 本書 89 ページ「ホットフォルダプロパティ画面について」



クリックします

- 4 上記画面で [完了] をクリックするとフォルダの追加ウィザードが終了し、EPSON PS Utility のリストに新しく作成されたホットフォルダが追加されます。

(フォルダが作成される場所とフォルダ名称は ② で指定した内容になります。)



ホットフォルダプロパティ画面について

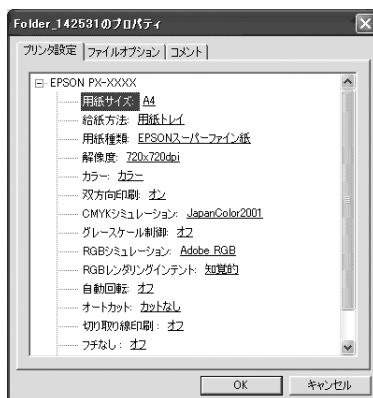
ホットフォルダプロパティは、フォルダ作成時もしくは作成したフォルダをダブルクリックすることで表示できます。

【プリンタ設定】タブ

ドラッグ&ドロップされたファイルを印刷する際に、自動的に適用される詳細設定をあらかじめ設定することができます。

！注意

PostScript ファイルをホットフォルダにドラッグ & ドロップして印刷する場合、PostScript ファイルに含まれる印刷設定より、ホットフォルダプロパティの印刷設定が優先されます。

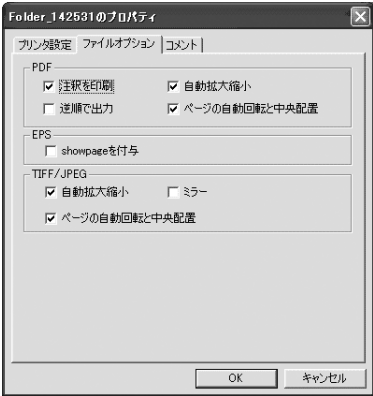


変更したい項目をクリックすると選択肢が表示され各項目の設定を変更することができます。設定内容につきましては機種によって異なります。詳細は以下のページを参照してください。

📖 本書 64 ページ「プリンタ初期設定」

[ファイルオプション] タブ

ファイル形式ごとに、印刷に関する設定を変更できます。



■ PDF

項目	説明	初期設定
注釈を印刷	PDF ファイルの中に含まれるコメントを印刷します。	チェック ON
逆順で出力	複数ページのジョブを逆順で印刷します。	チェック OFF
自動拡大縮小	指定した用紙サイズに拡大・縮小して印刷します。[プリンタ設定] タブの用紙サイズ項目で用紙サイズを指定してください。用紙サイズが [ジョブのデフォルト] の場合、本機能は動作しません	チェック ON
ページの自動回転と中央配置	選択した用紙サイズの中央に自動回転してジョブを配置します。[プリンタ設定] タブの用紙サイズ項目で用紙サイズを指定してください。用紙サイズが [ジョブのデフォルト] の場合、本機能は動作しません。	チェック ON

■ EPS

項目	説明	初期設定
Showpage を付与	[showpage] 命令を EPS ファイルに付与します。EPS ファイルによっては [showpage] 命令が必要になる場合があるため、EPS ファイルの印刷ができない場合、本項目にチェックを付けてください。[showpage] 命令がすでにファイル内にある場合に、この設定を有効にすると、白紙ページが 1 枚印刷されます。	チェック OFF

■ TIFF/JPEG

項目	説明	初期設定
自動拡大縮小	指定した用紙サイズに拡大・縮小して印刷します。[プリンタ設定] タブの用紙サイズ項目にて、用紙サイズを指定してください。用紙サイズが [ジョブのデフォルト] の場合、本機能は動作しません。	チェック ON
ページの自動回転と中央配置	選択した用紙サイズの中央に自動回転してジョブを配置します。[プリンタ設定] タブの用紙サイズ項目で用紙サイズを指定してください。用紙サイズが [ジョブのデフォルト] の場合、本機能は動作しません。	チェック ON
ミラー	鏡像印刷（鏡に映したように左右を反転します）を行います。	チェック OFF

[コメント] タブ

EPSON PS Utility のリストで [コメント] の欄に表示する内容を入力します。複数のホットフォルダを作成し、各フォルダを区別するための説明を入れる場合等に使用します。



！ 注意 入力できる文字数は最大で半角 255 文字までです。



ホットフォルダの削除方法

EPSON PS Utility を起動し、表示されるホットフォルダー一覧から削除したいホットフォルダを選択し、[ファイル] - [フォルダの削除]（もしくは削除アイコン）を選択して削除します。

EPSON PS Utility の終了方法

次の 2 種類の方法で終了できます。

- [ファイル] – [終了] をクリックし、終了します。
- 画面右上の [×] をクリックし、終了します。



EPSON PS Utility を起動後、最小化した場合、タスクバーに表示されます。
起動中



最小化



インク情報の更新方法

フォトブラックとマットブラックなど、異なる種類のブラックインクの交換を行った場合には、インク情報の更新を行う必要があります。下記の手順に従って更新作業を行ってください。なお、ブラックインク種類変更の手順については、プリンタの取扱説明書を参照してください。

サーバでの更新作業

- 1 EPSON PS Server を起動して、[編集] メニューから [プリンタの再選択] を選択します。

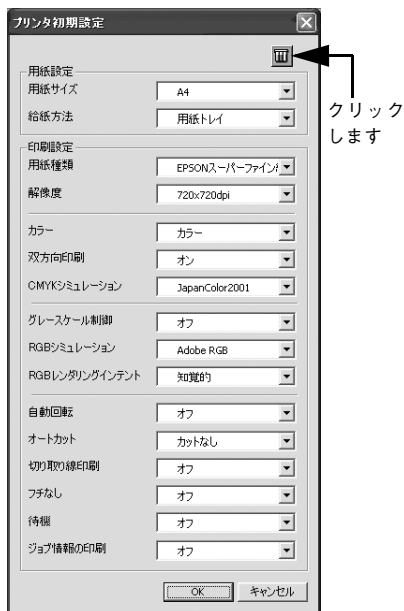
- 2 以下の画面で [OK] をクリックして、一旦 EPSON PS Server を終了します。



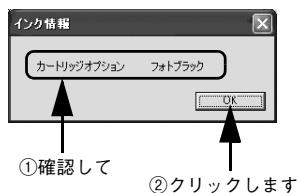
クリックします

- 3 再度 EPSON PS Server を起動します。
プリンタの再接続画面が表示されますので、先ほどまで接続していたプリンタを選択します。
- 4 [編集] メニューから [プリンタ初期設定] を選択します。

- 5 画面右上にあるインクカートリッジアイコンをクリックします。



- 6 インク情報がプリンタにセットされているインクと同じことを確認して、[OK] をクリックします。



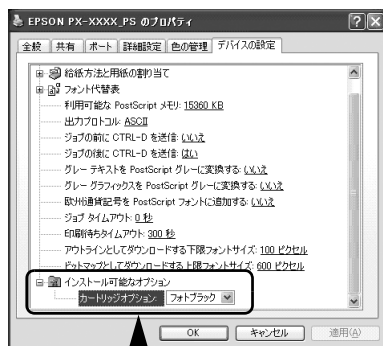
以上でサーバでの更新作業は終了です。

クライアントでの更新作業

- 1 [スタート] をクリックし、[プリンタと FAX] を選択します。
Windows 2000 の場合は、[スタート] をクリックして [設定] - [プリンタ] の順に選択します。
- 2 インク情報を変更するプリンタのアイコンを右クリックし、[プロパティ] を選択します。

[illegible]

4 [インストール可能なオプション] で [カートリッジオプション] を選択し、プリンタにセットされているインクを選択します。



5 [OK] をクリックします。

Windows での使用方法 - 95



Mac OS X での使用方法

ここでは、Mac OS X で使用する方法について説明します。

● セットアップについて	97
● 印刷を始める前に	107
● 印刷の手順	112
● プリンタドライバの設定項目について	114
● その他の印刷方法	128
● カラーシミュレーション機能について	131
● フチなし印刷を行うには	135
● EPSON PS Server の使用方法	139
● EPSON PS Manager について	158
● ホットフォルダについて	167
● インク情報の更新方法	175

セットアップについて

使用可能なプロトコルについて

EPSON PS Server が稼動する OS と印刷を行う OS の組み合わせにより、使用できるプロトコル（コンピュータ間でデータをやりとりする手順・規約）が異なります。

下表から OS と使用可能なプロトコルの組み合わせと、それぞれのプロトコルに応じた前提条件〔A〕～〔F〕を確認してください。

プリントサーバ接続

		プリントサーバの OS (EPSON PS Server 稼動コンピュータ)	
		Mac OS X	Windows 2000/XP
クライアントの OS	Mac OS 9	AppleTalk [A] TCP/IP (LPR)	TCP/IP (LPR) [B]
	Mac OS X	AppleTalk [C] Rendezvous TCP/IP (LPR)	TCP/IP (LPR) [D]
	Windows 2000/XP	TCP/IP (LPR) [E]	SMB [F] TCP/IP (LPR)

以下の「XXX → YYY」という記載について、「XXX」がクライアントの OS を示し、「YYY」はプリントサーバの OS を示します。

〔A〕Mac OS 9 → Mac OS X

Mac OS 9 ではクライアントとして印刷できますが、本製品のプリントサーバとしては使用できません。

TCP/IP (LPR) を使用する場合、〔セレクトA〕でプリンタ名は表示されません。〔セレクトA〕では〔Adobe PS〕を選択してください。

〔B〕Mac OS 9 → Windows2000/XP

Mac OS 9 の〔セレクトA〕からは本製品を利用したプリンタ名が表示されません。デスクトップ・プリンタを作成します。

☞ 本書 183 ページ「プリンタの選択」

また、Windows2000/XP をプリントサーバとした場合、プリンタフォントの追加はできません。

〔C〕Mac OS X → Mac OS X

Mac OS X から印刷する場合、カスタム用紙サイズの作成や解像度の指定方法など、制限事項や注意事項があります。Mac OS X ドライバの注意事項についての詳細は、ユーザーズガイドまたはエプソンのホームページ (i-love-epson) でご確認ください。

[D] Mac OS X → Windows2000/XP

Mac OS X から印刷する場合、カスタム用紙サイズの作成や解像度の指定方法など、制限事項やの注意事項があります。Mac OS X ドライバの注意事項についての詳細は、ユーザーズガイドまたはエプソンのホームページ (i-love-epson) でご確認ください。また、Windows2000/XP をプリントサーバとした場合、プリンタフォントの追加はできません。

[E] Windows2000/XP → Mac OS X

Windows2000/XP の [LPR Port] を必ず使用してください。

[Standard TCP/IP Port] を使用した接続は動作保証外となります。

[F] Windows2000/XP → Windows2000/XP

Windows のプリンタ共有 (SMB) を利用する場合、クライアントのコンピュータにログオンするユーザアカウントにはプリントサーバのコンピュータに対する Administrator 権限が必要です。

TCP/IP を使用する場合は、必ず Windows2000/XP の [LPR Port] を使用してください。

[Standard TCP/IP Port] を使用した接続は動作保証外となります。また、Windows2000/XP をプリントサーバとした場合、プリンタフォントの追加はできません。

スタンドアロン接続

本製品をスタンドアロン接続で使用する場合でも、システム内部ではプリントサーバとクライアントソフトがネットワークによる通信を行います。下表から OS と使用可能なプロトコルの組み合わせと、それぞれのプロトコルに応じた前提条件 ([G] ～ [H]) を確認してください。

Mac OS X	Windows2000/XP
TCP/IP (LPR) [G] AppleTalk	PS Port (SMB) [H] TCP/IP (LPR)

[G] Mac OS X スタンドアロン接続

Mac OS X 環境から印刷する場合、TCP/IP (LPR) の使用を推奨します。AppleTalk の利用には、物理的にネットワークに接続された環境が必要です。TCP/IP (LPR) を使用する場合は必ず EPSON PS Server インストール後に [環境設定] メニューで確認したアドレスを設定してください。

🔗 本書 99 ページ「AppleTalk 接続でのプリンタの追加」

🔗 本書 104 ページ「TCP/IP (LPR) 接続でのプリンタの追加」

また、カスタム用紙サイズの作成や解像度の指定方法など、制限事項や注意事項があります。Mac OS X ドライバの注意事項についての詳細は、ユーザーズガイドまたはエプソンのホームページ (i-love-epson) でご確認ください。

[H] Windows2000/XP

Windows2000/XP 環境に EPSON PS Server をインストールすると、「PS Port」が追加されます。通常はこの PS Port を使用してください。

TCP/IP を使用する場合は必ず Windows2000/XP の [LPR Port] を使用してください。[Standard TCP/IP Port] を使用した接続は動作保証外となります。

また、Windows2000/XP 環境ではプリンタフォントの追加はできません。

AppleTalk 接続でのプリンタの追加

- 1 [アプリケーション] フォルダの [ユーティリティ] フォルダをダブルクリックします。



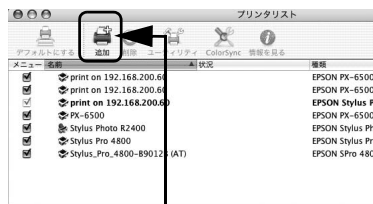
ダブルクリックします

- 2 [プリンタ設定ユーティリティ/プリントセンター] をダブルクリックします。



ダブルクリックします

- 3 プリンタリストの [追加] をクリックします。



クリックします

- 4 画面上にあるリストから [AppleTalk] を選択します。



選択します

- 5 プリンタの機種名が表示されますので、追加したいプリンタを選択します。

プリンタの機種名が表示されない場合は、プリントサーバで EPSON PS Server が起動しているかどうか確認してください。



選択します

- 6 [自動選択] が選択されている状態で [追加] をクリックします。

- 7 使用したい PPD ファイルを選択して、[追加] をクリックします。

プリンタごとに 2 種類の PPD ファイル (CMYK 用 / RGB 用) が用意されています。

- 通常は CMYK 用の PPD を選択してください (RGB用のPPDでは機能が限定されています)。
- RGB データを、プリンタに同梱されている標準プリンタドライバ (EPSON 基準色 sRGB 等) と同様の色合いで PostScript 印刷したいときに、RGB 用の PPD を選択します。RGB 用 PPD の詳細は下記を参照してください。

📖 本書 229 ページ「RGB カラー印刷について」



①選択して

②クリックします

- 8 プリンタ設定ユーティリティ / プリントセンターを終了します。

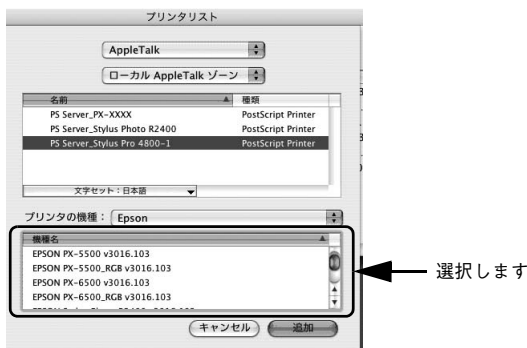
参考

手順⑤で「プリンタの機種」の「自動選択」を使用しない場合は、以下の手順でプリンタを追加してください。

- 接続したいPS Serverを選択して、「プリンタの機種」リストの中から、「Epson」(EPSONではなく小文字の方)を選択します。



- 使用したい PPD ファイルを選択します。



- 「追加」をクリックします。
- プリンタ設定ユーティリティ / プリントセンターを終了します。

以上で AppleTalk 接続でのプリンタの追加は終了です。

Rendezvous 接続でのプリンタの追加



スタンドアロン接続の場合、Rendezvous は使用できません。LPR 接続または AppleTalk 接続で使用してください。

- 1 [アプリケーション] フォルダの [ユーティリティ] フォルダをダブルクリックします。



ダブルクリックします

- 2 [プリンタ設定ユーティリティ / プリントセンター] をダブルクリックします。



ダブルクリックします

- 3 [追加] をクリックします。



クリックします

4 [Rendezvous] を選択します。



5 接続したいPS Serverを選択し、[プリンタの機種]でEpson（EPSONではなく小文字の方）を選択します。

次に、表示された PPD ファイルから使用したい PPD ファイルを選択して、[追加] をクリックします。

プリンタの機種名が表示されない場合は、プリントサーバで EPSON PS Server が起動しているかどうか確認してください。



プリンタごとに2種類のPPDファイル(CMYK用 / RGB 用) が用意されています。

- 通常はCMYK用のPPDを選択してください(RGB用のPPDでは機能が限定されています)。
- RGB データを、プリンタに同梱されている標準プリンタドライバ (EPSON 基準色 sRGB) と同様の色合いで PostScript 印刷したいときに、RGB 用の PPD を選択します。RGB 用 PPD の詳細は下記を参照してください。
📖 本書 229 ページ「RGB カラー印刷について」

6 プリンタ設定ユーティリティ / プリントセンターを終了します。

以上で Rendezvous 接続でのプリンタの追加は終了です。

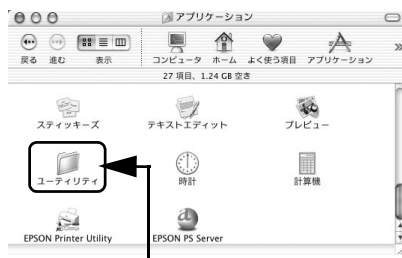
TCP/IP (LPR) 接続でのプリンタの追加

Mac OS X から TCP/IP (LPR) を使って印刷する前に、以下の手順に従って EPSON PS Server (プリンタ) を選択してください。

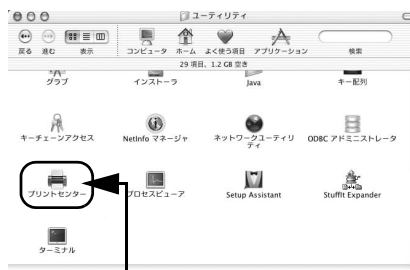
参考

- サーバ側のコンピュータでは EPSON PS Server を起動しておいてください。
 ☞ Windows：本書 38 ページ「EPSON PS Server の起動」
 ☞ Mac OS X：本書 110 ページ「EPSON PS Server の起動」
- 起動している EPSON PS Server を一度選択すれば、印刷のたびに以下の手順をくり返す必要はありません。
- ネットワーク上の複数の EPSON PS Server を切り替えて印刷する場合は、印刷時に EPSON PS Server を選択し直してください。
- Mac OS X のスタンドアロン接続では、プロトコルは TCP/IP (LPR) を推奨します。この場合のプリンタの IP アドレスは、EPSON PS Server の [EPSON PS Server] メニューで [環境設定] を選択し、表示される画面の [LPR] タブを選択して表示される IP アドレスを使用してください。
- プロトコルが TCP/IP (LPR) の場合、EPSON PS Server が起動している Mac OS X 上で「プリンタ共有」や「ファイアウォール」を設定していると印刷できません。

- 1 [アプリケーション] フォルダにある [ユーティリティ] フォルダをダブルクリックします。



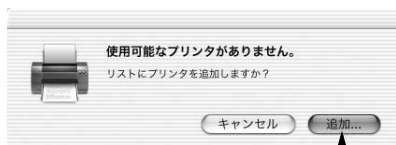
- 2 [プリンタ設定ユーティリティ] (Mac OS 10.2.X では [プリントセンター]) をダブルクリックします。



- 3 右のどちらかの画面が表示されます。どちらの場合も「追加」をクリックします。



クリックします



クリックします

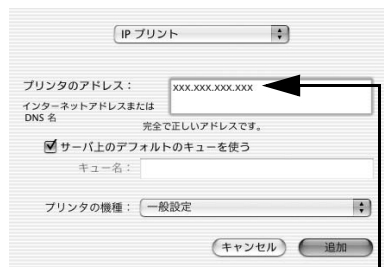
- 4 画面の上にあるリストをクリックし、「IP プリント」を選択します。



リストをクリックして「IP プリント」をクリックします

- 5 「プリンタのアドレス」にプリントサーバの IP アドレスを入力します。

- IP アドレスは、EPSON PS Server の「EPSON PS Server」メニューで「環境設定」を選択し、表示される画面の「LPR」タブに表示される値を使用してください。
- 「キュー名」を設定する必要はありません。



入力します



プリンタ設定ユーティリティの場合に「プリンタのタイプ」として「Rendezvous」を選択することで、プリンタアドレスのポップアップメニューから Rendezvous 名で接続することができます。

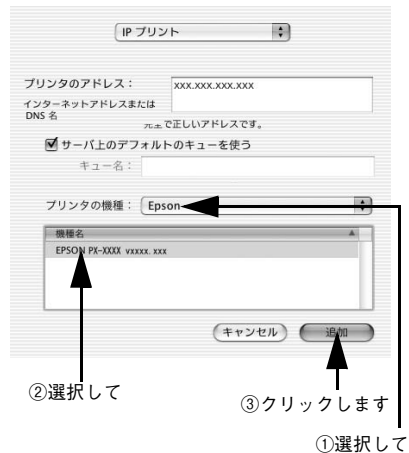
6 [プリンタの機種] で [Epson] を選択し、[機種名] で使用するプリンタ名を選択して、[追加] をクリックします。

大文字、小文字に注意して、必ず [Epson] を選択してください。

プリンタリストに選択したプリンタ名が追加されます。

プリンタごとに 2 種類の PPD ファイル (CMYK 用 / RGB 用) が用意されています。

- 通常は CMYK 用の PPD を選択してください (RGB 用の PPD では機能が限定されています)。
- RGB データを、プリンタに同梱されている標準プリンタドライバ (EPSON 基準色 sRGB 等) と同様の色合いで PostScript 印刷したいときに、RGB 用の PPD を選択します。RGB 用 PPD の詳細は「ユーザーズガイド」を参照してください。



7 [プリンタ設定ユーティリティ] (Mac OS 10.2.X では [プリントセンター]) メニューから [プリンタ設定ユーティリティを終了] / [プリントセンターを終了] を選択して、プリンタ設定ユーティリティ / プリントセンターを閉じます。

参考

ネットワークに接続していない状態で EPSON PS Server を起動した場合、印刷は IP プリントでのみ可能です。ただし、この場合、IP プリントに使用できるアドレスはループバックアドレス (127.0.0.1) のみです。スタンドアロン接続の場合、IP プリントに使用しているアドレスと、EPSON PS Server をインストールしている Mac OS X の IP アドレスと同じ場合、印刷はできません。

以上で、印刷前の準備は終了です。

印刷を始める前に

Mac OS X から印刷する前に、一度 EPSON PS Server を選択して使用するプリンタの機種を設定する必要があります。

EPSON PS Server の準備

以下の手順に従って、コンピュータの準備を整えてください。

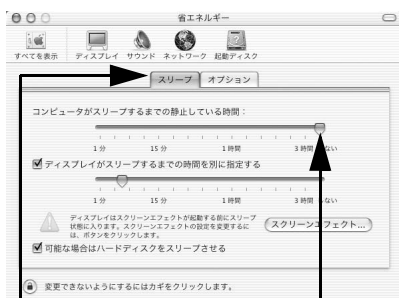
省エネルギーの設定

- 1 Apple メニューから「システム環境設定」を選択します。
- 2 「省エネルギー」をクリックします。



クリックします

- 3 「スリープ」タブをクリックして、「コンピュータがスリープするまでの静止している時間」を「しない」に設定します。
画面が表示されない場合は「詳細情報を表示」をクリックしてください。



① クリックして

② 設定します

！注意

EPSON PS Server をインストールしたプリントサーバはスリープしないようにしてください。スリープすると EPSON PS Server が正常に動作せず、印刷できない場合があります。

- 4 「省エネルギー」ダイアログ左上の「すべてを表示」をクリックします。

AppleTalk の使用

① [ネットワーク] をクリックします。



クリックします

② AppleTalk を使用してクライアントまたはプリンタと接続する場合には、[AppleTalk] タブをクリックし、[AppleTalk 使用] にチェックマークを付けて、[今すぐ適用] をクリックします。

ネットワークに接続していない環境では AppleTalk は使用できません。



②チェックマークを付けて

①クリックして

③クリックします

参考

- 印刷に AppleTalk を使用しない場合は、[AppleTalk 使用] を無効にできます。PS Server は、AppleTalk が使用できない場合でも起動します。
- ネットワークに接続していない状態で EPSON PS Server を起動した場合、印刷は IP プリントでのみ可能です。ただし、この場合 IP プリントに使用できるアドレスは、ループバックアドレス (127.0.0.1) のみです。

パーソナル Web 共有

- 1 [ネットワーク] ダイアログ左上の [すべてを表示] をクリックします。
- 2 [共有] をクリックします。



クリックします

- 3 [サービス] タブをクリックし、[パーソナル Web 共有] にチェックマークを付けます。
EPSON PS Manager を使用するためには、
[パーソナル Web 共有] に必ずチェックマーク
を付けて有効にしてください。



②チェックマークを付けます

①クリックして

参考

Mac OS X 版の EPSON PS Server で EPSON PS Manager を使用したジョブの操作を行うには、[パーソナル Web 共有] の機能をオンにする必要があります。EPSON PS Manager を使用しない場合は、[パーソナル Web 共有] を無効にできます。

- 4 画面左上の [システム環境設定] メニューから [システム環境設定を終了] を選択して、[ネットワーク] ダイアログを閉じます。

起動する前に

EPSON PS Server を起動する前に、次の点に注意してください。

■ プリンタは印刷可能な状態ですか？

EPSON PS Server を起動する前にプリンタの動作確認を行って、プリンタに異常のないことを確認してください。動作確認方法は、プリンタの取扱説明書をお読みください。

■ FTP サーバ /LPR サーバが動作していませんか？

使用しているコンピュータでFTPサーバまたはLPRサーバが動作している場合は、EPSON PS Server の一部の機能が正常に動作しません。EPSON PS Server を起動するときは、これらのサービスを終了してください。終了方法については各サービスのソフトウェアの取扱説明書を参照してください。

■ プリンタ共有やファイアウォールの設定をしていませんか？

「プリンタ共有」はオフにしてください。「プリンタ共有」がオンになっていると、EPSON PS Server に LPR 接続で印刷できなくなります。また、ファイアウォールの設定をしている場合も同様です。この場合使用するポート（515）を開放する必要があります。

EPSON PS Server の起動

準備が整ったら、以下の手順で EPSON PS Server を起動してください。

1 プリンタの電源をオンにします。

EPSON PS Server を起動する前に必ずプリンタの電源をオンにします。

2 ハードディスクのアイコンをダブルクリックします。



↑
ダブルクリックします



【Macintosh HD】というアイコン名は、ご利用の環境によって異なります。

3 EPSON PS Server を起動します。

[アプリケーション] フォルダ内の [EPSON PS Server] アイコンをダブルクリックします。



ダブルクリックします

EPSON PS Server について詳しくは、以下のページを参照してください。

📖 本書 139 ページ「EPSON PS Server の使用方法」

参考

- EPSON PS Server をインストール後初めて起動する場合は、「セットアップガイド」を参照してライセンス番号を入力してください。
- 印刷の前には、必ず EPSON PS Server を起動してください。
- スタンドアロン接続で頻繁に印刷する場合は、EPSON PS Server のエイリアスを作成してデスクトップ上などに置いておくか、Dock に EPSON PS Server を登録しておくとう便利です。
- EPSON PS Server のエイリアスを [システム環境設定] の [ログイン項目] のリストに追加しておくと、Mac OS の起動時に自動的に EPSON PS Server を起動させることができます。
- EPSON PS Server の [環境設定] の [一般] タブにある [Macintosh 起動時にバックグラウンド印刷を可能にする] を有効にすると、EPSON PS Server を起動していない状態でも、バックグラウンドで印刷処理が行われます。
- プリンタのインクの組み合わせを変更した場合は、EPSON PS Server が起動している状態で、[プリンタ設定ユーティリティ] の [情報を見る] - [インストール可能なオプション] で、セットされているインクの組み合わせを選択してください。詳細は、以下のページを参照してください。

📖 本書 175 ページ「インク情報の更新方法」

印刷の手順

EPSON PS Server が管理するプリンタがプリントセンターで追加されており、EPSON PS Server が起動していれば印刷できます。ここでは、Mac OS アプリケーションソフトでの基本的な印刷手順について説明します。プリンタの追加については、以下のページを参照してください。

- 🔗 本書 99 ページ「AppleTalk 接続でのプリンタの追加」
- 🔗 本書 102 ページ「Rendezvous 接続でのプリンタの追加」
- 🔗 本書 104 ページ「TCP/IP (LPR) 接続でのプリンタの追加」

用紙設定の手順

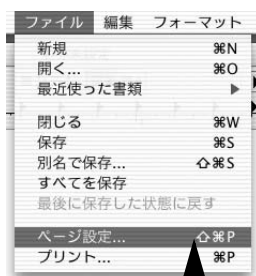
実際に印刷データを作成する前に、プリンタドライバ上で用紙サイズなどを設定します。

参考

アプリケーションソフトによっては、独自の用紙設定ダイアログを表示することがあります。その場合は、アプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

- 1 アプリケーションソフトを起動します。
- 2 [ファイル] メニューから [ページ設定] を選択します。

アプリケーションソフトによっては、コマンド名が異なる場合があります（[プリンタの設定] など）。



選択します

- 3 各項目を設定します。
 - 表示されている設定条件でよければ、改めて設定する必要はありません。
 - 各設定項目の説明は、以下のページをお読みください。
 - 🔗 本書 114 ページ「[ページ設定] ダイアログ」



4 [OK] をクリックして終了します。

この後、印刷データを作成します。次へ進んでください。

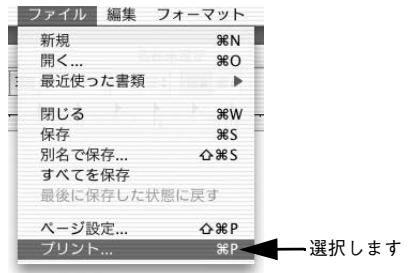
📖 本書 113 ページ「印刷設定の手順」

印刷設定の手順

印刷する前に、印刷部数などを設定します。印刷関係の項目は以下のダイアログボックスで設定します。

1 [ファイル] メニューから [プリント] を選択します。

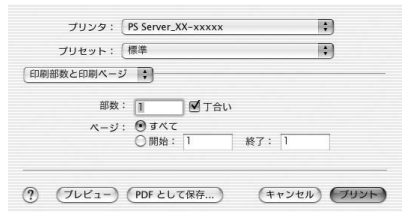
アプリケーションソフトによっては、コマンド名が異なる場合があります（[印刷] など）。



2 各項目を設定します。

- 表示されている設定条件でよければ、改めて設定する必要はありません。
- 各設定項目の説明は、以下のページをお読みください。

📖 本書 117 ページ「[プリント] ダイアログ」



参考

- CMYK/RGB カラーシミュレーション機能を使用したり、フチなし印刷を行うなどプリンタ固有の機能を利用するには、[印刷設定] ダイアログで設定してください。
📖 本書 122 ページ「[印刷設定] ダイアログ」
- アプリケーションソフトによっては、独自の印刷ダイアログを表示する場合があります。その場合は、アプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。
- プロトコルが TCP/IP (LPR) の場合、EPSON PS Server が起動している Mac OS X 上で「プリンタ共有」や「ファイアウォール」を起動していると印刷できないため、注意してください。
- Mac OS X スタンドアロン接続で AppleTalk でプリンタの追加を行った場合、ネットワークに接続しないと AppleTalk が起動しないため印刷できません。

3 [プリント] をクリックして、印刷を実行します。

プリンタドライバの設定項目について

ダイアログに表示される項目は、OS のバージョンにより異なる場合があります。これらの、プリンタドライバに依存しない OS の機能については、Mac OS X の説明書やヘルプも参照してください。

[ページ設定] ダイアログ

[ページ設定] ダイアログでは、用紙に関する基本的な項目を設定します。印刷データを作成する前に設定してください。



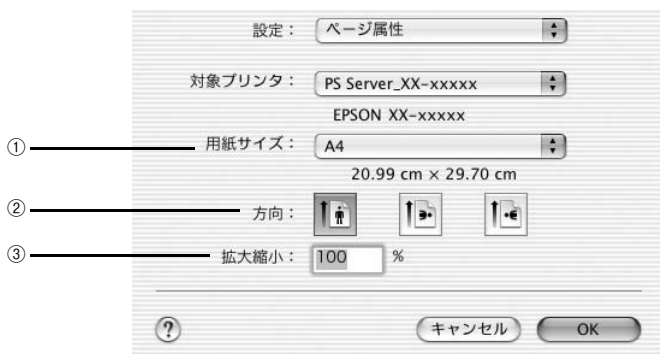
① 設定

ポップアップメニューから設定画面を選択すると、以下の機能が設定できます。

② 対象プリンタ

印刷可能な PS プリンタが複数台ある場合は、このポップアップメニューから使用するプリンタをクリックして選択します。

[ページ属性] ダイアログ



① 用紙サイズ

ポップアップメニューから印刷する用紙サイズを選択します。選択できる用紙サイズは、プリンタの機種によって異なります。使用可能な用紙サイズと印刷可能領域については、お使いのプリンタの取扱説明書をお読みください。

参考

- カスタム用紙サイズを作成して選択することができます。
📖 本書 115 ページ「[カスタム用紙サイズ] ダイアログ」
- フチなし印刷を行う場合は、[xxx (フチなし)] を選択してください (xxx は用紙サイズ)。詳しくは、以下のページをお読みください。
📖 本書 135 ページ「フチなし印刷を行うには」

② 方向

印刷データを用紙に対してどの方向で印刷するかアイコンをクリックして選択します。

③ 拡大縮小

25% ~ 400% の範囲で拡大または縮小して印刷できます。数値を直接入力して設定します。

参考

25 ~ 400 以外の値は、入力しても無効になります。

[カスタム用紙サイズ] ダイアログ

[新規] をクリックし、用紙サイズ名を入力して、カスタム用紙サイズを作成できます。

- [用紙サイズ] と [プリンタの余白] の各項目に数値を入力し、[保存] をクリックして登録します。
- 登録したカスタム用紙サイズを削除するには、用紙サイズ名をリストから選択して [削除] をクリックします。
- 用紙サイズ名をリストから選択して [複製] をクリックすると、「xxx のコピー」という用紙サイズ名で、[用紙サイズ] と [プリンタの余白] の設定が同じ用紙サイズが追加されます。



- 作成したカスタム用紙サイズは、[ページ属性] ダイアログの [用紙サイズ] から選択できます。
- プリンタに付属のユーティリティで作成した用紙情報をカスタム用紙として登録できます。
- 本製品で印刷可能な用紙の長さの最大値は次の通りです。
PX-6500 : 15m
PX-5500 : 3m27cm

[プリント] ダイアログ

[プリント] ダイアログでは、印刷に関わる各種の設定を行います。ダイアログ左上の [印刷設定] メニューから設定画面を選択すると、プリンタの各種機能が設定できます。

① プリンタ: PS Server_XX-xxxxx

② プリセット: 標準

③ 印刷部数と印刷ページ

部数: 1 ☒ 丁合い

ページ: ☒ すべて ☐ 開始: 1 終了: 1

? プレビュー PDFとして保存... キャンセル プリント

① プリンタ

印刷可能な PS プリンタが複数ある場合は、このポップアップメニューから使用するプリンタをクリックして選択することができます。

② プリセット

[プリセット] のポップアップメニューから [保存] または [別名で保存] を選択して、[プリント] ダイアログの設定を保存できます。保存した設定名は、[プリセット] のポップアップメニューから選択できます。

また、[名称変更] を選択すると設定名を変更でき、[削除] を選択すると設定を削除できます。



「標準」の設定を選択している場合は、[保存]、[名称変更]、[削除] は選択できません。

③ 印刷設定メニュー

印刷に関する各種機能の設定が実行できます。ポップアップメニューから選択してください。各設定項目については、次ページ以降をお読みください。

[印刷部数と印刷ページ] ダイアログ



① 部数

印刷する部数を設定します。直接数値を入力して設定します。設定可能な部数は OS の仕様に準じます。EPSON PS Server の [環境設定] の [一般] ダイアログで [ラスタースプールモード] を有効にすると、複数の部数を高速に印刷できます。(この場合、印刷データをディスクに保存しながら行うため、1 部目の印刷は遅くなり、2 部目から高速になります。)

📖 本書 140 ページ「環境設定」

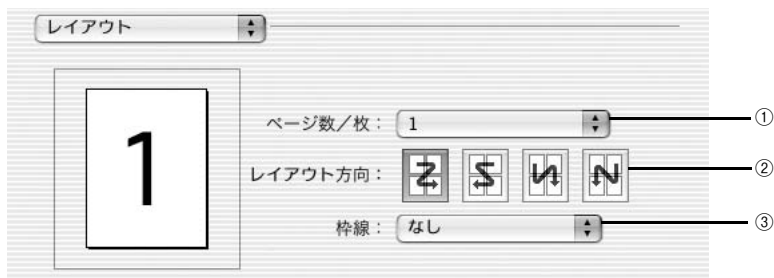
② 丁合い

①の部数で指定した部単位でまとめて印刷する場合にチェックします。ただし、スタンドアロン接続では本機能は使用できません。

③ ページ

印刷するページの範囲を設定します。

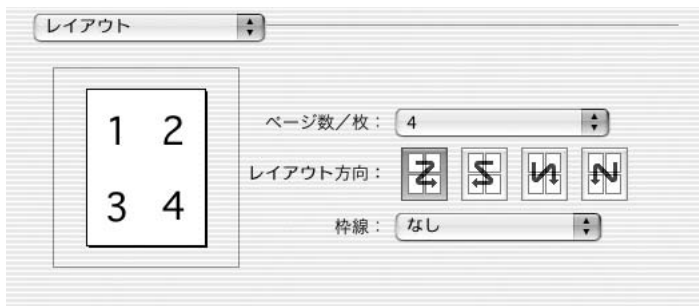
[レイアウト] ダイアログ



① ページ / 枚

- 分割印刷や割付印刷を行わない場合は、[1] を選択します。
- 大きな用紙サイズを複数のページに分けて分割印刷するには、分割ページ数をメニューから選択します。スタンドアロン接続では本機能は使用できません。ただし、印刷データを一旦ファイルとして保存した場合は、スタンドアロン接続でも本機能をご利用いただけます。

分割印刷をする場合



- 連続した印刷データを1枚の用紙に割り付けて印刷するには、割付ページ数をメニューから選択します。

② レイアウト方向

割り付け印刷を行う場合、ページを並べる順番をアイコンをクリックして選択できます。

設定	機能
	ページを左上→右上→右下→左下の順に並べます。
	ページを右上→左上→右下→左下の順に並べます。
	ページを左上→左下→右下→右下の順に並べます。
	ページを右上→右下→左下→左下の順に並べます。

③ 枠線

割り付けた印刷データの周りに枠線を描くかどうかを選択できます。ポップアップメニューから枠線の種類も選択できます。

[出力オプション] ダイアログ



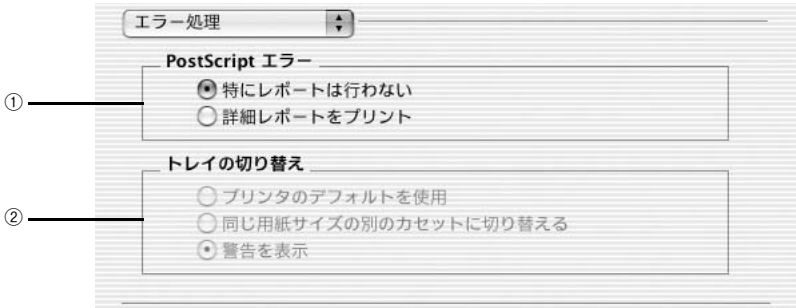
① ファイルとして保存

印刷データを、PDF ファイルまたは PostScript ファイルに保存するときにチェックマークを付けます。チェックマークを付けると、[プリント] ダイアログの [プリント] が [保存] に切り替わります。

② フォーマット

[ファイルとして保存] にチェックマークを付けたときに有効になります。保存時のファイル形式を、[PDF] または [PostScript] から選択します。

[エラー処理] ダイアログ



① Post Script エラー

PostScript エラーが発生した場合に報告するかどうかを選択します。

設定	機能
特にレポートは行わない	PostScript エラーが発生しても報告しません。
詳細レポートをプリント	PostScript エラーが発生した場合、エラーの詳細をプリンタで印刷します。

② トレイの切り替え

本製品では設定できません。

[給紙] ダイアログ



印刷する用紙がセットされた給紙装置に合わせて選択します。通常は「全体」を選択して、すべてのページで同じ給紙装置を使用します。

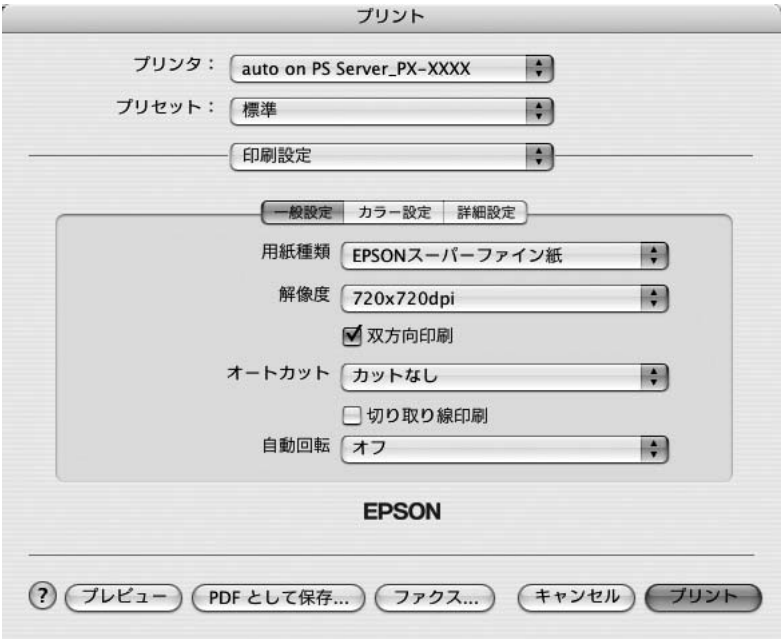
設定	機能	
給紙	どの給紙装置にセットされている用紙を使用するかを選択します。	
	自動選択	実際にプリンタにセットしてある給紙設定に従って給紙して印刷します。
	オートシートフィーダ*	プリンタのオートシートフィーダにセットした用紙を給紙します。
	ロール紙	プリンタのロール紙ホルダにセットした用紙を使用します。
	手差し（定形紙）	プリンタ側で「手差し（定形紙）」に設定する必要がある用紙の場合に設定します。

お使いの機種によって初期設定が異なります。その他の給紙設定を使用する場合はサーバの初期設定を変更するか / 本設定で使用したい給紙装置を設定してください。

[印刷設定] ダイアログ

[印刷設定] ダイアログでは、プリンタ固有の機能を設定できます。プリンタの機種によって、設定できる機能や設定の選択肢が異なります。

[一般設定] タブ

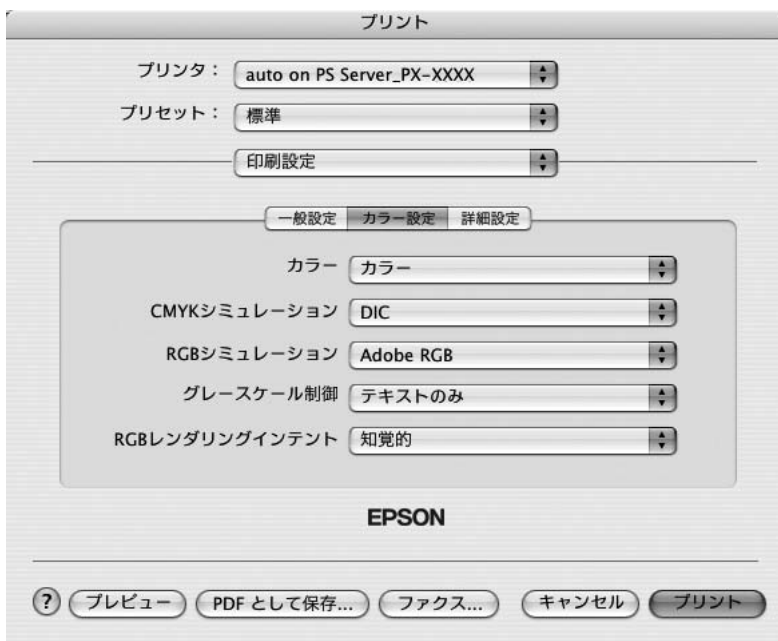


設定	機能	
用紙種類	使用する用紙の種類を選択します。選択した〔用紙種類〕によって〔解像度〕に制限があり、利用できない〔解像度〕が選択されているとエラーメッセージを表示します。用紙種類と解像度の組み合わせについては、以下のページを参照してください。 📖 本書 237 ページ「用紙種類 / 解像度と ICC プロファイルの一覧」	
解像度	プリンタの解像度（横×縦）を選択します。選択した〔解像度〕によって〔用紙種類〕に制限があり、利用できない〔用紙種類〕が選択されているとエラーメッセージを表示します。用紙種類と解像度の組み合わせについては、以下のページを参照してください。 📖 本書 237 ページ「用紙種類 / 解像度と ICC プロファイルの一覧」	
双方向印刷	プリントヘッドが左右どちらに移動するときも印刷するかどうかを設定します。ただし、双方向印刷を行うと印刷品質が多少低下する場合がありますので、より高品質な印刷を行いたい場合はチェックを外してください。	
	オン（初期設定）	双方向印刷を行います。
	オフ	双方向印刷を行いません。

設定	機能	
オートカット (PX-6500 のみ)	オートカッターを使用して用紙を切断するかを設定します。	
	カットなし (初期設定)	オートカッターは使用しません。
	カットあり	オートカッターで用紙を切断します。
	四辺フチなし 1 カット	四辺フチなし印刷時、オートカットを行います。 ページとページの間を 1 回のカットで切り離します。
	四辺フチなし 2 カット	四辺フチなし印刷時、オートカットを行います。 ページとページの間をカットする場合、ページの 終端をカットした後、用紙を送り出して次のペー ジの上端をカットします。
切り取り線印刷 (PX-6500 のみ)	切り取り線を印刷するかを設定します。	
	オフ (初期設定)	切り取り線を印刷しません。
	オン	切り取り線を印刷します。
自動回転 (PX-6500 のみ)	給紙装置で指定したロール紙の幅に応じて、用紙方向の自動回転を行うかを設定 します。オンにする場合は、同時にロール紙の用紙幅を選択してください。	
	オフ (初期設定)	自動回転しません。
	オン [17 in]	自動回転します。 用紙幅を選択します。
	オン [420 mm]	
	オン [16 in]	
	オン [400mm]	
	オン [14 in]	
	オン [13 in]	
	オン [12 in]	
	オン [300 mm]	
	オン [10 in]	
	オン [210mm]	
	オン [8 in]	

【カラー設定】タブ

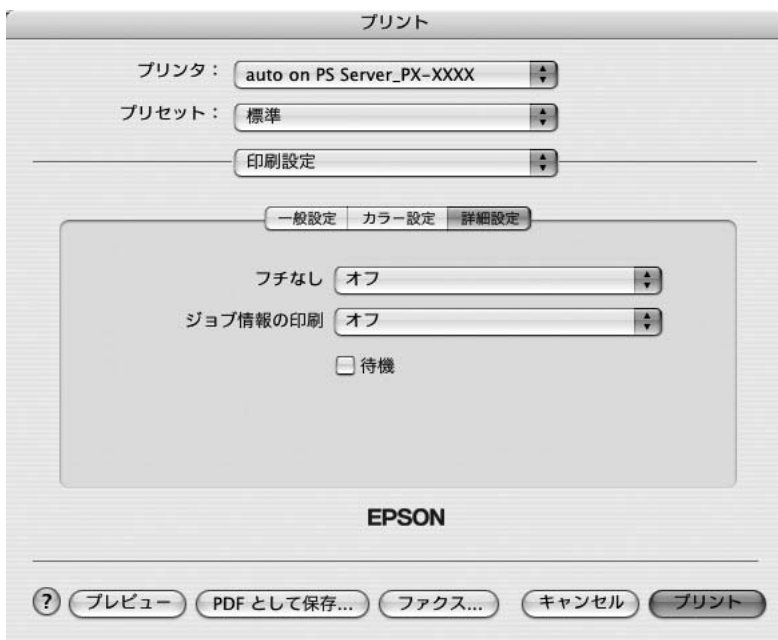
RGB 用 PPD ファイルを使用する場合、「CMYK シミュレーション」、「RGB シミュレーション」、「グレースケール制御」、「RGB レンダリングインテント」は設定できません。



設定	機能	
カラー	カラー印刷するかグレースケール印刷するかを設定します。	
	カラー（初期設定）	カラーで印刷します。
	グレースケール	グレースケール（白黒の階調）で印刷します。
CMYK シミュレーション （RGB用PPD選択時は表示されません）	オフセット印刷機の CMYK インク色を再現して印刷する場合に、シミュレーションする CMYK インクの色を選択します。	
	オフ	CMYK シミュレーション機能を使用しません。
	DIC	大日本インキ化学工業株式会社の DIC 標準色
	SWOP	SWOP™ 出版印刷色
	Euro	ヨーロッパ（Eurostandard）の印刷色
	TOYO	東洋インキ製造株式会社の東洋インキ標準色
	JMPA	雑誌広告基準カラー（JMPA カラー）
	JapanColor2001（初期設定）	JapanColor 色再現印刷 2001 に準拠
	カスタム 1 ～ 10	EPSON PS Server の [カラーマネージャ設定] ダイアログで登録したカスタム CMYK プロファイルで定義している印刷色 📖 本書 150 ページ「カラーマネージャ設定」

設定	機能	
RGB シミュレーション (RGB用PPD選択時は表示されません)	RGB 色を再現して印刷する場合に、シミュレーションする RGB 色を選択します。	
	オフ	RGB シミュレーション機能を使用しません
	Adobe RGB (初期設定)	Adobe 社が定義する RGB 色
	Apple RGB	Apple 社が定義する RGB 色
	カスタム 1 ～ 10	EPSON PS Server の [カラーマネージャ設定] ダイアログで登録したカスタム RGB プロファイルで定義した RGB 色 📖 本書 150 ページ「カラーマネージャ設定」
グレースケール制御 (RGB用PPD選択時は表示されません)	黒の調整方法を設定します。	
	オフ (初期設定)	CMYK4 色を混ぜて、黒の階調を表現します。
	オン	CMYK4 色の内、K のみを使用して黒の階調を表現します。
RGB レンダリングインテント (RGB用PPD選択時は表示されません)	出力装置が再現できる色には限界があり、特定の出力装置で色を再現する場合、指定した色の再現範囲を調整する必要があります。その再現範囲の調整方法の種類を選択します。本設定は、RGB シミュレーションのみに機能します。	
	知覚的 (初期設定)	視覚的に自然なイメージになるように変換します。画像データが広範囲な色域を使用している場合に使用します。
	相対的な色域を維持	元データの色域座標と印刷時の色域座標が一致するように、さらに白色点 (色温度) の座標値が一致するように変換します。多くのカラーマッチング時に使用されます。
	彩度	彩度を保持して変換を行います。
	絶対的な色域を維持	元データも印刷データも絶対的な色域座標に割り当てて変換します。元データと印刷データの白色点 (色温度) は色調補正されません。ロゴカラーの印刷など、特殊な用途で使います。

[詳細設定] タブ



設定	機能	
フチなし	フチなし印刷を行うかどうかを設定します。[用紙サイズ]を[xxx（フチなし）]に設定した場合のみ「オン」を選択できます（xxxは用紙サイズ）。 🔗 本書 115 ページ「[カスタム用紙サイズ] ダイアログ」 🔗 本書 135 ページ「フチなし印刷を行うには」	
	オフ（初期設定）	フチなし印刷を行いません。
	カスタム設定（原寸維持）	原寸を維持した状態で、フチなし印刷を行います。 この設定でフチなしを行うためには、予めカスタム用紙でフチなしにする用紙サイズ+左右 3mm の大きさの用紙を定義する必要があります。
	自動拡大（標準）	フチなし用紙を選択して印刷することでイメージを自動的に拡大してフチなし印刷を実現します。 はみ出し量は、左右上下 3mm になります。
	自動拡大（多い）	フチなし用紙を選択して印刷することでイメージを自動的に拡大してフチなし印刷を実現します。 はみ出し量は、左上下 3mm、右 5mm になります。
	自動拡大（少ない）	フチなし用紙を選択して印刷することでイメージを自動的に拡大してフチなし印刷を実現します。 はみ出し量は、左右上下 1.5mm になります。

設定	機能	
ごすれ軽減 (PX-5500 のみ)	印刷ごすれを軽減します。印刷ごすれが発生したときのみオンにします。オンにすると、印刷速度が遅くなる場合があります。	
	オン	ごすれ軽減の機能を有効にします。
	オフ (初期設定)	ごすれ軽減の機能を有効にします。
ジョブ情報の印刷	ジョブ情報を印刷するかを設定します。	
	オフ (初期設定)	ジョブ情報を印刷しません。
	上端に印刷	ジョブ情報を用紙の上端に印刷します。
	下端に印刷	ジョブ情報を用紙の下端に印刷します。
	左端に印刷	ジョブ情報を用紙の左端に印刷します。
	右端に印刷	ジョブ情報を用紙の右端に印刷します。
待機	印刷せずに印刷ジョブを待機させるかを設定します。ただし、AppleTalk 接続の場合、本項目をオンにしても、機能しません。	
	オフ (初期設定)	印刷ジョブを待機しません (印刷します)。
	オン	印刷ジョブを待機します (印刷しません)。

【一覧】 ダイアログ

ページ属性の一覧を表示します。



その他の印刷方法

通常の印刷方法とは異なるさまざまな印刷方法について説明します。

ファイルへの出力

AdobePS ドライバを使用してファイルを印刷する際に、PDF（Portable Document Format）ファイルまたは PS（PostScript）ファイルとして保存することができます。



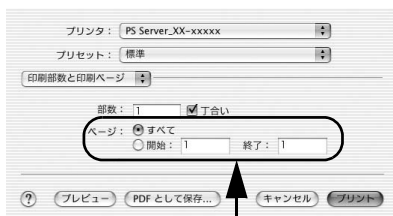
参考

PDF ファイルや PS ファイルは、その元ファイルを作成したアプリケーションソフトがなくても印刷できます。以下のページをお読みください。

📖 本書 129 ページ「ドラッグ＆ドロップによる印刷」

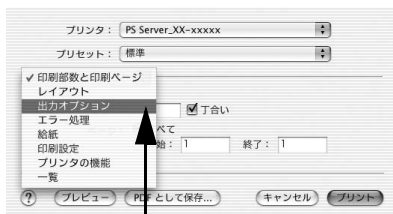
📖 本書 139 ページ「ファイルの直接印刷」

- 1 [ファイル] メニューから [プリント]（または [印刷]）を選択します。
- 2 [印刷部数と印刷ページ] ダイアログで、保存する範囲を設定します。



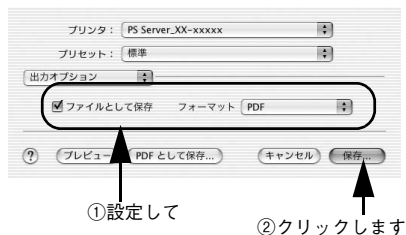
保存するページ範囲を選択します

- 3 ポップアップメニューから [出力オプション] をクリックします。



クリックします

- 4 各項目を設定し、[保存] をクリックします。
各項目の詳細は、以下のページを参照してください。
📖 本書 120 ページ「[出力オプション] ダイアログ」



- 5 保存先のフォルダを選択し、ファイル名を入力して、[保存] をクリックします。



ドラッグ&ドロップによる印刷

EPSON PS Server をインストールしてある Mac OS であれば、ファイルへ出力した印刷ファイルを [EPSON PS Server] アイコンに重ね合わせて（ドラッグ&ドロップ）印刷できます。

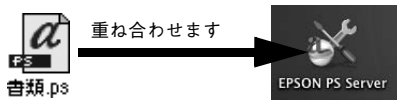
参考

- EPSON PS Server のエイリアスを作成してデスクトップに置くと、簡単にドラッグ&ドロップして印刷できるので便利です。
- 通常の印刷より速く処理を終えて印刷を始められます。

- 1 印刷したいファイルをクリックして反転表示させます。
- 2 EPSON PS Server（またはそのエイリアス）にファイルをドラッグ&ドロップします。

選択したファイルをクリックしたまま、マウスを操作して EPSON PS Server のアイコン（またはエイリアス）の上に重ね合わせ、アイコンが反転表示したらマウスボタンを離します。EPSON PS Server はドロップしたファイルを読み込んで印刷を始めます。

<例：EPSON PS Server のエイリアスにドラッグ&ドロップする場合>





- [プリント] ダイアログは表示されません。読み込んだファイルは EPSON PS Server の [プリンタ初期設定] で設定した印刷条件に従って印刷されます。なお、ファイル出力時や PostScript/EPS ファイル作成時に [用紙設定] や [プリント] ダイアログの設定を行っている場合は、それらの設定が EPSON PS Server の [プリンタ初期設定] より優先されます。
📖 本書 145 ページ「プリンタ初期設定」
- ファイルをドラッグ & ドロップしても EPSON PS Server が反転表示しない場合は、デスクトップの更新を実行してください。

【ファイル】メニューから印刷

EPSON PS Server の [ファイル] メニューから [開く] を選択し、印刷したいファイルを直接開いて印刷することができます。

印刷できるファイル形式と印刷方法については、以下のページを参照してください。

📖 本書 139 ページ「ファイルの直接印刷」

ホットフォルダを使用して印刷 (EPSON PS Folder)

コンピュータ上にホットフォルダを作成し、印刷したいファイルをドラッグ & ドロップすることで印刷できます。詳細については、以下のページを参照してください。

📖 本書 167 ページ「ホットフォルダについて」

カラーシミュレーション機能について

CMYK/RGB カラーシミュレーションとは



RGB 用 PPD ファイルを使用する場合は、CMYK/RGB カラーシミュレーションは行えません。

📖 本書 229 ページ「RGB カラー印刷について」

CMYK シミュレーション

ほとんどの PostScript 対応アプリケーションソフト日本語版（PageMaker、QuarkXPress、Illustrator、Photoshop < CMYK カラーモード>など）は、印刷機で使用する CMYK カラーを指定できます。これらのアプリケーションソフトから本製品で印刷する際に、CMYK シミュレーション機能を使用することにより、最終的に使用するオフセット印刷機の色（CMYK カラー）を再現（シミュレーション）することができます。本製品でシミュレーションできる CMYK カラーは、次の通りです。

設定	CMYK シミュレーション
オフ	CMYK シミュレーション機能を使用しません。
DIC	大日本インキ化学工業株式会社の DIC 標準色
SWOP	SWOP™ 出版印刷色
Euro	ヨーロッパ（Eurostandard）の印刷色
TOYO	東洋インキ製造株式会社の東洋インキ標準色
JMPA	雑誌広告基準カラー（JMPA カラー）
JapanColor2001 （初期設定）	Japan Color 色再現印刷 2001 に準拠
カスタム 1 ～ 10	EPSON PS Server の [カラーマネージャ設定] ダイアログで登録したカスタム CMYK プロファイルで定義している印刷色 📖 本書 150 ページ「カラーマネージャ設定」

RGB シミュレーション

一部の PostScript 対応アプリケーションソフト（Photoshop < RGB カラーモード>など）は、RGB カラーを指定できます。これらのアプリケーションソフトから本製品で印刷する際に、RGB シミュレーション機能を使用することにより、使用する RGB カラーを再現（シミュレーション）することができます。本製品でシミュレーションできる RGB カラーは、次の通りです。

設定	RGB シミュレーション
オフ	シミュレーションしません。
Adobe RGB（初期設定）	Adobe 社が定義する RGB 色
Apple RGB	Apple 社が定義する RGB 色
カスタム 1 ～ 10	EPSON PS Server の [カラーマネージャ設定] ダイアログで登録したカスタム RGB プロファイルで定義した RGB 色 📖 本書 150 ページ「カラーマネージャ設定」

！注意

本製品の CMYK/RGB シミュレーション機能をご利用いただく場合は、以下の点に留意してください。

- この機能を使用しても、必ずしも最終印刷物や RGB モニタと完全な色合わせが行えるわけではありません。出力機器（印刷機や RGB モニタ）には特性の違いや個体差があり、特定出力機器の色を完全にシミュレーションできないためです。
- 印刷物の色は、照明によって見え方が変化します。この機能は、D50 光源の照明下で印刷物を観測することを想定しています。
- アプリケーションソフト上でカラーマネージメント機能を設定する場合は、この機能は使用しないでください。

📖 本書 236 ページ「ソフトウェア上でのカラーマネージメント設定」

設定と印刷の手順

CMYK/RGB シミュレーションを行うには、以下の手順に従ってください。

参考

印刷を行うアプリケーションソフトや印刷条件により、手順が異なる場合があります。その場合は、アプリケーションソフトの取扱説明書をお読みください。また、必要に応じて手順中に表示されるそのほかの項目の設定を行ってください。

1 印刷するファイルを作成します。

- CMYK シミュレーションを行う場合は、色を CMYK カラーで指定して、ファイルを作成します。
- RGB シミュレーションを行う場合は、色を RGB カラーで指定して、ファイルを作成します。

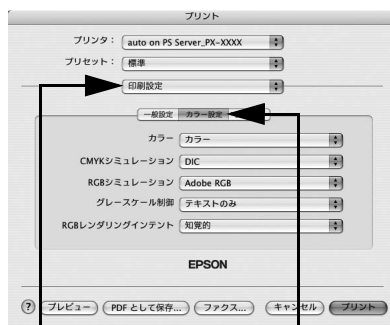
参考

Adobe 社の Photoshop などのアプリケーションソフトは、CMYK や RGB のカラープロファイルを選択することができます。シミュレーションするカラー専用のプロファイルを選択してから、ファイルを作成してください。詳細は、アプリケーションソフトの取扱説明書をお読みください。

2 [プリント] ダイアログを開きます。

📖 本書 113 ページ「印刷設定の手順」

- 3 [プリント] ダイアログのポップアップメニューから [印刷設定] を選択し、[カラー設定] タブをクリックします。



①選択して

②選択します

プリンタの機種によって画面は異なります

- 4 [インク] で [カラー] を選択します。
[黒]または[グレースケール]を選択すると、CMYK シミュレーションは行われません。
- 5 [CMYK シミュレーション] および [RGB シミュレーション] で、シミュレーションの対象となる印刷機色のプロファイルを選択します。
- CMYK シミュレーションする場合は、以下のプロファイルから選択できます。

設定	CMYK シミュレーション
オフ	CMYK シミュレーション機能を使用しません。
DIC	大日本インキ化学工業株式会社のDIC 標準色をシミュレーションするプロファイルです。
SWOP	SWOP™ 出版印刷物をシミュレーションするプロファイルです。
Euro	ヨーロッパ (Eurostandard) の印刷物をシミュレーションするプロファイルです。
TOYO	東洋インキ製造株式会社の東洋インキ標準色をシミュレーションするプロファイルです。
JMPA	雑誌広告基準カラー (JMPA カラー) をシミュレーションするプロファイルです。
JapanColor2001 (初期設定)	Japan Color 色再現印刷 2001 に準拠
カスタム 1 ～ 10	EPSON PS Server の [カラーマネージャ設定] ダイアログで登録したカスタム CMYK プロファイルで定義している印刷色をシミュレーションします。 📖 本書 150 ページ「カラーマネージャ設定」

- RGB シミュレーションする場合は、以下のプロファイルから選択できます。

設定	RGB シミュレーション
オフ	シミュレーションしません。
Adobe RGB (初期設定)	Adobe 社が定義する RGB 色
Apple RGB	Apple 社が定義する RGB 色
カスタム 1 ～ 10	EPSON PS Server の [カラーマネージャ設定] ダイアログで登録したカスタム RGB プロファイルで定義した RGB 色をシミュレーションします。 📖 本書 150 ページ「カラーマネージャ設定」

参考

- CMYK データであれば CMYK シミュレーションが行われ、RGB データであれば RGB シミュレーションが行われます。
- シミュレーションを行わない場合は（プリンタ本来の色で印刷する場合は）、[オフ] を選択してください。
- アプリケーションソフト上でカラーマネージメント機能を設定する場合は、必ず [オフ] を選択してください。両方の機能を同時に使用すると、2 重にカラー補正されて正しい色で印刷できません。
📖 本書 236 ページ「ソフトウェア上でのカラーマネージメント設定」
- カスタムプロファイルを EPSON PS Server に登録する方法については、以下のページをお読みください。
📖 本書 150 ページ「カラーマネージャ設定」

6 [プリント] をクリックして印刷を実行します。

フチなし印刷を行うには

通常の印刷では、プリンタの構造上どうしても用紙の四辺に余白ができてしまい、用紙いっぱいに印刷することができません。本機のフチなし印刷機能を使用すると、用紙の四辺または左右にフチ（余白）のない印刷が可能になります。操作の手順は以下のページをお読みください。

📖 本書 136 ページ「フチなし印刷の手順」

フチなし印刷が可能な用紙とサイズ

本製品でフチなし印刷が可能な用紙とサイズは、お使いのプリンタの機種によって異なります。使用する用紙の種類に合わせて [用紙種類] を設定し、詳細オプションの [フチなし] をオンに設定します。フチなし印刷が可能な用紙と用紙サイズは、プリンタの機種により異なります。詳細については、プリンタの取扱説明書を参照してください。

参考

- 以下のエプソン純正専用紙をお使いいただくことをお勧めします。下記以外の組み合わせでは、プリントヘッドがこすれて印刷結果が汚れるおそれがあります。
- 市販の用紙をお使いいただく場合、対応する [用紙種類] の設定については、用紙の取扱説明書をお読みください（不明な場合は、用紙メーカーにお問い合わせください）。用紙によっては、プリントヘッドがこすれて印刷結果が汚れるおそれがあります。試し印刷することをお勧めします。

カスタム用紙サイズでのフチなし印刷のご注意

カスタム用紙サイズでフチなし印刷する場合、プリンタドライバの [カスタム用紙サイズ] ダイアログで、カスタム用紙サイズを設定します。この場合、次の制限があります。

- フチなし印刷の場合、[用紙の向き] の設定に関係なく、短辺から出力されます。
- 用紙幅は、定形紙と同じ用紙幅に設定する必要があります。

📖 本書 115 ページ「[カスタム用紙サイズ] ダイアログ」

フチなし印刷の手順

フチなし印刷の詳細については各プリンタの取扱説明書を参照してください。
PX-5500、PX-6500 の場合、「自動拡大」と「カスタム設定（原寸維持）」の 2 種類があります。

設定	説明
自動拡大（標準） 自動拡大（多い） 自動拡大（少ない）	印刷するデータを印刷用紙のサイズより左右に拡大し、はみ出させることでフチなし印刷します。上下は左右と同じ比率で拡大します。 自動的に印刷データを拡大して印刷するため、簡単にフチなし印刷ができます。ただし、はみ出した部分（左右拡大分、上下は用紙サイズを越えた部分）は印刷されません。 左右に拡大・はみ出す量は、次の通りです。 - 自動拡大（標準）：左右 3mm - 自動拡大（多い）：左 3mm、右 5mm（印刷データの中心は右に 1mm 偏ります。） - 自動拡大（少ない）：左右 1.5mm 印刷データの作成時、次の点に注意してください。 - 用紙サイズいっぱいになるよう、印刷データを作成します。 - 余白設定ができる場合、余白を 0mm に設定します。
カスタム設定（原寸維持）	印刷するデータのサイズは変えません。 あらかじめ、アプリケーションソフト側で、実際の用紙サイズより大きめに印刷データを作成しておくことでフチなし印刷を実現します。 通常、実際のサイズより左右 3mm（合計 6mm）はみ出すように印刷データを作成します。 上下方向の長さはカット方法によって変わります。 印刷データの作成時、次の点に注意してください。 - 用紙サイズより左右各 3mm（計 6mm）広くなるよう、印刷データを作成します。 - 余白設定ができる場合、余白を 0mm に設定します。

プリンタの機種により、フチなし印刷後の用紙カットの方法が異なります。

PX-5500

ロール紙の場合は左右フチなし印刷となり、印刷後にカットする必要があります。単票紙の場合は四辺フチなし印刷となります。

PX-6500

ロール紙のフチなし印刷の場合、設定によってオートカット（上端・下端を自動的にカットします）の動作が異なります。

設定	説明
左右フチなし	左右フチなし印刷の場合、ページの上端と下端の余白の部分で用紙をカットします。
四辺フチなし（1 カット）	四辺フチなし印刷した各ページを、1 回でカットします。 カット位置がずれていると、連続するページの画像がわずかに上下端に残ることがありますが、「四辺フチなし（2 カット）」より印刷時間は短くなります。 複数部数を連続して印刷する場合、1 枚目の上端と連続部の下端のみ、余白が残らないよう 1mm 内側をカットします。

設定	説明
四辺フチなし（2 カット）	四辺フチなし印刷で1 ページ分の印刷が終わると、用紙の下端をカットした後、自動的に紙送りを行い、次ページの上端をカットします。このため紙送りの分（80 ～ 130mm 程）切れ端が生じますが、より正確にカットします。上下端に余白が残らないよう、画像の内側でカットしますので、指定サイズより2mm 程度短くなります。

フチなし印刷を行うには、以下の手順に従ってください。



アプリケーションソフトによっては、連続のフチなし印刷ができないものがあります。

- 1 お使いのプリンタの機種に応じて、フチなし印刷可能な種類とサイズの紙（定形紙、ロール紙、単票紙）を用意し、プリンタにセットします。

📖 本書 135 ページ「フチなし印刷が可能な用紙とサイズ」



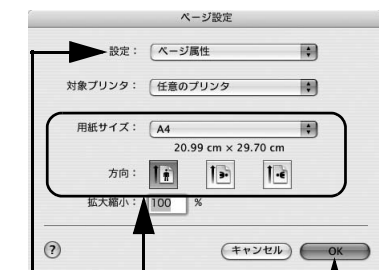
PX-5500 の場合、定形紙ではフチなし印刷できません。「用紙サイズ」で「PostScript カスタムページサイズ」を選択し、用紙サイズを指定する必要があります。

- 2 アプリケーションソフトで、① で用意した用紙サイズに合わせて印刷データを作成します。

- 用紙サイズの設定方法やデータの作成方法については、アプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。
- 原寸維持の場合は予め左右 6mm 上下任意（カット方法による）のサイズのデータを作成する必要があります。

- 3 [ページ属性] ダイアログを開いて、[用紙サイズ] を選択し、[方向] も選択してから [OK] をクリックしてダイアログを閉じます。

📖 本書 135 ページ「フチなし印刷が可能な用紙とサイズ」



① 選択して

② 選択して

③ クリックします

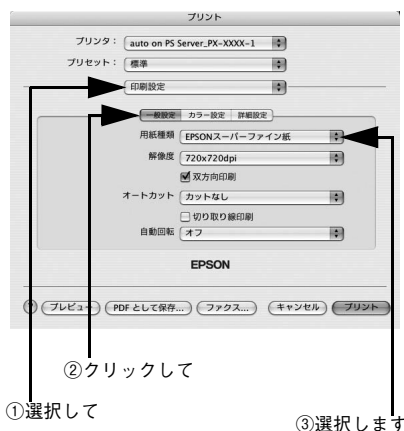


アプリケーションソフトで作成した印刷データの寸法に合わせて、[用紙]（サイズ）と[方向]を設定します。ロール紙を使用する場合で、ロール幅より狭い[用紙]（サイズ）を選択した場合、右側はフチなしとなるように手動でカットしてください。

4 [プリント] ダイアログの[印刷設定] ダイアログを開き、[一般設定] タブをクリックして、[用紙種類] を選択します。

- ① でセットした用紙の種類に合わせて、[用紙種類] を選択します。
- お使いのプリンタの機種に応じて、選択できる[用紙種類] は異なります。

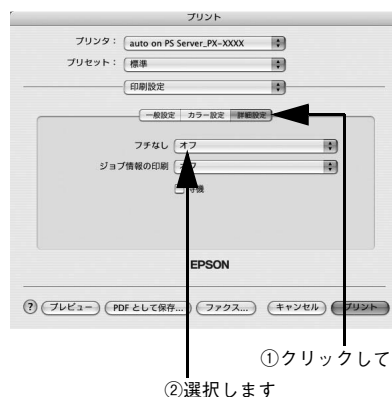
📖 本書 135 ページ「フチなし印刷が可能な用紙とサイズ」



5 [詳細設定] タブをクリックして、[フチなし] を選択します。

設定は [オフ]、[カスタム設定 (原寸維持)]、[自動拡大 (標準)]、[自動拡大 (多い)]、[自動拡大 (少ない)] から選択できます。

📖 126 ページ「フチなし」



6 必要に応じて他のタブの画面で印刷に必要な項目を設定し、[プリント] をクリックして印刷を実行します。

EPSON PS Server の使用方法

ファイルの直接印刷

本製品は、以下のファイルにネイティブ対応していますので、これらの形式のファイルはアプリケーションを起動することなく直接印刷できます。

対応：

PS、PDF Ver. 1.5、TIFF*1、JPEG*2、EPS

*1 ベースラインに準拠。LZW 圧縮・JPEG 圧縮をサポート。

ZIP 圧縮は非対応。16bit TIFF 非対応。YcbC、マルチページ、 α チャンネルには非対応。

1bit TIFF についても非対応

*2 ベースラインに準拠。1 ピクセル=1 ポイントで描画。プログレッシブ形式の圧縮等は非対応。

！ 注意

直接印刷については、以下のページをお読みください。

📖 本書 128 ページ「その他の印刷方法」

[ファイル] メニューから [開く] を選択します。印刷したいファイルを選択して、[開く] をクリックしてください。



PDF、TIFF、JPEG、EPS ファイルを直接印刷する場合の、印刷設定は [プリンタ初期設定] ダイアログで設定できます。

📖 本書 145 ページ「プリンタ初期設定」

環境設定

EPSON PS Server が備える基本機能の初期状態を設定するには、EPSON PS Server の [編集] メニューから [環境設定] を選択します。

[一般] タブ



① ジョブ情報ログを出力する

チェックマークを付けると、以下の場所に印刷ジョブのログを残します。

/Library/Logs/EPSON PS Server/job.csv

② Macintosh 起動時にバックグラウンド印刷を可能にする

Mac OS を起動したときに、EPSON PS Engine を自動的に起動するかを選択します。

- オン (チェックマークあり) の場合は、Mac OS 起動時に EPSON PS Engine を自動的に起動します。チェックマークを付けて、Mac OS を再起動すると、以後 EPSON PS Engine が常駐アプリケーションとして動作します。印刷状態の確認や印刷のキャンセルは、EPSON PS Server を起動して行ってください。
- オフ (チェックマークなし) の場合は、Mac OS 起動時に EPSON PS Engine を起動しません。EPSON PS Engine を起動する場合は、手動で EPSON PS Server を起動してください。EPSON PS Engine を常駐させたくない場合は、チェックマークを外してください。

③ 最大ジョブ数

保存できるジョブの最大数を設定します。1 ～ 99 まで設定できます (初期設定は 10 です)。設定数を超えるジョブを受信した場合、PS Manager で表示している古いジョブから順に削除されます。

④ クライアントパスワード

PS Manager が接続するときに必要なパスワードを設定します。半角で 32 文字まで設定できます。テキストボックスにパスワードを入力し、[OK] をクリックするとパスワードが設定されます。



初期設定では、パスワードは設定されていません。

[RIP] タブ



① RIP メモリサイズ

PostScript インタープリタが使用可能な最大メモリサイズを（20 ～ 999MB）設定します。20MB から設定できます（初期設定＝ 256MB）。処理が遅い場合や一部が印刷できない場合などにメモリサイズを増やしてみてください。なお、設定は EPSON PS Server の再起動後に有効となります。

② ラスタースプールモード

［ラスタースプールモード］をオンにすると、最初に印刷データをすべてハードディスクにスプールします。そして、1 部目からスプールしたラスターデータをプリンタへ送って印刷します。なお、設定は EPSON PS Server の再起動後に有効となります。［ラスタースプールモード］がオンの場合、はじめに印刷データをハードディスクに送るため、1 部目の印刷はオフの場合より遅くなることがあります。複数部の印刷を行う場合や、ネットワーク経由の印刷で通信速度を確保できない場合等にオンにしてください。

参考

［ラスタースプールモード］をオフに設定した場合、1 部目の印刷データをスプールする途中でプリントヘッドが一時的に停止して印刷ムラが発生する可能性があります。印刷ムラが発生する場合は、［ラスタースプールモード］をオンに設定して印刷してください。

[AppleTalk] タブ



① ネットワーク名

EPSON PS Server のネットワーク名を入力します。ここで指定した名称が、プリントセンターで [AppleTalk] を選択したときに表示されます。

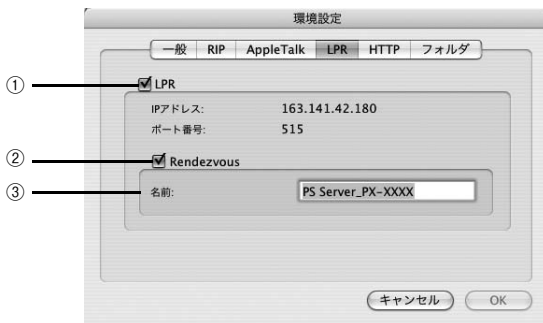


ネットワーク名が重複する場合は、名前の後に「xxx-1」、「xxx-2」と数字が付きます。

② 待ち時間

設定した時間（2 ～ 3600 秒）を経過しても何のデータも受信しないと、EPSON PS Server は接続状態を一旦解除します。（初期設定 = 120 秒）

[LPR] タブ



① LPR

チェックマークを付けると、LPR サーバ機能が有効となります。
[IP アドレス] はホストに設定されている IP アドレスを表示します。
[ポート番号] は「515」に設定されています。

② Rendezvous

チェックマークを付けると、Rendezvous が有効となります。ただし、[LPR] がオフ（チェックマークなし）の場合は無効です。また、スタンドアロン接続では本機能は使用できません。

③ 名前

EPSON PS Server のネットワーク名を入力します。プリントセンターで Rendezvous を選択したときに、ここで指定した名前が表示されます。

[HTTP] タブ



① HTTP を使用してクライアント接続を可能にする

チェックマークを付けると、HTTP サーバ機能が有効となります（EPSON PS Manager が使用できるようになります）。IP アドレスはホストに設定されている IP アドレスを表示し、ポート番号は「80」に設定されます。

！ 注意

EPSON PS Manager を使用する場合は、[パーソナル Web 共有] を有効にしてください。

② URL

EPSON PS Manager の URL を表示します。

[フォルダ] タブ



① フォルダパス

EPONS PS Folder で使用する共有フォルダをフルパスで表示します。

② 削除

削除したいフォルダパスをリストから選択してクリックすると、その共有フォルダが削除されます。

③ 追加

クリックすると、フォルダを指定するダイアログが表示されます。ここで指定したフォルダが「フォルダパス」に表示されます。



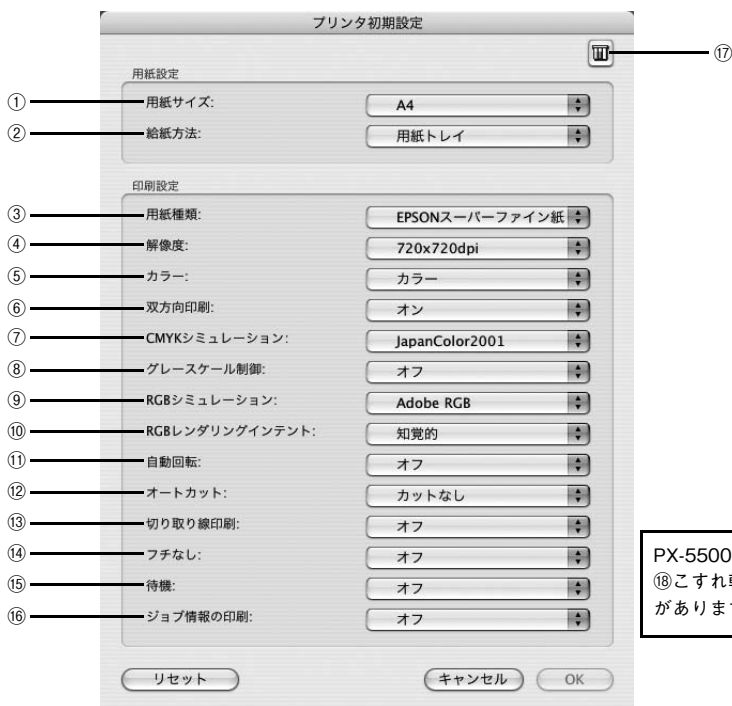
ここで指定したフォルダに入った印刷ジョブは、EPSON PS Folder の「プリンタ設定」での設定に従って印刷されます。

プリンタ初期設定

EPSON PS Server が印刷を行うときの初期条件を設定するには、EPSON PS Server の [EPSON PS Server] メニューから [プリンタ初期設定] を選択します。ここで設定した印刷条件は、アプリケーションソフトで作成した PDF、TIFF、JPEG、EPS ファイルを、EPSON PS Server から直接印刷する場合（アプリケーションソフトから印刷しない場合）に有効となります。なお、ここで設定できる機能は、プリンタの機種によって異なります。
📖 本書 139 ページ「ファイルの直接印刷」

参考

- アプリケーションソフトから印刷する場合は、印刷時のプリンタドライバの印刷設定が EPSON PS Server の印刷設定より優先されます。
- アプリケーションソフトからプリンタドライバを使って PS または EPS ファイルに出力して保存した場合は、出力時点でのプリンタドライバでの印刷設定が EPSON PS Server の印刷設定より優先されます。



① 用紙サイズ

印刷で使用する用紙のサイズを選択します。選択できる用紙サイズはプリンタの機種によって異なります。TIFF、JPEG ファイルの場合、用紙サイズを [ジョブのデフォルト] と設定した場合、画像のサイズが用紙のサイズとなります。それ以外の場合は用紙サイズに合わせて画像サイズが拡大・縮小されます。

② 給紙方法

用紙の給紙装置を選択します。選択できる給紙装置はプリンタの機種によって異なります。

③ 用紙種類

印刷で使用する用紙の種類を選択します。選択できる用紙種類はプリンタの機種やインクセット（マットブラック / フォトブラック）によって異なります。用紙種類と解像度の組み合わせには制限があり、以下のページを参照してください。

📖 本書 237 ページ「用紙種類 / 解像度と ICC プロファイルの一覧」

④ 解像度

印刷の解像度を選択します。選択できる解像度は選択する用紙種類によって異なります。用紙種類と解像度の組み合わせについては、以下のページを参照してください。

📖 本書 237 ページ「用紙種類 / 解像度と ICC プロファイルの一覧」

⑤ カラー

カラー印刷するかモノクロ印刷するかを設定します。

設定	説明
カラー（初期設定）	カラーで印刷します。
グレースケール	モノクロ（白黒）で印刷します。

⑥ 双方向印刷

プリントヘッドが左右どちらに移動するときも印刷するかどうかを設定します。ただし、双方向印刷を行うと印刷品質が多少低下する場合がありますので、より高品質な印刷を行いたい場合は「オフ」を選択してください。

設定	説明
オン（初期設定）	双方向印刷を行います。
オフ	双方向印刷を行いません。

⑦ CMYK シミュレーション

オフセット印刷機の CMYK インク色を再現して印刷する場合に、シミュレーションするプロファイルを選択できます。

設定	シミュレーションする CMYK 色
オフ	シミュレーションしません。
DIC	大日本インキ化学工業株式会社の DIC 標準色
SWOP	SWOP™ 出版印刷色
Euro	ヨーロッパの印刷色
TOYO	東洋インキ製造株式会社の東洋インキ標準色
JMPA	雑誌広告基準カラー（JMPA カラー）
JapanColor2001（初期設定）	Japan Color 色再現印刷 2001 に準拠
カスタム 1 ～ 10	EPSON PS Server に登録したカスタムプロファイルで定義した CMYK 印刷色

⑧ グレースケール制御

黒の調整方法を設定します。

設定	説明
オフ（初期設定）	CMYK4 色を混ぜて、黒の階調を表現します。
オン	CMYK4 色の内、K のみを使用して黒の階調を表現します。

⑨ RGB シミュレーション

RGB 色を再現して印刷する場合に、シミュレーションする RGB 色を選択できます。

設定	シミュレーションする RGB 色
オフ	シミュレーションしません。
Adobe RGB（初期設定）	Adobe 社が定義する RGB 色
Apple RGB	Apple 社が定義する RGB 色
カスタム 1 ～ 10	EPSON PS Server に登録したカスタムプロファイルで定義した RGB 色

⑩ RGB レンダリングインテント

出力装置が再現できる色には限界があり、特定の出力装置で色を再現する場合、指定した色の再現範囲を調整する必要があります。その再現範囲の調整方法の種類を選択します。

設定	説明
知覚的（初期設定）	視覚的に自然なイメージになるように変換します。画像データが広範囲な色域を使用している場合に使用します。
相対的な色域を維持	元データの色域座標と印刷時の色域座標が一致するように、さらに白色点（色温度）の座標値が一致するように変換します。多くのカラーマッチング時に使用されます。
彩度	彩度を保持して変換を行います。
絶対的な色域を維持	元データも印刷データも絶対的な色域座標に割り当てて変換します。元データと印刷データの白色点（色温度）は色調補正されません。ロゴカラーの印刷など、特殊な用途で使用します。

⑪ 自動回転（PX-6500 の場合のみ）

給紙装置で指定したロール紙の幅に応じて、用紙方向の自動回転を行うかを設定します。オンにする場合は、同時にロール紙の用紙幅を選択してください。

設定	説明
オフ（初期設定）	自動回転しません。
オン [17 in] オン [420 mm] オン [16 in] オン [400mm] オン [14 in] オン [13 in] オン [12 in] オン [300 mm] オン [10 in] オン [210mm] オン [8 in]	自動回転します。 ロール紙の用紙幅を選択します。

⑫ オートカット（PX-6500 の場合のみ）

オートカッターを使用して、印刷した用紙を自動的に切断する機能を設定します。

設定	説明
オフ（初期設定）	オートカットは使用しません。
オン	左右フチなし印刷時、オートカットを行います。
四辺フチなし 1 カット	四辺フチなし印刷時、オートカットを行います。 ページとページの間を 1 回のカットで切り離します。
四辺フチなし 2 カット	四辺フチなし印刷時、オートカットを行います。 ページとページの間をカットする場合、ページの終端をカットした後、用紙を送り出して次のページの上端をカットします。

⑬ 切り取り線印刷（PX-6500 の場合のみ）

切り取り線を印刷するかを設定します。

設定	説明
オフ（初期設定）	切り取り線を印刷しません。
オン	切り取り線を印刷します。

⑭ フチなし

フチなし印刷を行うかどうかを設定します。

☞ 本書 135 ページ「フチなし印刷を行うには」

設定	説明
オフ（初期設定）	フチなし印刷を行いません。
カスタム設定（原寸維持）	原寸を維持した状態で、フチなし印刷を行います。この設定でフチなしを行うためには、予めカスタム用紙でフチなしにする用紙サイズ+上下左右 3mm の大きさの用紙を定義する必要があります。
自動拡大（標準）	フチなし用紙を選択して印刷することでイメージを自動的に拡大してフチなし印刷を実現します。はみ出し量は、左右上下 3mm になります。
自動拡大（多い）	フチなし用紙を選択して印刷することでイメージを自動的に拡大してフチなし印刷を実現します。はみ出し量は、左上下 3mm、右 5mm になります。
自動拡大（少ない）	フチなし用紙を選択して印刷することでイメージを自動的に拡大してフチなし印刷を実現します。はみ出し量は、左右上下 1.5mm になります。

⑮ 待機

印刷せずに印刷ジョブを待機させるかを設定します。ただし、AppleTalk 接続の場合、本項目をオンにしても、機能しません。

設定	説明
オフ（初期設定）	印刷ジョブを待機しません（印刷します）。
オン	印刷ジョブを待機します（印刷しません）。

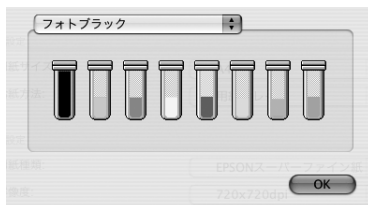
⑯ ジョブ情報の印刷

ジョブ情報を印刷するかを設定します。

設定	説明
オフ（初期設定）	ジョブ情報を印刷しません。
上端に印刷	ジョブ情報を用紙の上端に印刷します。
下端に印刷	ジョブ情報を用紙の下端に印刷します。
左端に印刷	ジョブ情報を用紙の左端に印刷します。
右端に印刷	ジョブ情報を用紙の右端に印刷します。

⑰ インク情報アイコン

クリックすると、インク残量を示すダイアログが表示されます。なお、表示されるインクは機種によって異なります。



インク残量を確認したら、[OK] をクリックしてダイアログを閉じます。

⑱ こすれ軽減（PX-5500 のみ）

印刷こすれを軽減します。印刷こすれが発生したときのみオンにします。オンにすると、印刷速度が遅くなる場合があります。

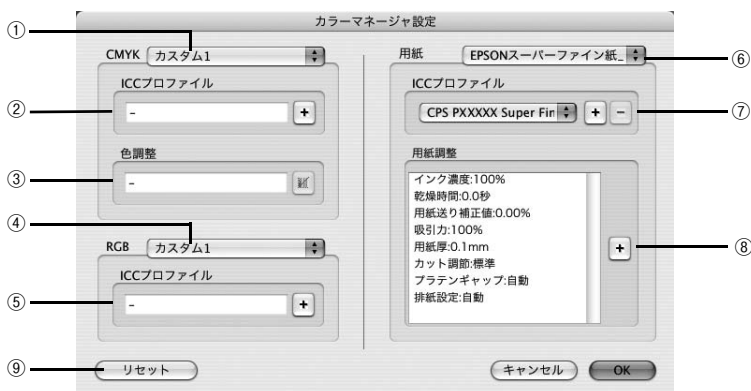
設定	説明
オフ（初期設定）	こすれ軽減の機能を有効にします。
オン	こすれ軽減の機能を有効にします。

カラーマネージャ設定

EPSON PS Server の [カラーマネージャ設定] ダイアログでは、以下の操作が行えます。

- 印刷モード（用紙種類、解像度）ごとに適用するカラープロファイルの設定を変更する。
- CMYK 入力カラープロファイルのトーンカーブを微調整する。
- EPSON 純正専用紙以外の用紙についての用紙設定を行う。

EPSON PS Server のカラーマネージャ機能を設定するには、EPSON PS Server の [EPSON PS Server] メニューから [カラーマネージャ設定] を選択します。



① CMYK

CMYK シミュレーションのプロファイル名をメニューから選択します。

② プロファイル名

①のメニューで選択しているプロファイル名に対応する実際の CMYK シミュレーションプロファイルを表示します。本製品であらかじめ用意している標準プロファイルに対応するお客様独自のプロファイルを選択する場合や、①で [カスタム] を選択した場合は、ここで [+] をクリックして任意のカスタムプロファイルを選択してください。

参考

- ここで選択されているプロファイルが、プリンタドライバの [印刷設定] ダイアログで選択する CMYK シミュレーションプロファイルとして使用されます。
- 本製品に標準添付のプロファイルを使用する場合は、特に操作する必要はありません。
- カスタムプロファイルの作成方法については、お使いになるプロファイル作成ツールの取扱説明書をお読みください。

③ 色調整

①のメニューで選択している CMYK シミュレーションプロファイルに対して、さらに色の調整をする場合はトーンカーブアイコンをクリックして [トーンカーブ] ダイアログを開きます。標準およびカスタムどちらのプロファイルに対しても、微調整することができます。トーンカーブで調整を行うと、[調整済み] と表示されます。

📖 本書 152 ページ「[トーンカーブ] ダイアログ」

参考

トーンカーブの設定は、プロファイルの色定義そのものを変更します。色定義を元に戻す場合は、[トーンカーブ] ダイアログで [リセット] クリックしてから、[保存] をクリックしてください。

④ RGB

RGB シミュレーションのプロファイル名をメニューから選択します。

⑤ プロファイル名

④のメニューで選択しているプロファイル名に対応する実際のRGBシミュレーションプロファイルを表示します。本製品であらかじめ用意している標準プロファイルに対応するお客様独自のプロファイルを選択する場合や、④で [カスタム] を選択した場合は、ここで [+] をクリックして任意のカスタムプロファイルを選択してください。

参考

- ここで選択されているプロファイルが、プリンタドライバの [印刷設定] ダイアログで選択する RGB シミュレーションプロファイルとして使用されます。
- 本製品に標準添付のプロファイルを使用する場合は、特に操作する必要はありません。
- カスタムプロファイルの作成方法については、お使いになるプロファイル作成ツールの取扱説明書をお読みください。

⑥ 用紙

印刷で使用する用紙種類と解像度の組み合わせを選択します。

⑦ プロファイル名

⑥のメニューで選択している用紙名に対応する実際の用紙プロファイルを表示します。各用紙（メディア）に対応するお客様独自のプロファイルを選択する場合は、ここで [+] をクリックして任意のカスタムプロファイルを選択してください。選択したカスタムプロファイルは所定のフォルダに追加コピーされます（プロファイルは 5 つまで追加可能）。また、追加コピーした任意のカスタムプロファイルを削除する場合は、[-] をクリックして削除してください。

⑧ 用紙調整

各用紙に設定されている用紙の情報を表示します。[+] をクリックすると [用紙調整] ダイアログが開きますので、必要に応じて用紙関連の設定を行ってください。

📖 本書 153 ページ「[用紙調整] ダイアログ」

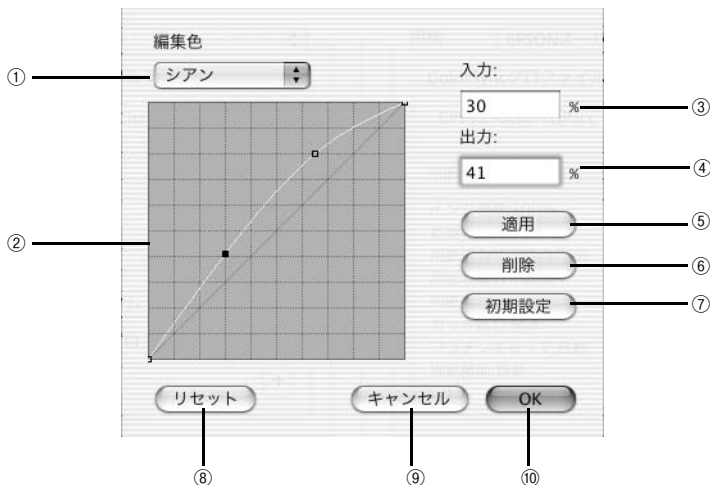
⑨ リセット

[カラーマネージャ設定] ダイアログで変更した設定を初期設定に戻します。

〔トーンカーブ〕 ダイアログ

〔カラーマネージャ設定〕 ダイアログの〔色調整〕にあるトーンカーブアイコンをクリックすると、〔トーンカーブ〕ダイアログが開きます。選択している CMYK プロファイルで定義している色濃度に対して、さらに濃度調整を行えます。

📖 本書 151 ページ「③ 色調整」



① 編集色

調整する色を [シアン]、[マゼンタ]、[イエロー]、[ブラック] のの中から選択します。

② トーンカーブ

CMYK プロファイルが定義している色濃度（入力値）が実際にどの色濃度（出力値）で印刷されるかの相関関係を、最初は 45 度の直線を表示します（CMYK プロファイルで定義しているトーンカーブをそのまま再現しません）。任意の色濃度位置（入力値）をドラッグして、出力値を調整できます。また、〔入力〕と〔出力〕で指定した値をグラフィカルに表示することもできます。

③ 入力

調整対象となる色濃度（入力値）をパーセントで直接指定できます。

④ 出力

〔入力〕で指定した色濃度に対して、実際にどの色濃度で出力するかをパーセントで直接指定できます。

⑤ 適用

〔入力〕と〔出力〕で指定した値を、トーンカーブに反映させるときにクリックします。

⑥ 削除

トーンカーブでクリックして選択した入出力点を削除します。

⑦ 初期設定

〔編集色〕で選択した色のトーンカーブを 45 度の直線に戻します（プロファイル本来の定義に戻します）。

⑧ リセット

すべての設定をリセットし、トーンカーブを 45 度の直線に戻します（プロファイル本来の定義に戻します）。

⑨ キャンセル

変更した設定値をキャンセルします。

⑩ OK

調整したトーンカーブを記憶して、ダイアログを閉じます。トーンカーブが調整された場合は、〔カラーマネージャ設定〕ダイアログの〔色設定〕に〔調整済み〕と表示します。



トーンカーブの設定は、プロファイルの色定義そのものを変更します。色定義を元に戻す場合は、〔トーンカーブ〕ダイアログで〔リセット〕をクリックしてから、〔OK〕をクリックしてください。

〔用紙調整〕ダイアログ

〔カラーマネージャ設定〕ダイアログの〔用紙調整〕にある〔+〕をクリックすると、〔用紙調整〕ダイアログが開きます。なお、設定項目は機種によって異なります。

📖 本書 151 ページ「⑧ 用紙調整」



① インク濃度

インク濃度（濃淡）を標準値からの割合で調整できます。インク濃度は、スライドバーを左（より薄い -50%）または右（より濃い +50%）へ動かすか、ボックスに直接数値を入力して設定します（初期設定：0%）。

② ヘッドパス毎の乾燥時間

プリンタヘッド 1 パス毎の乾燥時間（0.1 秒単位）を設定します。時間（0 ～ 50）は、スライドバーを動かすか、ボックスに直接数値を入力して設定します（初期設定：0）。

③ 用紙送り補正值（PX-6500 のみ）

紙送りを調整します。補正值は、スライドバーを左（下方向 -70）または右（上方向 +70）へ動かすか、ボックスに直接数値を入力して設定します（初期設定：0）。

④ 吸引力（PX-6500 のみ）

用紙の吸着力をスライドバーを動かして [標準]（初期設定：100%）、[-1]（50%）、[-2]（30%）、[-3]（10%）、[-4]（6%）に設定します。

⑤ 用紙厚（PX-6500 のみ）

用紙の厚み（0.1mm 単位）を、ボックスに直接数値（1 ～ 15）入力して設定します（初期設定：1）。

⑥ カット調節（PX-6500 のみ）

紙厚に応じたカット圧力と速度を調整します。メニューから [標準]（初期設定：カット圧標準+高速）、[薄紙]（カット圧小+低速）、[厚紙、高速]（カット圧大+高速）、[厚紙、低速]（カット圧大+低速）を選択して設定します。

⑦ プラテンギャップ（PX-6500 のみ）

プラテンのギャップ（間隔）を調整します。通常は [自動]（初期設定）を推奨します。EPSON 純正専用紙以外の市販の用紙によってはプリンタヘッドに紙が当たる場合がありますので、プラテンギャップを広く取る必要があります。最初は [広め] に設定してテストし、徐々にプラテンギャップを狭めて、用紙に合った最適なプラテンギャップを設定をしてください。

⑧ 排紙設定（PX-6500 のみ）

単票用紙を完全に排紙するために必要な排紙ローラの種類を選択します。EPSON 純正専用紙以外の市販の用紙に合った設定を行ってください。

設定	説明
自動（初期設定）	通常はこの設定で使用してください。
単票紙	単票紙印刷時に使用してください。排紙ローラが下がり、プラテンの回転リブが上がった状態になります。
ロール紙（カール強）	巻きぐせの強いロールに使用します。排紙ローラが下がり、プラテン回転リブが下がった状態になります。
ロール紙	排紙ローラが上り、プラテン回転リブが下がった状態になります。

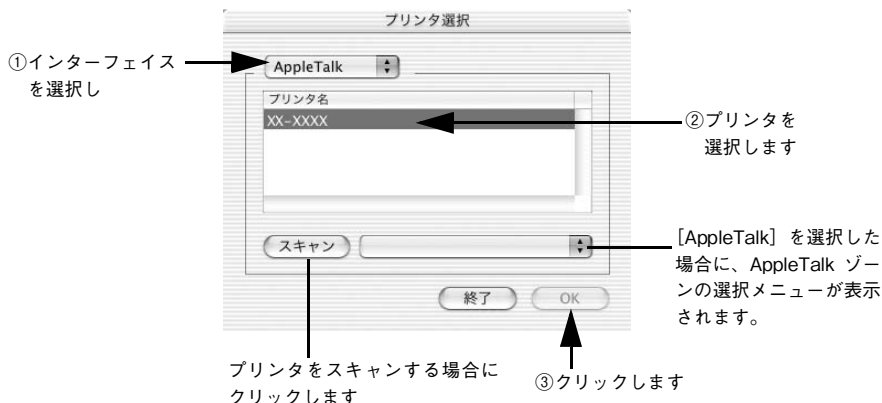
プリンタの再選択

プリンタを接続するインターフェイスを変更した場合は、プリンタを再選択する必要があります。[EPSON PS Server] メニューから「プリンタ再選択」を選択してください。以下のダイアログが表示されますので、[OK] をクリックし EPSON PS Server をいったん終了させます。



クリックします

次回 EPSON PS Server を起動すると、接続先を選択するダイアログが表示されます。使用するインターフェイス（ポート）を選択してから、同じプリンタを選択してください。



参考

- USBポートまたはFireWireポートにプリンタを接続している場合、[USB] または [FireWire] を選択しているにもかかわらずリストに機種名が表示されない場合は、プリンタの電源がオフになっている可能性があります。プリンタの電源と接続を確認してください。
- AppleTalk ゾーンを設定している場合は、プリンタが接続されているゾーンを選択してからプリンタ名を選択してください。
- Ethernet ネットワークにプリンタを接続している場合で、使用するプリンタの名前が表示されない場合は、[スキャン] をクリックしてください。
- プリンタの再選択時に別のプリンタを選択すると、元のプリンタ（プリントサーバ）にインストールした市販のプリンタフォントは使用できません。

メッセージのクリア

メインウィンドウのメッセージをクリアしたい場合は、[編集] メニューから [メッセージをクリア] を選択してください。

メインウィンドウに表示されるプリンタのエラーやワーニングメッセージは、エラーなどが解除されても EPSON PS Server が終了するまでクリアされません。必要に応じて [メッセージのクリア] を実行してください。

📖 本書 156 ページ「メインウィンドウの表示 / 非表示」

メインウィンドウの表示 / 非表示

EPSON PS Server が起動すると、印刷状況を表示するメインウィンドウが開きます。また、エラーが発生した場合などは、ウィンドウを広げてエラー状況を確認することができます。

[ウィンドウ] メニューの [ウィンドウを表示] を選択すると、印刷の進行を表すウィンドウが開きます（工場出荷時には、EPSON PS Server 起動時に自動的に開くように初期設定されています）。ウィンドウを表示させる必要のないときは、[ウィンドウを非表示] を選択して閉じておくこともできます。

印刷中のメインウィンドウ



エラー状況の表示



① ステータス

現在進行中のジョブの名称と印刷状況を表示します。

② キャンセル

印刷中のジョブを削除（印刷をキャンセル）するときにクリックします。

③ プログレスバー（印刷実行時に前ページの図の位置に表示されます。）

印刷の進行状況の度合いを表示します。

④ メッセージ表示

EPSON PS Server やプリンタのエラーやワーニングメッセージを確認するには、この [メッセージ表示] をクリックしてウィンドウを広げます。メッセージに表示されるプリンタのエラーやワーニングメッセージは、エラーなどが解除されても EPSON PS Server が終了するまでクリアされません。メッセージの内容を消すには、[編集] メニューにある [メッセージをクリア] を選択します。

📖 本書 156 ページ「メッセージのクリア」

[ヘルプ] メニューについて

メニューバーの [ヘルプ] - [EPSON PS Server ヘルプ] をクリックすると「ユーザーズガイド」の PDF を表示します。

EPSON PS Manager について

EPSON PS Manager の概要

EPSON PS Manager は EPSON PS Server に接続して、印刷ジョブを管理するためのユーティリティソフトです。
EPSON PS Manager にはアプリケーション版と Web 版の 2 種類があります。接続する EPSON PS Server の OS 環境によって使い分けてください。

EPSON PS Server の OS (プリントサーバまたはスタンドアロン接続)	EPSON PS Manager の種類
Windows2000/XP	アプリケーション版 EPSON PS Manager 通常のアプリケーションとして、インストールしたコンピュータ上で動作します。
Mac OS X	Web 版 EPSON PS Manager Web アプリケーションとして、Web ブラウザ上で動作します。 <使用可能ブラウザ>(最新バージョンのご利用をお勧めします) Windows : IE4.0 以降 Mac OS X : Safari1.0 以降 Mac 9 : IE4.0 以降

インストール

EPSON PS Manager は、通常の場合、他のソフトウェアと一緒にインストールされます。アンインストール後の再インストール時などは、インストールするソフトウェアを選択する画面で EPSON PS Manager だけを選択してインストールすることもできます。

- 1

本製品をインストールするシステムから Mac OS を起動します。
必ず管理者権限を持つユーザーで起動してください。

- 2

CD-ROM をセットします。

- 3

CD-ROM のアイコンをダブルクリックします。



ダブルクリックします



CD-ROM のウィンドウが開きますので、[はじめにお読みください] アイコンをダブルクリックして、必ずお読みください。

- 4 [OS X インストーラ]アイコンをダブルクリックします。

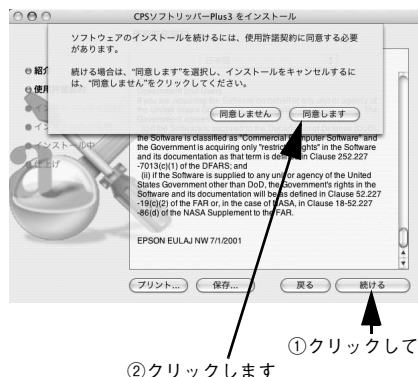


- 5 インストーラを起動します。
[インストーラ _XX - xxxx*]アイコンをダブルクリックします。

* プリンタの機種名が表示されます。お使いのプリンタ専用のインストーラアイコンをダブルクリックしてください。



- 6 使用許諾の画面で [続ける] をクリックして [同意します] をクリックします。



- 7 インストール先のディスクを選択し、[続ける] をクリックします。



本製品は、起動ボリュームにのみインストールできます。インストールできない（起動ボリュームでない）ディスクには「！」が付いています。

8 [カスタマイズ] をクリックします。



クリックします

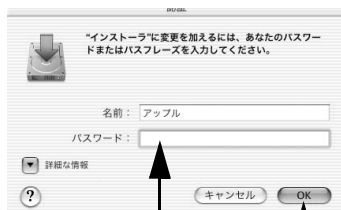
9 [EPsoftRIP_Psmanager] のみにチェックを付けて [インストール] をクリックします。



①チェックして

②クリックします

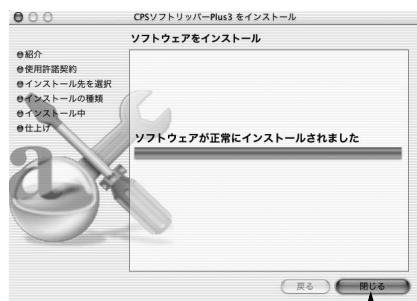
10 次の画面が表示されたら Mac OS X にログインしているユーザーのパスワードを入力し、[OK] をクリックします。



①入力して

②クリックします

11 「閉じる」をクリックします。



クリックします

起動

EPSON PS Manager の起動手順は次の通りです。

1 EPSON PS Manager を起動する前に、次のようにします。

- EPSON PS Server で印刷するプリンタが使用可能な状態になっていること（正しく接続され、電源がオンになっていること）を確認します。
- EPSON PS Server を起動します。

2 次の手順で EPSON PS Manager を起動します。

- Windows2000/XP
Windows 上で [スタート] をクリックし、表示されるメニューから [すべてのプログラム] - [EPSON] - [CPS ソフトリッパーPlus3] - [EPSON PS Manager] の順に選択、クリックします。
- Mac OS X、Mac OS 9
EPSON PS Server をインストールした起動ディスク内の [アプリケーション] フォルダにある [EPSON PS Manager] アイコンをダブルクリックします。

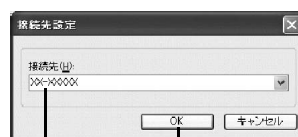
3 ポップアップメニューにサーバの一覧が表示されるので、接続したいサーバ（EPSON PS Server）を選択します。

接続したいサーバが表示されない場合は、サーバのホスト名または IP アドレスを入力します。



①選択して

②クリックします



①選択して

②クリックします

4 パスワード入力画面が表示されます。

- 初期状態では、パスワードは設定されていませんので、そのまま [OK] をクリックします。
- Web 版 EPSON PS Manager では、パスワード設定されていないときにはそのままブラウザが開きます。

参考

パスワードを設定する場合、プリントサーバの EPSON PS Server で、[編集] メニュー - [初期設定] (Windows) / [環境設定] (Mac OS X) - [クライアントパスワードの設定] (Windows) / [クライアントパスワード] (Mac OS X) で設定します。

☞ Windows：本書 62 ページ「初期設定」

☞ Mac OS X：本書 140 ページ「環境設定」

5 EPSON PS Manager が起動し、次の画面が表示されます。

画面中央には、EPSON PS Server に送られた印刷ジョブの一覧が表示されています。画面のメニューやボタンをクリックして、印刷ジョブや印刷の設定を行います。

【アプリケーション版 EPSON PS Manager】



【Web 版 EPSON PS Manager】



終了方法

EPSON PS Server の OS (プリントサーバまたはスタンドアロン接続)	EPSON PS Manager の種類
アプリケーション版 EPSON PS Manager での操作	メニューバーの [ファイル] - [終了] をクリックします。
Web 版 EPSON PS Manager での操作	Web ブラウザを終了します。

EPSON PS Manager の操作

アプリケーション版 EPSON PS Manager と Web 版 EPSON PS Manager は基本的な操作方法や機能は同じです。



【ジョブ一覧表示画面】

PS Manager には EPSON PS Server にスプールされた印刷ジョブの一覧が表示されます。

列名	表示内容
ジョブ名	印刷状態を示すアイコンと、ジョブのファイル名を表示します。
状態	ジョブの状態を表示します。表示する状態は以下のとおりです。「印刷中」と「プレビュー準備中」は進行状況をパーセント（％）で表示します。 • 待機 • スプール中 • 印刷待ち • 印刷中 • プレビュー待ち • プレビュー準備中 • フォーマット異常 • PS エラー • 用紙切れ
ユーザ名	ジョブのファイルを印刷したユーザ名を表示します。
スプール時刻	ジョブのファイルを印刷した時刻を、「時：分：秒」で表示します。
サイズ	ジョブのファイルサイズを表示します。
フォーマット	ジョブのファイル形式を表示します。表示する形式は以下のとおりです。これら以外の形式は「不明」と表示されます。 • PostScript • PDF • EPS • TIFF • JPEG



- PS エラーとなったジョブに対しては「PS エラー」と表示されますが、プリンタエラーとなったジョブは、印刷済みと同様に「待機」と表示されます。
- アプリケーション版 EPSON PS Manager の場合、印刷済みジョブは「待機」と表示されます。印刷時に、[待機] を [オン] に設定した印刷ジョブは、印刷が完了していない状態でも「待機」と表示されますの。ジョブ名や日時でご判断ください。

【基本操作ボタン】

ボタン	名前	機能
	中止	選択したジョブの印刷またはプレビューを中止して、待機状態にします。
	削除	選択したジョブを削除します。
	印刷	選択した待機状態のジョブの印刷を再開します。
	プレビュー準備	選択したジョブに対して、プレビュー用リッピングを開始します。選択したジョブがプレビュー用リッピングを完了している場合に有効になります。
	プレビュー表示	〔プレビュー〕画面を表示し、選択したジョブのプレビューを表示します。選択したジョブがプレビュー用リッピングを完了していない場合に有効になります。
	印刷設定	〔印刷設定〕画面を表示します。選択したジョブの印刷設定をします。
	優先度を上げる	優先度を変更してもジョブ一覧上での表示位置は変わりません。
	優先度を下げる	優先度を変更してもジョブ一覧上での表示位置は変わりません。
	最新の情報に更新	ジョブの一覧を更新します。

【その他の機能】

① サーバ設定

接続している EPSON PS Server とプリンタの情報を表示する機能です。

アプリケーション版 EPSON PS Manager での操作	メニューバーの〔設定〕－〔サーバ設定〕をクリックし、〔全般〕タブをクリックします。
Web 版 EPSON PS Manager での操作	〔サーバ設定〕をクリックします。

② プリンタ初期設定

接続している EPSON PS Server の〔プリンタ初期設定〕の内容を表示します。
設定したい項目をクリックすると、ポップアップメニューが表示され設定値を変更することもできます。
プリンタによって設定項目が異なります。各設定項目については次のページを参照してください。

📖 本書 145 ページ「プリンタ初期設定」

アプリケーション版 EPSON PS Manager での操作	メニューバーの〔設定〕－〔サーバ設定〕をクリックし、〔デフォルト〕タブをクリックします。
Web 版 EPSON PS Manager での操作	〔プリンタ初期設定〕をクリックします。

③ メッセージを表示 (Web 版 EPSON PS Manager のみ)

EPSON PS Server やプリンタのエラーやワーニングメッセージを確認できます。

Web 版 EPSON PS Manager での操作	[メッセージを表示] をクリックします。
-----------------------------	----------------------

④ イメージ (サムネイル) 表示 (Web 版 EPSON PS Manager のみ)

ジョブ一覧の [イメージ] に印刷ジョブにサムネイル画像を表示させます。

[イメージ] にサムネイルを表示すると、どのような印刷ジョブが分かりやすくなりますが、多量のサムネイル表示を行うと、Web ブラウザ表示に時間がかかることがあります。

また、長尺印刷など、用紙サイズの大きなデータはサムネイル表示できない場合があります。

Web 版 EPSON PS Manager での操作	ジョブ一覧の [イメージ] 欄  をクリックします。
-----------------------------	---

⑤ EPSON PS Folder のダウンロード (Web 版 EPSON PS Manager を MacOSX から起動時のみ)

ドラック&ドロップ印刷を行うための「PS Holder」をダウンロードできます。

EPSON PS Folder の詳細については以下のページを参照してください。

 本書 167 ページ「ホットフォルダについて」

Web 版 EPSON PS Manager での操作	[ダウンロード] をクリックします。
-----------------------------	--------------------

Windows から Web 版 EPSON PS Manager を起動した場合には [ダウンロード] は表示されません。

Windows 環境からドラック&ドロップ印刷を行うには、EPSON PS Utility を使用してください。

！注意

Web 版 EPSON PS Manager について

- Web 版 EPSON PS Manager を使用するには、次のブラウザが標準のブラウザに設定されている必要があります。
使用可能ブラウザ (※最新バージョンのご利用をお勧めします)
Windows : IE4.0 以降
Mac OS X : Safari1.0 以降
Mac 9 : IE4.0 以降
- Web 版 EPSON PS Manager は、起動時に Web ブラウザを呼び出します。起動時にキャンセル操作を行うと、この Web ブラウザの実行は中止されますが、EPSON PS Manager 自体は起動してしまいます。この場合には、Dock などで起動している EPSON PS Manager を手で終了する必要があります。
- Web 版 EPSON PS Manager のジョブ一覧画面では、表示順序をソートしたり、自動更新の時間を設定したりすることができますが、これらの設定条件は保存されません。Web ブラウザの表示を更新したり、EPSON PS Manager を再起動すると初期設定に戻ります。

ホットフォルダについて

ホットフォルダの概要

本製品ではEPSON PS Server/EPSON PS Manager からホットフォルダを作成することができます。作成したホットフォルダを使用してファイルのドラッグ&ドロップ印刷が可能です。

作成したホットフォルダは次の特徴を持っています。

- 印刷するファイルをアイコン上にドラッグ&ドロップすることで印刷可能
- フォルダごとに印刷設定を指定可能
- 1 台のコンピュータに最大 16 個のホットフォルダが作成可能
- 以下のファイル形式に対応

PS、PDF (Ver.1.5)、TIF*1、JPEG*2、EPS

*1 ベースラインに準拠。LZW 圧縮・JPEG 圧縮をサポート。

ZIP 圧縮は非対応。16bit TIFF 非対応。YcbC、マルチページ、 α チャネルには非対応。

*2 ベースラインに準拠。1 ピクセル = 1 ポイントで描画。プログレッシブ形式の圧縮等は非対応。

- ホットフォルダはハードディスクドライブ上の任意のパス（ローカルドライブ）に作成可能

！注意

MacOS9 は、本機能には対応していません。



参考

Windows 環境で同様の機能を使用する場合には参照してください。

📖 本書 86 ページ「EPSON PS Utility について」

ホットフォルダの作成方法

ホットフォルダは次の 2 種類の方法で作成することができます。

EPSON PS Server から作成する方法

- 1 EPSON PS Server を起動します。
起動方法は以下のページを参照してください。
📖 本書 110 ページ「EPSON PS Server の起動」
- 2 [EPSON PS Server] — [環境設定] を選択し、[フォルダ] タブを表示します。

3 [追加] をクリックします。



クリックします

4 次の画面が表示されますので、作成するホットフォルダ名 / 作成場所を指定し [OK] をクリックします。



- ①フォルダ名
を入力して
- ②場所を指定
して
- ③クリック
します

！注意

- ローカルディスクのみ指定できます。ネットワークフォルダは使用できません。
- フォルダ名は自動的に「プリンタ名_作成日時（時、分、秒）」で表示されます。必要に応じてわかりやすいフォルダ名に変更してください。

- 5 再度 [フォルダ] タブが表示されますので、作成したフォルダが追加されたことを確認し [OK] をクリックします。



① 確認して

② クリックします

ホットフォルダは ④ で指定した場所とフォルダ名で作成されます。



EPSON PS Manager から作成する方法 (Web 版 EPSON PS Manager を OSX から起動時のみ)

！注意

Windows 環境の EPSON PS Server に接続する場合、EPSON PS Manager からダウンロードしてホットフォルダを作成することができません。この場合、EPSON PS Utility で作成したホットフォルダを使用してください。

1 EPSON PS Server を起動します。

起動方法は以下のページを参照してください。

🔗 Windows：本書 38 ページ「EPSON PS Server の起動」

🔗 MacOSX：本書 110 ページ「EPSON PS Server の起動」

2 クライアントで EPSON PS Manager を起動します。

起動方法は以下のページを参照してください。

🔗 本書 161 ページ「起動」

3 [ダウンロード] をクリックします。



4 [EPSON PS Folder をダウンロード] をクリックします。

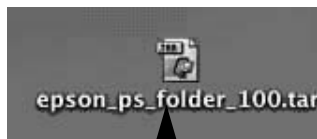


5 ダウンロードした圧縮ファイルをダブルクリックして解凍します。

ダウンロードされた EPSON PS Folder は、「tar」形式の圧縮ファイルです。通常の場合、[Epson_ps_folder_100.tar] という圧縮ファイルがデスクトップに作成されますので、作成された圧縮ファイルをダブルクリックして解凍してください。

デスクトップに [EPSON_PS_Folder] というホットフォルダが作成されます。必要に応じて [EPSON_PS_Folder] のプロパティを設定してください。詳細は以下のページを参照してください。

📖 本書 172 ページ「[ホットフォルダプロパティ] 画面について」



ダブルクリック
します



[ホットフォルダプロパティ] 画面について

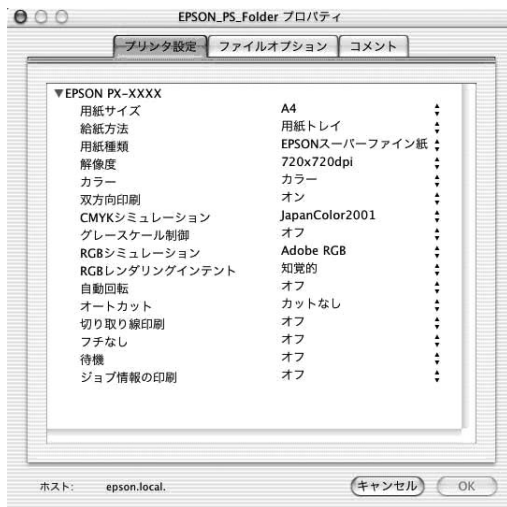
[ホットフォルダプロパティ] 画面は、ホットフォルダのアイコンをダブルクリックすると表示できます。

[プリンタ設定] タブ

ドラッグ&ドロップされたファイルを印刷する際に、自動的に適用される詳細設定をあらかじめ設定することができます。

！ 注意

PostScript ファイルをホットフォルダにドラッグ & ドロップして印刷する場合、PostScript ファイルに含まれる印刷設定より、ホットフォルダプロパティの印刷設定が優先されます。

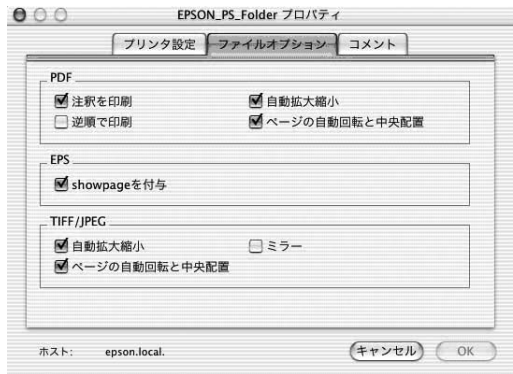


変更したい項目をクリックすると選択肢が表示され各項目の設定を変更することができます。設定内容は機種によって異なります。詳細は以下のページを参照してください。

📖 本書 145 ページ「プリンタ初期設定」

[ファイルオプション] タブ

ファイル形式ごとに、印刷に関する設定を変更できます。



■ PDF

項目	説明	初期設定
注釈を印刷	PDF ファイルの中に含まれるコメントを印刷します。	チェック ON
逆順で印刷	複数ページのジョブを逆順で印刷します。	チェック OFF
自動拡大縮小	指定した用紙サイズに拡大・縮小して印刷します。[プリンタ設定] タブの用紙サイズ項目で用紙サイズを指定してください。用紙サイズが [ジョブのデフォルト] の場合、本機能は動作しません	チェック ON
ページの自動回転と中央配置	選択した用紙サイズの中央に自動回転してジョブを配置します。[プリンタ設定] タブの用紙サイズ項目で用紙サイズを指定してください。用紙サイズが [ジョブのデフォルト] の場合、本機能は動作しません。	チェック ON

■ EPS

項目	説明	初期設定
Showpage を付与	[showpage] 命令を EPS ファイルに付与します。EPS ファイルによっては [showpage] 命令が必要になる場合があるため、EPS ファイルの印刷ができない場合、本項目にチェックを付けてください。[showpage] 命令がすでにファイル内にある場合に、この設定を有効にすると、白紙ページが 1 枚印刷されます。	チェック OFF

■ TIFF/JPEG

項目	説明	初期設定
自動拡大縮小	指定した用紙サイズに拡大・縮小して印刷します。[プリンタ設定] タブの用紙サイズ項目にて、用紙サイズを指定してください。用紙サイズが [ジョブのデフォルト] の場合、本機能は動作しません。	チェック ON
ページの自動回転と中央配置	選択した用紙サイズの中央に自動回転してジョブを配置します。[プリンタ設定] タブの用紙サイズ項目で用紙サイズを指定してください。用紙サイズが [ジョブのデフォルト] の場合、本機能は動作しません。	チェック ON
ミラー	鏡像印刷（鏡に映したように左右を反転します）を行います。	チェック OFF

【コメント】 タブ

EPSON PS Folder のリストで [コメント] の欄に表示する内容を入力します。複数のホットフォルダを作成し、各フォルダを区別するための説明を入れる場合等に使用します。



！ 注意

入力できる文字数は最大で半角 255 文字までです。

ホットフォルダの削除方法

ホットフォルダの削除方法は作成方法によって異なります。

EPSON PS Server からホットフォルダを作成した場合

[EPSON PS Server] — [環境設定] を選択し、[フォルダ] タブを表示させ、削除したいフォルダを選択して [削除] をクリックします。

EPSON PS Manager でダウンロードして作成した場合

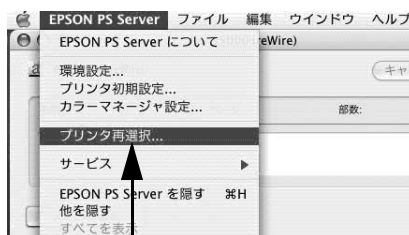
作成したホットフォルダをゴミ箱に移動します。

インク情報の更新方法

フォトブラックとマットブラックなど、異なる種類のブラックインクの交換を行った場合には、インク情報の更新を行う必要があります。下記の手順に従って更新作業を行ってください。なお、ブラックインク種類変更の手順については、プリンタの取扱説明書を参照してください。

サーバでの更新作業

- 1 EPSON PS Server を起動します。
- 2 [EPSON PS Server] メニューの [プリンタ再選択] を選択します。



選択して

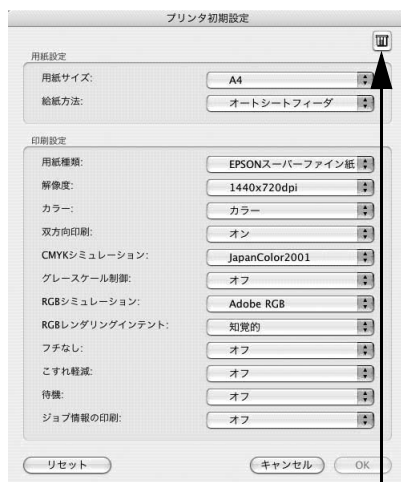
- 3 以下の画面で [OK] をクリックして、一旦 EPSON PS Server を終了します。



クリックします

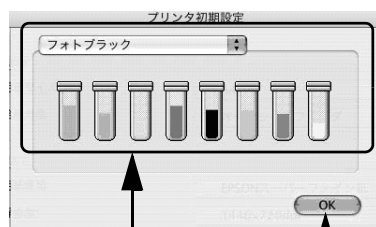
- 4 再度 EPSON PS Server を起動します。
プリンタの再接続画面が表示されますので、先ほどまで接続していたプリンタを選択します。
- 5 [EPSON PS Server] メニューの [プリンタ初期設定] を選択します。

- 6 画面右上のインクカートリッジアイコンをクリックします。



クリックします

- 7 表示されたインクがプリンタにセットされているインクと同じことを確認して [OK] をクリックします。



①確認して

②クリックします

以上でサーバでの更新作業は終了です。

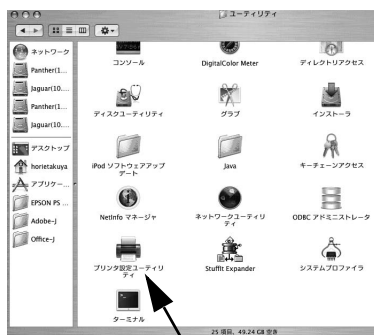
クライアントでの更新作業

- 1 [アプリケーション] フォルダにある [ユーティリティ] フォルダをクリックします。



クリックします

- 2 [プリンタ設定ユーティリティ/プリントセンター] をダブルクリックします。



ダブルクリックします

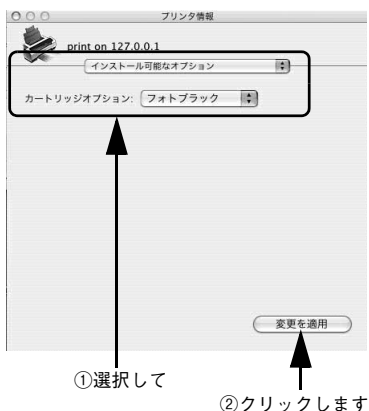
- 3 表示されたプリンタリストの中でインク情報を変更するプリンタを選択して、右上の「情報を見る」メニューをクリックします。



右の画面が表示されます。



- 4 「インストール可能なオプション」を選択し、「カートリッジオプション」でプリンタにセットされているインクを選択します。



以上でクライアントでの更新作業は終了です。



Mac OS 9 クライアントでの使用方法

ここでは、本製品を Mac OS 9 クライアントで使用方法について説明します。

● 印刷を始める前に	180
● プリンタの選択	183
● 印刷の手順	190
● プリンタドライバの設定項目について	192
● ファイルへの出力	211
● カラーシミュレーション機能について	213
● フチなし印刷を行うには	217
● EPSON PS Manager について	221
● インク情報の更新方法	227

印刷を始める前に

Mac OS 9 から印刷する場合、一度 EPSON PS Server（プリンタ）を選択して使用するプリンタの機種を設定する必要があります。

使用可能なネットワークプロトコルについて

EPSON PS Server が稼動する OS と印刷を行う OS の組み合わせにより、使用できるプロトコル（コンピュータ間でデータをやりとりする手順・規約）が異なります。

下表から OS と使用可能なプロトコルの組み合わせと、それぞれのプロトコルに応じた前提条件〔A〕～〔F〕を確認してください。

プリントサーバ接続

		プリントサーバの OS (EPSON PS Server 稼動コンピュータ)	
		Mac OS X	Windows 2000/XP
クライアントの OS	Mac OS 9	AppleTalk [A] TCP/IP (LPR)	TCP/IP (LPR) [B]
	Mac OS X	AppleTalk [C] Rendezvous TCP/IP (LPR)	TCP/IP (LPR) [D]
	Windows 2000/XP	TCP/IP (LPR) [E]	SMB [F] TCP/IP (LPR)

以下の「XXX → YYY」という記載について、「XXX」がクライアントの OS を示し、「YYY」はプリントサーバの OS を示します。

〔A〕 Mac OS 9 → Mac OS X

Mac OS 9 ではクライアントとして印刷できますが、本製品のプリントサーバとしては使用できません。

TCP/IP (LPR) を使用する場合、〔セレクトA〕でプリンタ名は表示されません。〔セレクトA〕では〔Adobe PS〕を選択してください。

〔B〕 Mac OS 9 → Windows2000/XP

Mac OS 9 の〔セレクトA〕からは本製品を利用したプリンタ名が表示されません。デスクトップ・プリンタを作成します。

🔗 本書 183 ページ「プリンタの選択」

また、Windows2000/XP をプリントサーバとした場合、プリンタフォントの追加はできません。

[C] Mac OS X → Mac OS X

Mac OS X から印刷する場合、カスタム用紙サイズの作成や解像度の指定方法など、制限事項や注意事項があります。Mac OS X ドライバの注意事項についての詳細は、ユーザーズガイドまたはエプソンのホームページ (i-love-epson) でご確認ください。

[D] Mac OS X → Windows2000/XP

Mac OS X から印刷する場合、カスタム用紙サイズの作成や解像度の指定方法など、制限事項や注意事項があります。Mac OS X ドライバの注意事項についての詳細は、ユーザーズガイドまたはエプソンのホームページ (i-love-epson) でご確認ください。また、Windows2000/XP をプリントサーバとした場合、プリンタフォントの追加はできません。

[E] Windows2000/XP → Mac OS X

Windows2000/XP の [LPR Port] を必ず使用してください。
[Standard TCP/IP Port] を使用した接続は動作保証外となります。

[F] Windows2000/XP → Windows2000/XP

Windows のプリンタ共有 (SMB) を利用する場合、クライアントのコンピュータにログオンするユーザアカウントにはプリントサーバのコンピュータに対する Administrator 権限が必要です。

TCP/IP を使用する場合は、必ず Windows2000/XP の [LPR Port] を使用してください。[Standard TCP/IP Port] を使用した接続は動作保証外となります。

また、Windows2000/XP をプリントサーバとした場合、プリンタフォントの追加はできません。

スタンドアロン接続

本製品をスタンドアロン接続で使用する場合でも、システム内部ではプリントサーバとクライアントソフトがネットワークによる通信を行います。下表から OS と使用可能なプロトコルの組み合わせと、それぞれのプロトコルに応じた前提条件 ([G] ~ [H]) を確認してください。

Mac OS X	Windows2000/XP
TCP/IP (LPR) [G] AppleTalk	PS Port (SMB) [H] TCP/IP (LPR)

[G] Mac OS X スタンドアロン接続

Mac OS X 環境から印刷する場合、TCP/IP (LPR) の使用を推奨します。AppleTalk の利用には、物理的にネットワークに接続された環境が必要です。TCP/IP (LPR) を使用する場合は必ず EPSON PS Server インストール後に [環境設定] メニューで確認したアドレスを設定してください。

🔗 本書 99 ページ「AppleTalk 接続でのプリンタの追加」

🔗 本書 104 ページ「TCP/IP (LPR) 接続でのプリンタの追加」

また、カスタム用紙サイズの作成や解像度の指定方法など、制限事項や注意事項があります。Mac OS X ドライバの注意事項についての詳細は、ユーザーズガイドまたはエプソンのホームページ (i-love-epson) でご確認ください。

[H] Windows2000/XP

Windows2000/XP 環境に EPSON PS Server をインストールすると、「PS Port」が追加されます。通常はこの PS Port を使用してください。

TCP/IP を使用する場合は必ず Windows2000/XP の [LPR Port] を使用してください。[Standard TCP/IP Port] を使用した接続は動作保証外となります。

また、Windows2000/XP 環境ではプリンタフォントの追加はできません。

プリンタの選択

AppleTalk の場合

Mac OS 9 から AppleTalk を使って印刷する前に、以下の手順に従って EPSON PS Server（プリンタ）を選択してください。

参考

- サーバ側のコンピュータで EPSON PS Server を起動しておいてください。
Mac OS X：本書 110 ページ「EPSON PS Server の起動」
- 起動している EPSON PS Server を一度選択すれば、印刷のたびに以下の手順をくり返す必要はありません。
- ネットワーク上の複数の EPSON PS Server を切り替えて印刷する場合は、EPSON PS Server を選択してください。

- 1 アップルメニューから [セレクト] を開いて、[AppleTalk] を [使用] に設定します。

一度 [使用] に設定していれば、[セレクト] は設定を記憶しています。設定を変更した場合は、警告ダイアログのメッセージを確認して [OK] をクリックします。



クリックします

参考

[セレクト] で必ず [AppleTalk] を [使用] に設定する必要があります。[不使用] に設定すると、EPSON PS Server から印刷できません。

- 2 [AdobePS] を選択します。

[セレクト] 左側のボックスに、インストールした [AdobePS] アイコンが現れます。そのアイコンをクリックします。



クリックします

参考

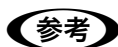
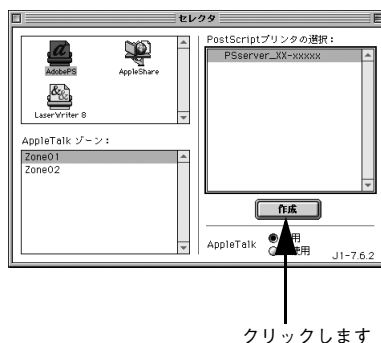
これ以降の手順に進めない場合は、プリントサーバコンピュータの EPSON PS Server が起動していないか、ケーブルが正しく接続されていません。EPSON PS Server の起動とケーブルの接続を確かめてください。

- 3 [PS Server_XX-xxxxx^{*}] を選択します。
AppleTalk ゾーンを設定している場合は、
EPSON PS Server を接続しているゾーンを
最初を選択してください。

^{*} プリンタの機種名が表示されます。



- 4 [作成] をクリックします。
プリンタとの接続状況を示すダイアログが表示されたあと、使用するプリンタ機種専用の
PPD ファイルが自動的に選択されます。



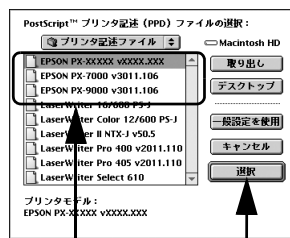
サーバ名の左横に、PPD ファイルが選択されていることを示すマーク（）が現れます。

万一お使いのプリンタ専用の PPD ファイルが自動的に選択されない場合は、右のダイアログが現れます。お使いのプリンタの機種名と同じ PPD ファイルをクリックして、[選択] をクリックしてください。

- CMYK用のPPDは、[EPSON PX-XXXX vxxxx.xxx] を選択します。
- RGB 用の PPD は、[EPSON PX-XXXX_RGB vxxxx.xxx] を選択します。

^{*} 「XXXX」はプリンタの機種名やバージョン番号が表示されます。

📖 本書 229 ページ「RGB カラー印刷について」



①機種専用 PPD ファイル
をクリックして

②クリックします

5

セレクトタを閉じます。

- クローズボックス（ダイアログ左上の□ボックス）をクリックして「セレクトタ」を閉じます。
- 用紙設定に関する警告ダイアログが現れたら、メッセージを確認して「OK」をクリックします。



クリックします

以上で、印刷前の準備は終了です。印刷を行うには、以下のページへ進んでください。

📖 本書 190 ページ「印刷の手順」

TCP/IP (LPR) の場合

Mac OS 9 から TCP/IP (LPR) を使って印刷する前に、以下の手順に従って EPSON PS Server (プリンタ) を選択してください。

参考

- サーバ側のコンピュータで EPSON PS Server を起動しておいてください。
📖 Windows：本書 38 ページ「EPSON PS Server の起動」
📖 Mac OS X：本書 110 ページ「EPSON PS Server の起動」
- 起動している EPSON PS Server を一度選択すれば、印刷のたびに以下の手順をくり返す必要はありません。
- ネットワーク上の複数の EPSON PS Server を切り替えて印刷する場合は、EPSON PS Server を選択してください。
- Mac OS 9 の場合、LPR 印刷を行うには IP 設定を確認いただく必要があります。コントロールパネルの「TCP/IP」で IP 設定がされていることを確認してください。
- Mac OS X サーバーに接続しているプリンタに印刷する場合は、サーバの EPSON PS Server で、[環境設定] ダイアログの [LPR] タブの [LPR] チェックボックスをチェックしておいてください。
📖 本書 142 ページ「[LPR] タブ」
- TCP/IP (LPR) を使用する場合、[セレクトタ] でプリンタ名は表示されません。セレクトタでは「AdobePS」を選択してください。印刷時にプリンタ名を選択します。

1

ハードディスクのアイコンをダブルクリックします。



ダブルクリックします



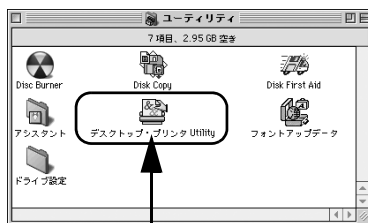
[Macintosh HD] というアイコン名は、ご利用の環境によって異なります。

- 2 [Applications] フォルダにある [ユーティリティ] フォルダをダブルクリックします。



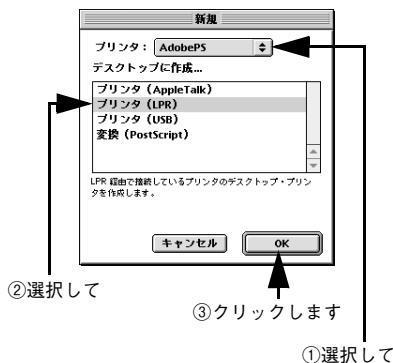
ダブルクリックします

- 3 [デスクトップ・プリンタ Utility] をダブルクリックして起動します。

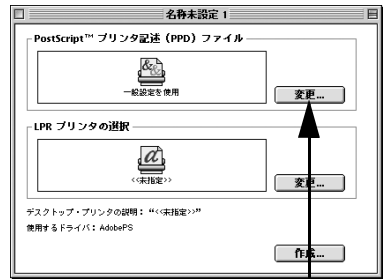


ダブルクリックします

- 4 [プリンタ] で [AdobePS] を選択し、[プリンタ (LPR)] を選択して、[OK] をクリックします。



- 5 [PostScript プリンタ記述 (PPD) ファイル] の [変更] をクリックします。



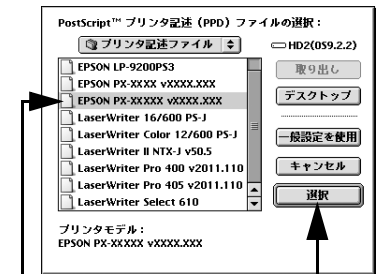
クリックします

- 6 使用するプリンタの PostScript プリンタ記述ファイルを選択して、[選択] をクリックします。

プリンタごとに2種類のPPDファイル(CMYK用 / RGB 用) が用意されています。

- 通常は CMYK 用の PPD を選択してください。(RGB 用の PPD では機能が限定されています。)
- RGB データを、プリンタに同梱されている標準プリンタドライバ (EPSON 基準色 (sRGB) など) と同様の色合いで PostScript 印刷したい場合には、RGB 用の PPD を選択してください。RGB 用 PPD について以下のページを参照してください。

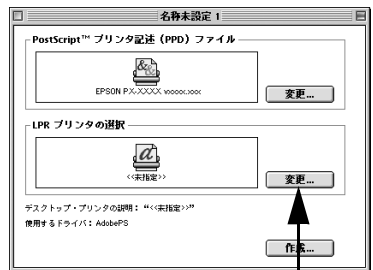
📖 本書 229 ページ「RGB カラー印刷について」



① 選択して

② クリックします

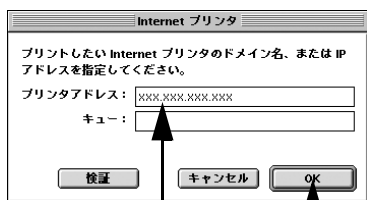
- 7 [LPR プリンタの選択] の [変更] をクリックします。



クリックします

- 8 [プリンタアドレス]に EPSON PS Server が動作しているコンピュータの IP アドレスを入力して、[OK] をクリックします。

- IP アドレスは、EPSON PS Server の [EPSON PS Server] メニューで [環境設定] を選択し、[LPR] タブに表示されるものを使用ください。
- [キュー] には入力する必要はありません。
- [検証] をクリックすると、接続に問題がないか検証できます。



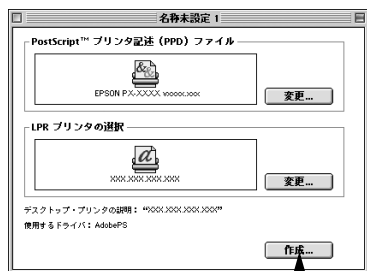
①入力して

②クリックします

参考

- [検証] は入力した IP アドレスの接続状況を検証する機能で、EPSON PS Server の接続を検証するとは限りません。必ず、EPSON PS Server が動作しているコンピュータの IP アドレスを確認してから [プリンタアドレス] に入力してください。
- 正しく検証された場合、画面内に「プリンタの場所：IP アドレス or プリンタのドメイン名」が表示されます。
- 「プリンタを検証できません」とエラーが表示された場合、EPSON PS Server が動作しているか確認してください。

- 9 [作成] をクリックします。



クリックします

- 10 右の画面が表示されます。[デスクトップ・プリンタの保存名]を確認または変更して、[保存] をクリックします。



①入力して

②クリックします

参考

[デスクトップ・プリンタの保存名] には、プリンタの IP アドレスが表示されています。必要に応じて、識別しやすい名前に変えてください。

- 11 [ファイル] メニューから [終了] を選択して、[デスクトップ・プリンタ Utility] を終了します。

以上で、印刷前の準備は終了です。印刷を行うには、以下のページへ進んでください。

 本書 190 ページ「印刷の手順」

印刷の手順

起動している EPSON PS Server が選択されていれば、印刷できます。ここでは、Mac OS アプリケーションソフトでの基本的な印刷手順について説明します。EPSON PS Server の接続については、以下のページを参照してください。

📖 本書 183 ページ「AppleTalk の場合」

📖 本書 185 ページ「TCP/IP (LPR) の場合」

用紙設定の手順

実際に印刷データを作成する前に、プリンタドライバ上で用紙サイズなどを設定します。

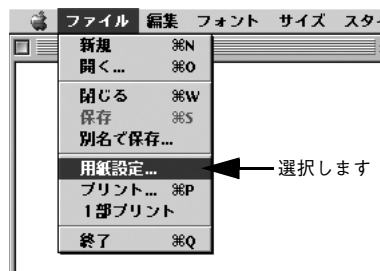


アプリケーションソフトによっては、独自の用紙設定ダイアログを表示することがあります。その場合は、アプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

① アプリケーションソフトを起動します。

② [ファイル] メニューから [用紙設定] を選択します。

アプリケーションソフトによっては、コマンド名が異なる場合があります（[プリンタの設定] など）。



③ 各項目を設定します。

- 表示されている設定条件でよければ、改めて設定する必要はありません。
- 各設定項目の説明は、以下のページをお読みください。

📖 本書 192 ページ「[用紙設定] ダイアログ」



設定項目の説明は、[ヘルプ] メニューから [バルーン表示] を選択してバルーンヘルプを表示させてご覧いただける場合があります。

④ [OK] をクリックして終了します。

この後、印刷データを作成します。次へ進んでください。

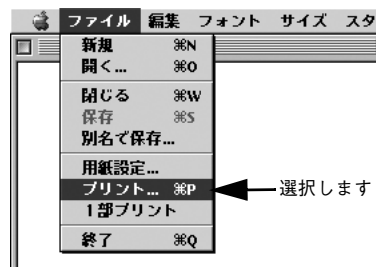
📖 本書 191 ページ「印刷設定の手順」

印刷設定の手順

印刷する前に、印刷部数などを設定します。印刷関係の項目は以下のダイアログボックスで設定します。

- ① [ファイル] メニューから [プリント] を選択します。

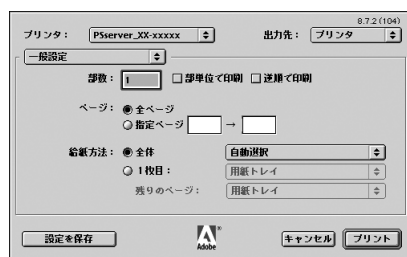
アプリケーションソフトによっては、コマンド名が異なる場合があります（[印刷] など）。



- ② 各項目を設定します。

- 表示されている設定条件でよければ、改めて設定する必要はありません。
- 各設定項目の説明は、以下のページをお読みください。

📖 本書 198 ページ「[プリント] ダイアログ」



参考

- CMYK/RGB カラーシミュレーション機能を使用したり、フチなし印刷を行うなどプリンタ固有の機能を利用するには、[プリンタのカラー調整] または [プリンタの固有機能] ダイアログで設定してください。
📖 206 ページ「[プリンタ固有機能] ダイアログ」
- アプリケーションソフトによっては、独自の印刷ダイアログを表示する場合があります。その場合は、アプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。
- 設定項目の説明は、[ヘルプ] メニューから [バルーン表示] を選択してバルーンヘルプを表示させてご覧いただける場合があります。

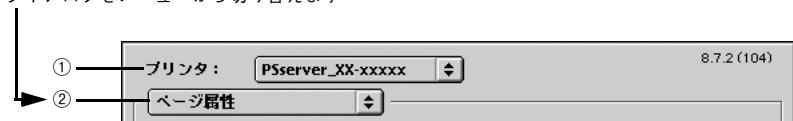
- ③ [プリント] をクリックして、印刷を実行します。

プリンタドライバの設定項目について

【用紙設定】 ダイアログ

【用紙設定】 ダイアログでは、用紙に関する基本的な項目を設定します。印刷データを作成する前に設定してください。

ダイアログをメニューから切り替えます



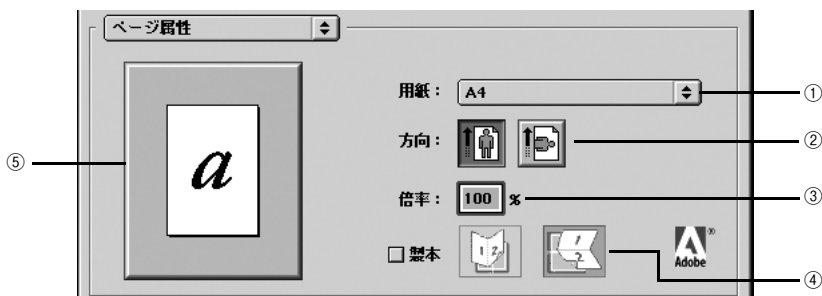
① プリンタ

印刷可能な PS プリンタが複数台ある場合は、このポップアップメニューから使用するプリンタをクリックして選択します。

② 【用紙設定】 メニュー

ポップアップメニューから設定画面を選択すると、以下の機能が設定できます。

【ページ属性】 ダイアログ



① 用紙

ポップアップメニューから印刷する用紙サイズを選択します。選択できる用紙サイズは、プリンタの機種によって異なります。使用可能な用紙サイズと印刷可能領域については、お使いのプリンタの取扱説明書をお読みください。

参考

- カスタム用紙サイズを作成して選択することができます。
📖 本書 197 ページ 「[カスタムページ設定] ダイアログ」
- フチなし印刷を行う場合は、[xxx (フチなし)] を選択してください (xxx は用紙サイズ)。詳しくは、以下のページをお読みください。
📖 本書 217 ページ 「フチなし印刷を行うには」

② 方向

印刷データを用紙に対してどの方向で印刷するかアイコンをクリックして選択します。

③ 倍率

25%～400%の範囲で拡大または縮小して印刷できます。数値を直接入力して設定します。

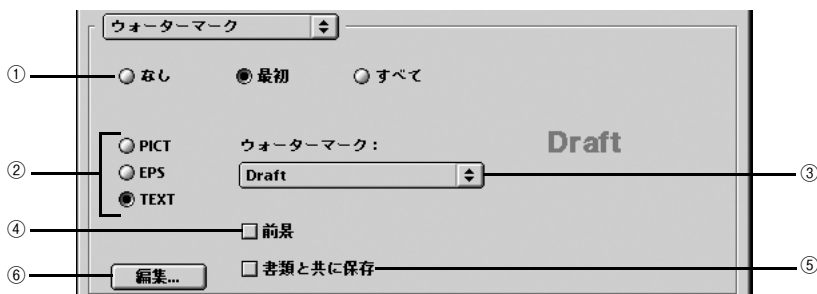
④ 製本

製本するように印刷でき、綴じ方向を選択できます。ただし、スタンドアロン接続では本機能は使用できません。

⑤ プレビューウィンドウ

設定状況をイラストで表示します。画面上をクリックすると用紙サイズと余白の情報を表示します。

【ウォーターマーク】ダイアログ



① なし / 最初 / すべて

ウォーターマークを印刷するページを選択します。

設定	機能
なし	ウォーターマークを印刷しません。
最初	ウォーターマークを最初のページにのみ印刷します。
すべて	ウォーターマークをすべてのページに印刷します。

② PICT/EPS/TEXT

ウォーターマークのファイル形式を選択します。

設定	機能
PICT	PICT 形式で保存したファイルをウォーターマークとして印刷します。
EPS	EPS 形式で保存したファイルをウォーターマークとして印刷します。
TEXT	登録した文字（TEXT/ テキスト）をウォーターマークとして印刷します。文字の登録方法については、以下のページをお読みください。 📖 本書 195 ページ「⑥ 編集」

③ ウォーターマーク

ウォーターマークファイルを選択します。なお、上記②で選択したファイル形式によって、選択できるファイルは異なります。

参考

- ウォーターマークファイルを保存するフォルダは、[システムフォルダ] の [初期設定] フォルダ内にある [ウォーターマーク] フォルダです。
- サンプルのウォーターマークファイルが用意されています。任意の画像や文字などを [ウォーターマーク] フォルダに PICT または EPS 形式のファイルとして保存すると、ウォーターマークとしてご利用いただけます。
- [ウォーターマーク] フォルダのエイリアスを作成して、アクセスしやすい任意の場所に配置することもできます。ただし、その場合のエイリアス名は必ず [ウォーターマーク] としてください。

④ 前景

ウォーターマークを書類の前景に印刷します。背景として印刷する場合は、[前景] のチェックマークを外します。

参考

一部のアプリケーションソフト（例 SimpleText）は、背景を白く印刷します。その場合、背景にウォーターマークを配置すると、ウォーターマークは印刷されません。ウォーターマークは前景に配置して印刷してください。

⑤ 書類と共に保存

印刷するかわりにファイルとして保存することができます。その際、ウォーターマークと一緒に保存することができます。ファイルの保存については、以下のページをお読みください。

📖 本書 211 ページ「ファイルへの出力」

参考

アプリケーションソフトによっては、ウォーターマークを書類と共に保存できない場合があります。

⑥ 編集

②で [TEXT] を選択した場合、文字 (TEXT/ テキスト) をウォーターマークとして登録できます。[編集] をクリックすると、以下のダイアログが表示されます。

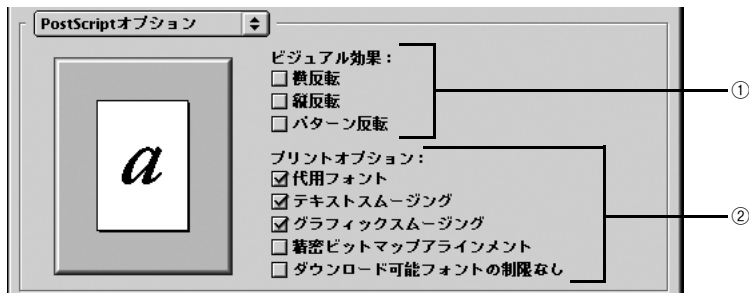


表示	機能
ウォーターマークファイル	登録済みのテキストウォーターマークファイルを選択します。
ウォーターマーク フォント / サイズ / スタイル	テキストウォーターマークに使用するフォント、サイズ、スタイルを、メニューをスクロールして選択します。
ウォーターマーク テキスト	ウォーターマークのテキストです。新規に登録する場合は、ここにテキストを入力します (最大半角 255 文字)。
色	ウォーターマークの色を選択します。
新規保存	[ウォーターマーク テキスト] に入力したテキストをウォーターマークファイルとして新規に保存します。[新規保存] をクリックするとダイアログが表示されますので、[新規ウォーターマーク名] を入力して [OK] をクリックします。
ウォーターマークの配置	テキストウォーターマークを印刷するページ位置 (テキストの左下角) と角度を指定できます。 - マウスをクリックすると位置が決まります。 - ウォーターマークをドラッグすると、テキストの角度が変わります。



ウォーターマークファイルを保存するフォルダは、[システムフォルダ] の [初期設定] フォルダ内にある [ウォーターマーク] フォルダです。誤ってウォーターマークを消しても対処できるように、[ウォーターマーク] フォルダをバックアップすることをお勧めします。

[PostScript オプション] ダイアログ



① ビジュアル効果

印刷データにビジュアル効果を加えて印刷します。

設定	機能
横反転	印刷データを鏡に映したイメージ（水平方向に反転させたイメージ）で印刷します。
縦反転	印刷データを鏡に映したイメージ（垂直方向に反転させたイメージ）で印刷します。
パターン反転	白黒を反転させたイメージで印刷します。

② プリントオプション

印刷時のフォント、画像に対する機能を設定することができます。

設定	機能
代用フォント	New York、Geneva、MonacoのフォントをそれぞれTimes、Helvetica、Courier のフォントに置き換えて高品質に印刷します。
テキストスムージング	印刷データ中のビットマップフォントの輪郭を滑らかにして印刷します。
グラフィックススムージング	印刷データ中の画像（ビットマップデータ）に補正をかけて高品位に印刷します。
精密ビットマップアライメント	グラフィックイメージを印刷したときに起きるゆがみを補正するために、印刷データを少し縮小して印刷します。
ダウンロード可能フォントの制限なし	通常、この機能は設定しない（チェックしない）でください。 この機能にチェックを付けると、印刷時にプリンタからダウンロードするスクリーンフォントを多数使用できるようになりますが、印刷に不具合が生じることがあります。

[カスタムページ設定] ダイアログ

カスタムページ設定

単位: cm

A4

用紙サイズ

幅: 20.99 高さ: 29.7

Offset 0 Offset 0

デバイスの許容範囲は以下のとおりです

用紙の幅	最大
	29.7

カスタムページ名

余白

上 0.39

下 0.39

左 0.39 右 0.39

削除 追加

[カスタムページ名] に名前を付けて、カスタム用紙サイズを作成できます。

- [単位] を選択してから、[用紙サイズ] と [余白] の各項目に数値を入力し、[追加] をクリックして登録します。
- 登録したカスタム用紙サイズを削除するには、用紙サイズ名をメニューから選択して [削除] をクリックします。
- お使いのプリンタの機種で設定できる数値の許容範囲は、[デバイスの許容範囲は以下のとおりです] のメニューを切り替えて確認できます。

参考

- 作成したカスタム用紙サイズは、[ページ属性] ダイアログの [用紙] から選択できます。
- プリンタに付属のドライバで作成した用紙情報をカスタム用紙として登録できます。

[プリント] ダイアログ

[プリント] ダイアログでは、印刷に関わる各種の設定を行います。ダイアログ左上の [印刷設定] メニューから設定画面を選択すると、プリンタの各種機能が設定できます。



① プリンタ

印刷可能な PS プリンタが複数ある場合は、このポップアップメニューから使用するプリンタをクリックして選択することができます。

② 出力先

印刷データの出力先を設定します。[プリンタ] を選択すると印刷データをプリンタに送り、プリンタは印刷を開始します。[ファイル] を選択すると、印刷データを PostScript ファイルまたは EPS ファイルとして保存することができます。

📖 本書 204 ページ「[PostScript 設定] ダイアログ」

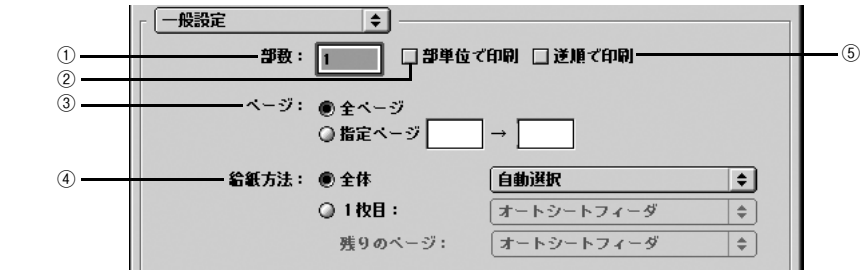
③ 印刷設定メニュー

印刷に関する各種機能の設定が実行できます。ポップアップメニューから選択してください。各設定項目については、次ページ以降をお読みください。

④ 設定を保存

[プリント] ダイアログで設定を変更して [設定を保存] をクリックすると、設定が保存されます。

[一般設定] ダイアログ



① 部数

印刷する部数を最大 999 部まで設定できます。直接数値を入力して設定します。
EPSON PS Server の [初期設定] で [ラスタースプールモード] を有効にすると、高速に印刷することができます。

🔗 Mac OS X：本書 141 ページ「[RIP] タブ」

🔗 Windows：本書 62 ページ「初期設定」

② 部単位で印刷

部数が 2 以上の場合、1 部ごとに印刷します。

③ ページ

印刷するページの範囲を設定します。

④ 給紙方法

印刷する用紙がセットされた給紙装置に合わせて選択します。

設定	機能	
給紙方法	どの給紙装置にセットされている用紙を使用するかを選択します。	
	自動選択	実際にプリンタにセットしてある給紙設定に従って給紙して印刷します。
	オートシートフィーダ (初期設定)	プリンタのオートシートフィーダにセットした用紙を給紙します。
	ロール紙	プリンタのロール紙ホルダにセットした用紙を使用します。
	手差し (定形紙)	プリンタ側で「手差し (定形紙)」に設定する必要がある用紙の場合に設定します。

通常は [全体] を選択して、すべてのページで同じ給紙装置を使用します。

⑤ 逆順で印刷

最後のページから逆順で印刷します。

[追加オプション] ダイアログ



① 高速プリンタまたは Acrobat Distiller を使用する場合に選択

EPSON PS Server 用にインストールされていない 2 バイトフォントは、ビットマップフォントとして印刷します。

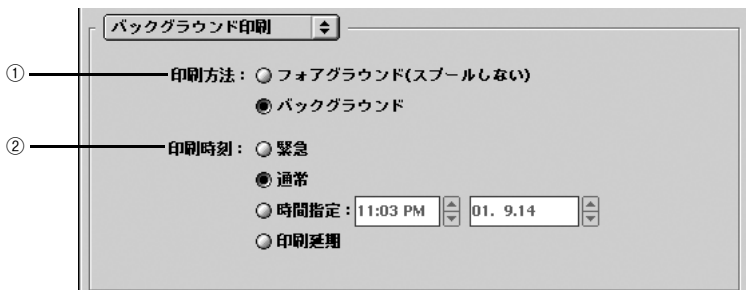
② EPS ファイルまたはポータブル PostScript ファイルを作成する場合に選択

EPSON PS Server 用にインストールされていない 2 バイトフォントは、フォントデータのサブセットとしてプリンタへ送られます。



アプリケーションによっては、①の設定で印刷できない場合があります。そのような場合は、②の設定で印刷してください。

[バックグラウンド印刷] ダイアログ



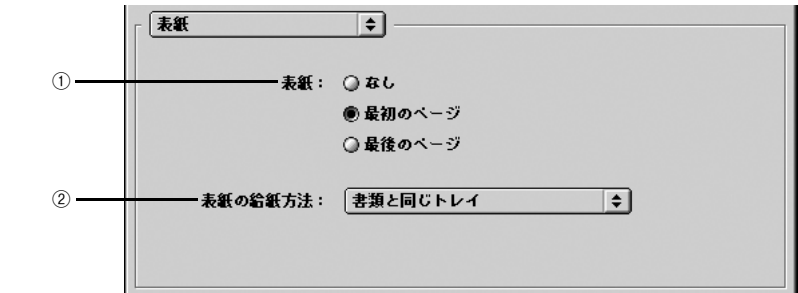
① 印刷方法

バックグラウンドを選択すると印刷中も Mac OS をほかの作業に使用することができます。初期設定では「バックグラウンド」が選択されています。

② 印刷時間

通常の印刷では、「通常」を選択します。「緊急」を選択すると、複数の印刷データがある場合に、優先して印刷します。「時間指定」を選択すると、印刷する時間と日付を指定して印刷できます。「印刷延期」を選択すると、印刷データをプリントキューに残したまま印刷しません。

[表紙] ダイアログ



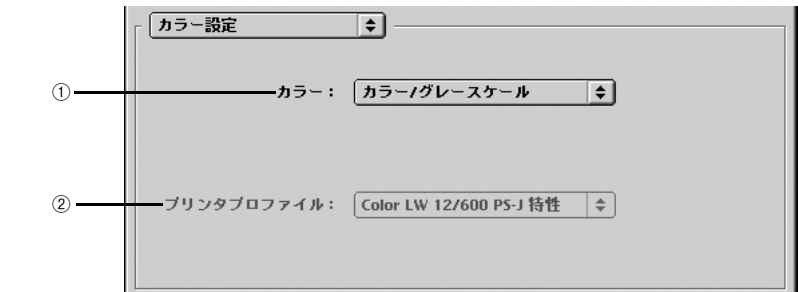
① 表紙

印刷データの名称や印刷日時などの情報を表示したページを、印刷の [最初のページ] または [最後のページ] に印刷できます。

② 表紙の給紙方法

表紙を印刷するときは、印刷データとは別の給紙装置を [表紙の給紙方法] で選択することもできます。ただし、給紙口が1つしかないプリンタの場合は、設定を変更することができません。

[カラー設定] ダイアログ



① カラー

カラー / グレースケールの印刷方法を設定します。

機能	説明
白黒（初期設定）	モノクロ（白黒）で印刷します。グレースケール（階調）は再現しません。
カラー / グレースケール	カラーまたはグレースケール印刷するときに選択します。
ColorSync カラーマッチング	本製品では使用しません。
PostScript カラーマッチング	本製品では使用しません。

* アプリケーションソフトによっては、[白黒] を選択してもカラーで印刷される場合があります。その場合は、[プリンタの固有機能] ダイアログで [インク] を [グレースケール] に設定してください。

📖 本書 206 ページ「[プリンタ固有機能] ダイアログ」

参考

- アプリケーションソフトの CMYK または RGB カラーモードで作成した画像データを印刷する場合は、本製品の CMYK または RGB シミュレーションをご利用いただけます。
- アプリケーションソフトの Lab カラーを使用してディスプレイとのカラーマッチングを行う場合、プリンタに標準添付のプリンタドライバ（QuickDraw プリンタドライバ）を使用して ColorSync モードで印刷することをお勧めします。

② プリンタプロファイル

①で [ColorSync カラーマッチング] または [PostScript カラーマッチング] のどちらかを選択した場合に選択可能となりますが、通常は [白黒] または [カラー / グレースケール] で印刷しますので、本製品ではこの項目は使用しません。

【レイアウト】 ダイアログ



① ページ / 枚

- 分割印刷や割付印刷を行わない場合は、[1] を選択します。
- 大きな用紙サイズを複数のページに分けて分割印刷するには、分割ページ数をメニューから選択します。

分割印刷をする場合



- 連続した印刷データを1枚の用紙に割り付けて印刷するには、割付ページ数をメニューから選択します。割付印刷を行う場合は、②～④の項目を設定できます。

② レイアウトの方向

割り付け印刷を行う場合、ページを並べる順番をアイコンをクリックして選択できます。

設定	機能
	ページを左から右の順に並べます。
	ページを右から左の順に並べます。

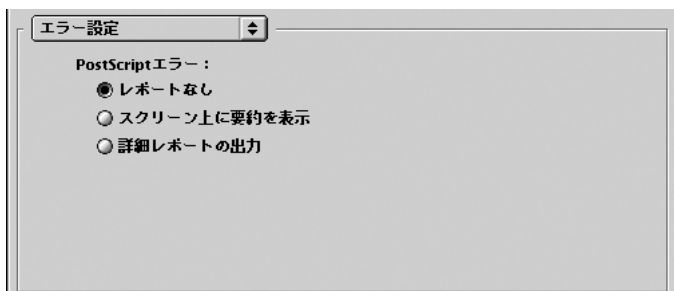
③ 枠線

割り付けた印刷データの周りに枠線を描くかどうかを選択できます。ポップアップメニューから枠線の種類も選択できます。

④ 両面に印刷

用紙の両面に印刷します。本製品が対応するプリンタの機種によっては手動両面印刷ができない場合があります。

【エラー設定】 ダイアログ

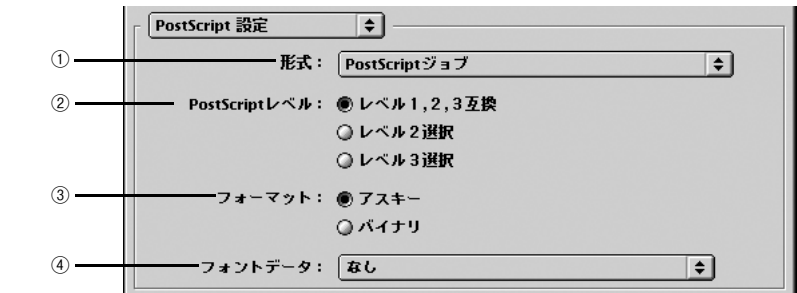


PostScript エラーが発生した場合に報告するかどうか選択します。

設定	機能
レポートなし	PostScript エラーが発生しても報告しません。
スクリーン上に要約を表示	PostScript エラーが発生した場合、コンピュータのモニタスクリーンにエラーの要約を表示します。
詳細レポートの出力	PostScript エラーが発生した場合、エラーの詳細をプリンタで印刷します。

[PostScript 設定] ダイアログ

[出力先] を [ファイル] に設定した場合、印刷データをファイルとして保存できます。
[PostScript 設定] ダイアログでは、ファイルを保存する際の条件を設定できます。



① 形式

ファイルの保存形式を選択します。

設定	機能
PostScript ジョブ	PS (PostScript) ファイルとして保存します。
EPS (ビットマッププレビュー)	EPS ファイルとして保存します。プレビューイメージとしてビットマップ (72dpi) のモノクロイメージを提供します。
EPS (PICT プレビュー)	EPS ファイルとして保存します。プレビューイメージとして Mac OS の画面に表示するための QuickDrawPICT フォーマットのイメージを提供します。
EPS (プレビューなし)	EPS ファイルとして保存します。Mac OS の画面上に表示するためのプレビューイメージを提供しません。

② PostScript レベル

設定	機能
レベル 1, 2, 3 互換	どのレベルの PostScript プリンタで印刷するかわからない場合に選択します。どの PostScript レベルとも互換性を保ちますが、その分ファイルサイズが大きくなり、印刷処理に時間がかかる場合があります。
レベル 2 選択	PostScript レベル 2 のプリンタで印刷する場合に選択します。レベル 1 の PS プリンタでは正常に印刷できない場合があります。
レベル 3 選択	PostScript レベル 3 のプリンタで印刷する場合に選択します。本製品はレベル 3 の PostScript インタプリタです。

③ フォーマット

保存するファイルのデータ形式を選択できます。

設定	機能
アスキー	フォーマットで選択した形式のデータをアスキーコードで保存します。EPS ファイルは必ずアスキーフォーマットを選択してください。
バイナリ	フォーマットで選択した形式のデータをバイナリ (2 進数) で保存します。

④ フォントデータ

作成する PS ファイルにダウンロード可能なフォントの情報を含めることができます。作成した PS ファイルをほかの PostScript プリンタから印刷する場合などに、フォント情報を含めないと印刷データで使用した以外のフォントで印刷される場合があります。

設定	機能
なし	フォント情報を含めません。
すべてを含める	印刷データに使用されているすべてのフォント情報を含みます。
標準 15 書体以外を含める	印刷データに使用されているフォントの中で標準 15 書体以外のフォント情報のみを含みます。
PPD にない書体を含める	PPD ファイルに記載されている欧文フォント以外で印刷データに使用されている欧文フォントの情報のみを含みます。和文 2 書体はビットマップとして保存されます。



現在保存できるフォント情報は、欧文フォントの場合だけです。和文フォントの情報は保存できません。

[プリンタ固有機能] ダイアログ

[プリンタ固有機能] ダイアログでは、プリンタ固有の機能を設定できます。なお、このダイアログではバルーンヘルプはご利用いただけません。

プリンタ：PS Server_PX-XXXX出力先：プリンタ

プリンタ固有機能

用紙種類：EPSON スーパーファイン紙解像度：720x720dpi自動回転：オフオートカット：カットなしフチなし：オフジョブ管理の印刷：オフ

カラーカラーグレースケール

☒ 双方向印刷☐ 切り取り線印刷☐ 待機

設定を保存

Adobe

キャンセルプリント

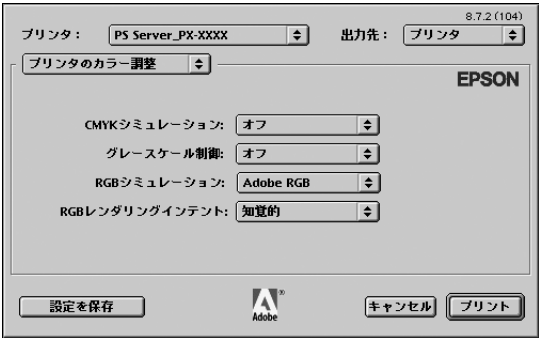
設定	機能	
用紙種類	使用する用紙の種類を選択します。選択した [用紙種類] によって [解像度] に制限があり、利用できない [解像度] が選択されているとエラーメッセージを表示します。用紙種類と解像度の組み合わせについては、以下のページを参照してください。 📖 237 ページ「用紙種類 / 解像度と ICC プロファイルの一覧」	
解像度	プリンタの解像度（横×縦）を選択します。選択した [解像度] によって [用紙種類] に制限があり、利用できない [用紙種類] が選択されているとエラーメッセージを表示します。用紙種類と解像度の組み合わせについては、以下のページを参照してください。 📖 237 ページ「用紙種類 / 解像度と ICC プロファイルの一覧」	
カラー	カラー印刷するかグレースケール印刷するかを設定します。	
	カラー（初期設定）	カラーで印刷します。
	グレースケール	グレースケール（白黒の階調）で印刷します。
自動回転 (PX-6500 のみ)	給紙装置で指定したロール紙の幅に応じて、用紙方向の自動回転を行うかを設定します。オンにする場合は、同時にロール紙の用紙幅を選択してください。	
	オフ（初期設定）	自動回転しません。
	オン [17 in] オン [420 mm] オン [16 in] オン [400mm] オン [14 in] オン [13 in] オン [12 in] オン [300 mm] オン [10 in] オン [210mm] オン [8 in]	自動回転します。 用紙幅を選択します。

設定	機能	
オートカット (PX-6500 のみ)	オートカッターを使用して用紙を切断するかを設定します。	
	カットなし (初期設定)	オートカッターは使用しません。
	カットあり	オートカッターで用紙を切断します。
	四辺フチなし 1 カット	四辺フチなし印刷時、オートカットを行います。 ページとページの間を 1 回のカットで切り離します。
	四辺フチなし 2 カット	四辺フチなし印刷時、オートカットを行います。 ページとページの間をカットする場合、ページの 終端をカットした後、用紙を送り出して次のペー ジの上端をカットします。
フチなし	フチなし印刷を行うかどうかを設定します。[用紙サイズ] を [xxx (フチなし)] に設定した場合のみ [オン] を選択できます (xxx は用紙サイズ)。 🔧 本書 197 ページ [[カスタムページ設定] ダイアログ] 🔧 本書 217 ページ 「フチなし印刷を行うには」	
	オフ (初期設定)	フチなし印刷を行いません。
	カスタム設定 (原寸維持)	原寸を維持した状態で、フチなし印刷を行います。 この設定でフチなしを行うためには、予めカスタム用紙でフチなしにする用紙サイズ+左右 3mm の大きさの用紙を定義する必要があります。
	自動拡大 (標準)	フチなし用紙を選択して印刷することでイメージを自動的に拡大してフチなし印刷を実現します。 はみ出し量は、左右上下 3mm になります。
	自動拡大 (多い)	フチなし用紙を選択して印刷することでイメージを自動的に拡大してフチなし印刷を実現します。 はみ出し量は、左上下 3mm、右 5mm になります。
	自動拡大 (少ない)	フチなし用紙を選択して印刷することでイメージを自動的に拡大してフチなし印刷を実現します。 はみ出し量は、左右上下 1.5mm になります。
ごすれ軽減 (PX-5500 のみ)	印刷ごすれを軽減します。印刷ごすれが発生したときのみオンにします。オンにすると、印刷速度が遅くなる場合があります。	
	オン	ごすれ軽減の機能を有効にします。
	オフ (初期設定)	ごすれ軽減の機能を有効にします。
ジョブ情報の印刷	ジョブ情報を印刷するかを設定します。	
	オフ (初期設定)	ジョブ情報を印刷しません。
	上端に印刷	ジョブ情報を用紙の上端に印刷します。
	下端に印刷	ジョブ情報を用紙の下端に印刷します。
	左端に印刷	ジョブ情報を用紙の左端に印刷します。
	右端に印刷	ジョブ情報を用紙の右端に印刷します。
双方向印刷	プリントヘッドが左右どちらに移動するときも印刷するかどうかを設定します。 ただし、双方向印刷を行うと印刷品質が多少低下する場合がありますので、より高品質な印刷を行いたい場合はチェックを外してください。	
	オン (初期設定)	双方向印刷を行います。
	オフ	双方向印刷を行いません。

設定	機能	
切り取り線印刷 (PX-6500 のみ)	切り取り線を印刷するかを設定します。	
	オフ（初期設定）	切り取り線を印刷しません。
	オン	切り取り線を印刷します。
待機	印刷せずに印刷ジョブを待機させるかを設定します。ただし、AppleTalk 接続の場合、本項目をオンにしても、機能しません。	
	オフ（初期設定）	印刷ジョブを待機しません（印刷します）。
	オン	印刷ジョブを待機します（印刷しません）。

[プリンタのカラー調整] ダイアログ

印刷色に関する詳細な設定をします。RGB 用 PPD ファイルを使用する場合、本ダイアログでの設定はできません。



設定	機能	
CMYKシミュレーション (RGB用PPD選択時は表示されません)	オフセット印刷機のCMYKインク色を再現して印刷する場合に、シミュレーションするCMYKインクの色を選択します。	
	オフ	CMYKシミュレーション機能を使用しません。
	DIC	大日本インキ化学工業株式会社のDIC標準色
	SWOP	SWOP™ 出版印刷色
	Euro	ヨーロッパ (Eurostandard) の印刷色
	TOYO	東洋インキ製造株式会社の東洋インキ標準色
	JMPA	雑誌広告基準カラー (JMPA カラー)
	JapanColor2001 (初期設定)	JapanColor 色再現印刷 2001 に準拠
	カスタム 1 ～ 10	EPSON PS Server の [カラーマネージャ設定] ダイアログで登録したカスタムCMYKプロファイルで定義している印刷色 🔗 Windows: 本書 70 ページ「カラーマネージャ設定」 🔗 Mac OS X: 本書 150 ページ「カラーマネージャ設定」
グレースケール制御 (RGB用PPD選択時は表示されません)	黒の調整方法を設定します。	
	オフ (初期設定)	CMYK4 色を混ぜて、黒の階調を表現します。
	オン	CMYK4 色の内、K のみを使用して黒の階調を表現します。

設定	機能	
RGB シミュレーション (RGB用PPD選択時は表示されません)	RGB 色を再現して印刷する場合に、シミュレーションする RGB 色を選択します。	
	オフ	RGB シミュレーション機能を使用しません
	Adobe RGB (初期設定)	Adobe 社が定義する RGB 色
	Apple RGB	Apple 社が定義する RGB 色
	カスタム 1 ～ 10	EPSON PS Server の [カラーマネージャ設定] ダイアログで登録したカスタム RGB プロファイルで定義した RGB 色  Windows: 本書 70 ページ「カラーマネージャ設定」  Mac OS X: 本書 150 ページ「カラーマネージャ設定」
RGB レンダリングインテント (RGB用PPD選択時は表示されません)	出力装置が再現できる色には限界があり、特定の出力装置で色を再現する場合、指定した色の再現範囲を調整する必要があります。その再現範囲の調整方法の種類を選択します。本設定は、RGB シミュレーションのみに機能します。	
	知覚的 (初期設定)	視覚的に自然なイメージになるように変換します。画像データが広範囲な色域を使用している場合に使用します。
	相対的な色域を維持	元データの色域座標と印刷時の色域座標が一致するように、さらに白色点 (色温度) の座標値が一致するように変換します。多くのカラーマッチング時に使用されます。
	彩度	彩度を保持して変換を行います。
	絶対的な色域を維持	元データも印刷データも絶対的な色域座標に割り当てて変換します。元データと印刷データの白色点 (色温度) は色調補正されません。ロゴカラーの印刷など、特殊な用途で使用します。

ファイルへの出力

AdobePS ドライバを使用してファイルを印刷する際に、PS (PostScript) ファイルまたは EPS (Encapsulated PostScript) ファイルとして保存することができます。



EPS ファイルは、ほかのアプリケーションソフトで作成したファイルに組み込むことができます。

① [ファイル] メニューから [プリント] (または [印刷]) を選択します。

② 保存する範囲を設定して、[出力先] メニューから [ファイル] を選択します。



②選択します

①保存するページ範囲を設定して



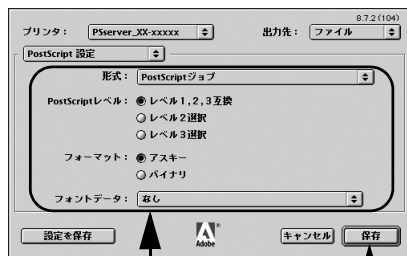
EPS ファイルとして保存する場合は、1 ページを越えて保存することはできません。1 ページ分のページ範囲を指定してください。

③ [印刷設定] メニューのポップアップメニューから [PostScript 設定] をクリックします。



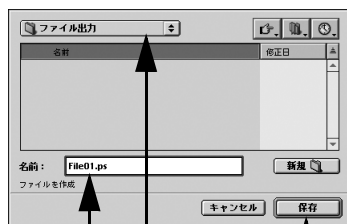
クリックします

- 4 各項目を設定し、[保存] をクリックします。
各項目の詳細は、以下のページを参照してください。
📖 本書 204 ページ「[PostScript 設定] ダイアログ」



① 設定して ② クリックします

- 5 保存先のフォルダを選択し、ファイル名を入力して、[保存] をクリックします。



① 選択して
② 入力して ③ クリックします

カラーシミュレーション機能について

CMYK/RGB カラーシミュレーションとは



RGB 用 PPD ファイルを使用する場合は、CMYK/RGB カラーシミュレーションは行えません。
📖 本書 229 ページ「RGB カラー印刷について」

CMYK シミュレーション

ほとんどの PostScript 対応アプリケーションソフト日本語版（PageMaker、QuarkXPress、Illustrator、Photoshop < CMYK カラーモード>など）は、印刷機で使用する CMYK カラーを指定できます。これらのアプリケーションソフトから本製品で印刷する際に、CMYK シミュレーション機能を使用することにより、最終的に使用するオフセット印刷機の色（CMYK カラー）を再現（シミュレーション）することができます。本製品でシミュレーションできる CMYK カラーは、次の通りです。

設定	CMYK シミュレーション
オフ	CMYK シミュレーション機能を使用しません。
DIC	大日本インキ化学工業株式会社の DIC 標準色
SWOP	SWOP™ 出版印刷色
Euro	ヨーロッパ（Eurostandard）の印刷色
TOYO	東洋インキ製造株式会社の東洋インキ標準色
JMPA	雑誌広告基準カラー（JMPA カラー）
JapanColor2001 （初期設定）	Japan Color 色再現印刷 2001 に準拠
カスタム 1 ～ 10	EPSON PS Server の [カラーマネージャ設定] ダイアログで登録したカスタム CMYK プロファイルで定義している印刷色をシミュレーションします。 📖 Mac OS X：本書 150 ページ「カラーマネージャ設定」 📖 Windows：本書 70 ページ「カラーマネージャ設定」

RGB シミュレーション

一部の PostScript 対応アプリケーションソフト（Photoshop < RGB カラーモード>など）は、RGB カラーを指定できます。これらのアプリケーションソフトから本製品で印刷する際に、RGB シミュレーション機能を使用することにより、使用する RGB カラーを再現（シミュレーション）することができます。本製品でシミュレーションできる RGB カラーは、次の通りです。

設定	RGB シミュレーション
オフ	シミュレーションしません。
Adobe RGB（初期設定）	Adobe 社が定義する RGB 色
Apple RGB	Apple 社が定義する RGB 色
カスタム 1 ～ 10	EPSON PS Server の [カラーマネージャ設定] ダイアログで登録したカスタム RGB プロファイルで定義した RGB 色をシミュレーションします。 📖 Mac OS X：本書 150 ページ「カラーマネージャ設定」 📖 Windows：本書 70 ページ「カラーマネージャ設定」

！注意

本製品の CMYK/RGB シミュレーション機能をご利用いただく場合は、以下の点に留意してください。

- この機能を使用しても、必ずしも最終印刷物や RGB モニタと完全な色合わせが行えるわけではありません。出力機器（印刷機や RGB モニタ）には特性の違いや個体差があり、特定出力機器の色を完全にシミュレーションできないためです。
- 印刷物の色は、照明によって見え方が変化します。この機能は、D50 光源の照明下で印刷物を観測することを想定しています。
- アプリケーションソフト上でカラーマネージメント機能を設定する場合は、この機能は使用しないでください。

📖 本書 236 ページ「ソフトウェア上でのカラーマネージメント設定」

設定と印刷の手順

CMYK/RGB シミュレーションを行うには、以下の手順に従ってください。

参考

印刷を行うアプリケーションソフトや印刷条件により、手順が異なる場合があります。その場合は、アプリケーションソフトの取扱説明書をお読みください。また、必要に応じて手順中に表示されるその他の項目の設定を行ってください。

1 印刷するファイルを作成します。

- CMYK シミュレーションを行う場合は、色を CMYK カラーで指定して、ファイルを作成します。
- RGB シミュレーションを行う場合は、色を RGB カラーで指定して、ファイルを作成します。

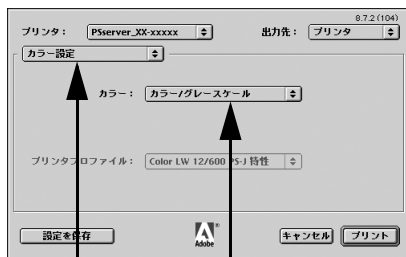
参考

Adobe 社の Photoshop などのアプリケーションソフトは、CMYK や RGB のカラープロファイルを選択することができます。シミュレーションするカラー専用のプロファイルを選択してから、ファイルを作成してください。詳細は、アプリケーションソフトの取扱説明書をお読みください。

2 [プリント] ダイアログを開きます。

📖 本書 191 ページ「印刷設定の手順」

- 3 [プリント] ダイアログの [印刷設定] メニューから [カラー設定] を選択し、[カラー] で [カラー／グレースケール] を選択します。



① 選択して ② 選択します

！注意

[ColorSync カラーマッチング] または [PostScript カラーマッチング] が選択されていると、CMYK シミュレーション機能は使用できません。必ず [カラー / グレースケール] を選択してください（[白黒] ではカラーシミュレーションされません）。

- 4 [プリント] ダイアログの [印刷設定] メニューから [プリンタの固有機能] を選択します。



選択します

プリンタの機種によって画面は異なります。

- 5 [インク] で [カラー] を選択します。
[黒]または[グレースケール]を選択すると、CMYK シミュレーションは行われません。

6 [CMYK シミュレーション] および [RGB シミュレーション] で、シミュレーションの対象となる印刷機色のプロファイルを選択します。

- CMYK シミュレーションする場合は、以下のプロファイルから選択できます。

設定	CMYK シミュレーション
オフ	CMYK シミュレーション機能を使用しません。
DIC	大日本インキ化学工業株式会社のDIC 標準色をシミュレーションするプロファイルです。
SWOP	SWOP™ 出版印刷物をシミュレーションするプロファイルです。
Euro	ヨーロッパ (Eurostandard) の印刷物をシミュレーションするプロファイルです。
TOYO	東洋インキ製造株式会社の東洋インキ標準色をシミュレーションするプロファイルです。
JMPA	雑誌広告基準カラー (JMPA カラー) をシミュレーションするプロファイルです。
JapanColor2001 (初期設定)	Japan Color 色再現印刷 2001 に準拠
カスタム 1 ～ 10	EPSON PS Server の [カラーマネージャ設定] ダイアログで登録したカスタム CMYK プロファイルで定義している印刷色をシミュレーションします。  Mac OS X : 本書 150 ページ「カラーマネージャ設定」  Windows : 本書 70 ページ「カラーマネージャ設定」

- RGB シミュレーションする場合は、以下のプロファイルから選択できます。

設定	RGB シミュレーション
オフ	シミュレーションしません。
Adobe RGB (初期設定)	Adobe 社が定義する RGB 色
Apple RGB	Apple 社が定義する RGB 色
カスタム 1 ～ 10	EPSON PS Server の [カラーマネージャ設定] ダイアログで登録したカスタム RGB プロファイルで定義した RGB 色をシミュレーションします。  Mac OS X : 本書 150 ページ「カラーマネージャ設定」  Windows : 本書 70 ページ「カラーマネージャ設定」

参考

- CMYK データであれば CMYK シミュレーションが行われ、RGB データであれば RGB シミュレーションが行われます。
- シミュレーションを行わない場合は (プリンタ本来の色で印刷する場合は)、[オフ] を選択してください。
- アプリケーションソフト上でカラーマネージメント機能を設定する場合は、必ず [オフ] を選択してください。両方の機能を同時に使用すると、2 重にカラー補正されて正しい色で印刷できません。
 本書 236 ページ「ソフトウェア上でのカラーマネージメント設定」
- カスタムプロファイルを EPSON PS Server に登録する方法については、以下のページをお読みください。
 Mac OS X : 本書 150 ページ「カラーマネージャ設定」
 Windows : 本書 70 ページ「カラーマネージャ設定」

7 [プリント] をクリックして印刷を実行します。

フチなし印刷を行うには

通常の印刷では、プリンタの構造上どうしても用紙の四辺に余白ができてしまい、用紙いっぱいに印刷することができません。本機のフチなし印刷機能を使用すると、用紙の四辺または左右にフチ（余白）のない印刷が可能になります。操作の手順は以下のページをお読みください。

📖 本書 218 ページ「フチなし印刷の手順」

フチなし印刷が可能な用紙とサイズ

本製品でフチなし印刷が可能な用紙とサイズは、お使いのプリンタの機種によって異なります。使用する用紙の種類に合わせて「用紙種類」を設定し、詳細オプションの「フチなし」をオンに設定します。フチなし印刷が可能な用紙と用紙サイズは、プリンタの機種により異なります。詳細については、プリンタの取扱説明書を参照してください。

参考

- 以下のエプソン純正専用紙をお使いいただくことをお勧めします。下記以外の組み合わせでは、プリントヘッドがこすれて印刷結果が汚れるおそれがあります。
- 市販の用紙をお使いいただく場合、対応する「用紙種類」の設定については、用紙の取扱説明書をお読みください（不明な場合は、用紙メーカーにお問い合わせください）。用紙によっては、プリントヘッドがこすれて印刷結果が汚れるおそれがあります。試し印刷することをお勧めします。

カスタム用紙サイズでのフチなし印刷に関するご注意

カスタム用紙サイズでフチなし印刷を行うには、実際に使用する用紙より大きなサイズを「カスタムページ設定」で作成する必要があります。

下記の例のように、実際に使用する用紙より、縦 / 横それぞれ 0.6cm（上下左右、各辺 0.3cm）大きなサイズを「カスタムページ設定」で作成、登録し、「ページ属性」ダイアログの「用紙」で登録した用紙サイズを選択してフチなし印刷を行ってください。

📖 本書 192 ページ「「ページ属性」ダイアログ」

<例> A4（21.0 × 29.7cm）サイズの用紙にフチなし印刷を行う場合

カスタムページ名	用紙サイズ*		余白（左右上下）*
A4 フチなし	幅：21.6cm Offset：0cm	高さ：30.3cm Offset：0cm	0cm

* 「追加」をクリックすると、入力した数値は設定できる近似値に自動的に変わる場合があります。

参考

- [カスタムページ名] には、フチなし印刷用サイズであることがわかる名前を付けることをお勧めします。
- フチなし印刷用のカスタム用紙サイズを作成する場合、[Offset]（幅 / 高さ）と [余白]（上下左右）を必ず 0 cm（0 インチ）に設定してください。
- フチなし印刷を行う印刷データは、使用するカスタム用紙サイズいっばいにアプリケーションソフトで作成してください。
- カスタム用紙サイズでのフチなし印刷の場合、[ページ属性ダイアログ] の [方向] の設定に関わらず、用紙の短辺から出力されます。
- ユーザー定義サイズでフチなし印刷ができる用紙サイズは、定型紙と同じ用紙幅の場合のみです。

通常のフチなしは、「自動拡大（標準 / 多い / 少ない）」を選択ください。原寸維持のふちなしを行う場合にカスタム用紙サイズを作成して使用してください。

フチなし印刷の手順

フチなし印刷の詳細については各プリンタの取扱説明書を参照してください。
PX-5500、PX-6500 の場合、「自動拡大」と「カスタム設定（原寸維持）」の 2 種類があります。

設定	説明
自動拡大（標準） 自動拡大（多い） 自動拡大（少ない）	印刷するデータを印刷用紙のサイズより左右に拡大し、はみ出させることでフチなし印刷します。上下は左右と同じ比率で拡大します。 自動的に印刷データを拡大して印刷するため、簡単にフチなし印刷ができます。ただし、はみ出した部分（左右拡大分、上下は用紙サイズを越えた部分）は印刷されません。 左右に拡大・はみ出す量は、次の通りです。 • 自動拡大（標準）：左右 3mm • 自動拡大（多い）：左 3mm、右 5mm（印刷データの中心は右に 1mm 偏ります。） • 自動拡大（少ない）：左右 1.5mm 印刷データの作成時、次の点に注意してください。 • 用紙サイズいっばいになるよう、印刷データを作成します。 • 余白設定ができる場合、余白を 0mm に設定します。
カスタム設定（原寸維持）	印刷するデータのサイズは変えません。 あらかじめ、アプリケーションソフト側で、実際の用紙サイズより大きめに印刷データを作成しておくことでフチなし印刷を実現します。 通常、実際のサイズより左右 3mm（合計 6mm）はみ出すように印刷データを作成します。 上下方向の長さはカット方法によって変わります。 印刷データの作成時、次の点に注意してください。 • 用紙サイズより左右各 3mm（計 6mm）広くなるよう、印刷データを作成します。 • 余白設定ができる場合、余白を 0mm に設定します。

プリンタの機種により、フチなし印刷後の用紙カットの方法が異なります。

PX-5500

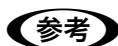
ロール紙の場合は左右フチなし印刷となり、印刷後にカットする必要があります。単票紙の場合は四辺フチなし印刷となります。

PX-6500

ロール紙のフチなし印刷の場合、設定によってオートカット（上端・下端を自動的にカットします）の動作が異なります。

設定	説明
左右フチなし	左右フチなし印刷の場合、ページの上端と下端の余白の部分で用紙をカットします。
四辺フチなし（1 カット）	四辺フチなし印刷した各ページを、1 回でカットします。 カット位置がずれていると、連続するページの画像がわずかに上下端に残ることがありますが、「四辺フチなし（2 カット）」より印刷時間は短くなります。 複数部数を連続して印刷する場合、1 枚目の上端と連続部の下端のみ、余白が残らないよう 1mm 内側をカットします。
四辺フチなし（2 カット）	四辺フチなし印刷で 1 ページ分の印刷が終わると、用紙の下端をカットした後、自動的に紙送りを行い、次ページの上端をカットします。このため紙送りの分（80 ～ 130mm 程）切れ端が生じますが、より正確にカットします。 上下端に余白が残らないよう、画像の内側でカットしますので、指定サイズより 2mm 程度短くなります。

フチなし印刷を行うには、以下の手順に従ってください。



アプリケーションソフトによっては、連続のフチなし印刷ができないものがあります。

- 1 お使いのプリンタの機種に応じて、フチなし印刷可能な種類とサイズの紙（定形紙、ロール紙、単票紙）を用意し、プリンタにセットします。

📖 本書 217 ページ「フチなし印刷が可能な用紙とサイズ」



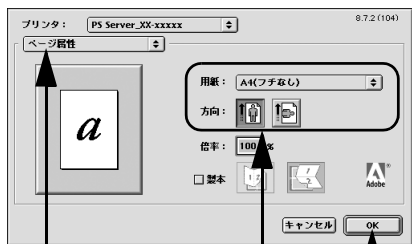
PX-5500 の場合、定形紙ではフチなし印刷できません。「用紙サイズ」で「PostScript カスタムページサイズ」を選択し、用紙サイズを指定する必要があります。

- 2 アプリケーションソフトで、1 で用意した用紙サイズに合わせて印刷データを作成します。

- 用紙サイズの設定方法やデータの作成方法については、アプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。
- 原寸維持の場合は予め左右 6mm 上下任意（カット方法による）のサイズのデータを作成する必要があります。

- 3 用紙設定ダイアログの「ページ属性」ダイアログを開いて、「用紙」を選択し、「方向」も選択してから「OK」をクリックしてダイアログを閉じます。

☞ 本書 217 ページ「フチなし印刷が可能な用紙とサイズ」



- ① 選択し
② 選択して
③ クリックします

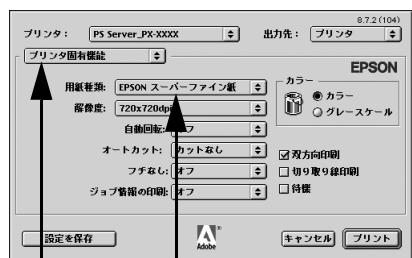
参考

アプリケーションソフトで作成した印刷データの寸法に合わせて、「用紙」（サイズ）と「方向」を設定します。ロール紙を使用する場合、ロール紙幅より狭い「用紙」（サイズ）を選択した場合、右側はフチなしとなるように手動でカットしてください。

- 4 「印刷」ダイアログの「プリンタの固有機能」ダイアログを開き、「用紙種類」を選択します。

- ① でセットした用紙の種類に合わせて、「用紙種類」を選択します。
- お使いのプリンタの機種に応じて、選択できる「用紙種類」は異なります。

☞ 本書 217 ページ「フチなし印刷が可能な用紙とサイズ」

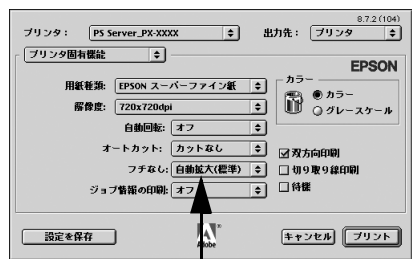


- ① 選択して
② 選択します

- 5 「フチなし」を選択します。

設定は「オフ」、「カスタム設定（原寸維持）」、「自動拡大（標準）」、「自動拡大（多い）」、「自動拡大（少ない）」から選択できます。

☞ 本書 207 ページ「フチなし」



確認します

- 6 必要に応じて他のタブの画面で印刷に必要な項目を設定し、「プリント」をクリックして印刷を実行します。

EPSON PS Manager について

EPSON PS Manager の概要

EPSON PS Manager は EPSON PS Server に接続して、印刷ジョブを管理するためのユーティリティソフトです。

EPSON PS Manager にはアプリケーション版と Web 版の 2 種類があります。接続する EPSON PS Server の OS 環境によって使い分けてください。

EPSON PS Server の OS (プリントサーバまたはスタンドアロン接続)	EPSON PS Manager の種類
Windows2000/XP	アプリケーション版 EPSON PS Manager 通常のアプリケーションとして、インストールしたコンピュータ上で動作します。
Mac OS X	Web 版 EPSON PS Manager Web アプリケーションとして、Web ブラウザ上で動作します。 <使用可能ブラウザ>(最新バージョンのご利用をお勧めします) Windows : IE4.0 以降 Mac OS X : Safari1.0 以降 Mac 9 : IE4.0 以降

起動

EPSON PS Manager の起動手順は次の通りです。

- 1 EPSON PS Manager を起動する前に、次のようにします。**
 - EPSON PS Server で印刷するプリンタが使用可能な状態になっていること（正しく接続され、電源がオンになっていること）を確認します。
 - EPSON PS Server を起動します。
- 2 次の手順で EPSON PS Manager を起動します。**
 - Windows2000/XP
Windows 上で [スタート] をクリックし、表示されるメニューから [すべてのプログラム] - [EPSON] - [CPS ソフトリッパ Plus3] - [EPSON PS Manager] の順に選択、クリックします。
 - Mac OS X、Mac OS 9
EPSON PS Server をインストールした起動ディスク内の [アプリケーション] フォルダにある [EPSON PS Manager] アイコンをダブルクリックします。

3 ポップアップメニューにサーバの一覧が表示されるので、接続したいサーバ（EPSON PS Server）を選択します。

接続したいサーバが表示されない場合は、サーバのホスト名または IP アドレスを入力します。



① 選択して

② クリックします



① 選択して

② クリックします

4 パスワード入力画面が表示されます。

- 初期状態では、パスワードは設定されていませんので、そのまま [OK] をクリックします。
- Web 版 EPSON PS Manager では、パスワード設定されていないときにはそのままブラウザが開きます。



パスワードを設定する場合、プリントサーバの EPSON PS Server で、[編集] メニュー - [初期設定] (Windows) / [環境設定] (Mac OS X) - [クライアントパスワードの設定] (Windows) / [クライアントパスワード] (Mac OS X) で設定します。

📖 Windows：本書 62 ページ「初期設定」

📖 Mac OS X：本書 140 ページ「環境設定」

5 EPSON PS Manager が起動し、次の画面が表示されます。

画面中央には、EPSON PS Server に送られた印刷ジョブの一覧が表示されています。画面のメニューやボタンをクリックして、印刷ジョブや印刷の設定を行います。

【アプリケーション版 EPSON PS Manager】



【Web 版 EPSON PS Manager】



終了方法

EPSON PS Server の OS (プリントサーバまたはスタンドアロン接続)	EPSON PS Manager の種類
アプリケーション版 EPSON PS Manager での操作	メニューバーの [ファイル] - [終了] をクリックします。
Web 版 EPSON PS Manager での操作	Web ブラウザを終了します。

EPSON PS Manager の操作

アプリケーション版 EPSON PS Manager と Web 版 EPSON PS Manager は基本的な操作方法や機能は同じです。



【ジョブ一覧表示画面】

PS Manager には EPSON PS Server にスプールされた印刷ジョブの一覧が表示されます。

列名	表示内容
ジョブ名	印刷状態を示すアイコンと、ジョブのファイル名を表示します。
状態	ジョブの状態を表示します。表示する状態は以下のとおりです。「印刷中」と「プレビュー準備中」は進行状況をパーセント（％）で表示します。 • 待機 • スプール中 • 印刷待ち • 印刷中 • プレビュー待ち • プレビュー準備中 • フォーマット異常 • PS エラー • 用紙切れ
ユーザ名	ジョブのファイルを印刷したユーザ名を表示します。
スプール時刻	ジョブのファイルを印刷した時刻を、「時：分：秒」で表示します。
サイズ	ジョブのファイルサイズを表示します。
フォーマット	ジョブのファイル形式を表示します。表示する形式は以下のとおりです。これら以外の形式は「不明」と表示されます。 • PostScript • PDF • EPS • TIFF • JPEG



- PS エラーとなったジョブに対しては「PS エラー」と表示されますが、プリンタエラーとなったジョブは、印刷済みと同様に「待機」と表示されます。
- アプリケーション版 EPSON PS Manager の場合、印刷済みジョブは「待機」と表示されます。印刷時に、[待機] を [オン] に設定した印刷ジョブは、印刷が完了していない状態でも「待機」と表示されますの。ジョブ名や日時でご判断ください。

【基本操作ボタン】

ボタン	名前	機能
	中止	選択したジョブの印刷またはプレビューを中止して、待機状態にします。
	削除	選択したジョブを削除します。
	印刷	選択した待機状態のジョブの印刷を再開します。
	プレビュー準備	選択したジョブに対して、プレビュー用リッピングを開始します。選択したジョブがプレビュー用リッピングを完了していない場合に有効になります。
	プレビュー表示	〔プレビュー〕画面を表示し、選択したジョブのプレビューを表示します。選択したジョブがプレビュー用リッピングを完了している場合に有効になります。
	印刷設定	〔印刷設定〕画面を表示します。選択したジョブの印刷設定をします。
	優先度を上げる	優先度を変更してもジョブ一覧上での表示位置は変わりません。
	優先度を下げる	優先度を変更してもジョブ一覧上での表示位置は変わりません。
	最新の情報に更新	ジョブの一覧を更新します。

【その他の機能】

① サーバ設定

接続している EPSON PS Server とプリンタの情報を表示する機能です。

アプリケーション版 EPSON PS Manager での操作	メニューバーの〔設定〕－〔サーバ設定〕をクリックし、〔全般〕タブをクリックします。
Web 版 EPSON PS Manager での操作	〔サーバ設定〕をクリックします。

② プリンタ初期設定

接続している EPSON PS Server の〔プリンタ初期設定〕の内容を表示します。
設定したい項目をクリックすると、ポップアップメニューが表示され設定値を変更することもできます。
プリンタによって設定項目が異なります。各設定項目については次のページを参照してください。

📖 本書 145 ページ「プリンタ初期設定」

アプリケーション版 EPSON PS Manager での操作	メニューバーの〔設定〕－〔サーバ設定〕をクリックし、〔デフォルト〕タブをクリックします。
Web 版 EPSON PS Manager での操作	〔プリンタ初期設定〕をクリックします。

③ メッセージを表示 (Web 版 EPSON PS Manager のみ)

EPSON PS Server やプリンタのエラーやワーニングメッセージを確認できます。

Web 版 EPSON PS Manager での操作	[メッセージを表示] をクリックします。
-----------------------------	----------------------

④ イメージ (サムネイル) 表示 (Web 版 EPSON PS Manager のみ)

ジョブ一覧の [イメージ] に印刷ジョブにサムネイル画像を表示させます。

[イメージ] にサムネイルを表示すると、どのような印刷ジョブかわかりやすくなりますが、多量のサムネイル表示を行うと、Web ブラウザ表示に時間がかかることがあります。

また、長尺印刷など、用紙サイズの大きなデータはサムネイル表示できない場合があります。

Web 版 EPSON PS Manager での操作	ジョブ一覧の [イメージ] 欄  をクリックします。
-----------------------------	---

⑤ EPSON PS Folder のダウンロード (Web 版 EPSON PS Manager を Mac OS X から起動時のみ)

本機能は、MacOS9 では使用できません。

！ 注意

Web 版 EPSON PS Manager について

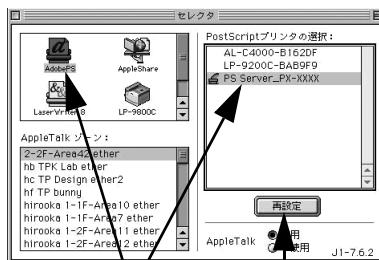
- Web 版 EPSON PS Manager を使用するには、次のブラウザが標準のブラウザに設定されている必要があります。
使用可能ブラウザ (※最新バージョンのご利用をお勧めします)
Windows : IE4.0 以降
Mac OS X : Safari1.0 以降
Mac 9 : IE4.0 以降
- Web 版 EPSON PS Manager は、起動時に Web ブラウザを呼び出します。起動時にキャンセル操作を行うと、この Web ブラウザの実行は中止されますが、EPSON PS Manager 自体は起動してしまいます。この場合には、タスクバーなどで起動している EPSON PS Manager を手動で終了する必要があります。
- Web 版 EPSON PS Manager のジョブ一覧画面では、表示順序をソートしたり、自動更新の時間を設定したりすることができますが、これらの設定条件は保存されません。Web ブラウザの表示を更新したり、EPSON PS Manager を再起動すると初期設定に戻ります。

インク情報の更新方法

フォトブラックとマットブラックなど、異なる種類のブラックインクの交換を行った場合には、インク情報の更新を行う必要があります。下記の手順に従って更新作業を行ってください。なお、ブラックインク種類変更の手順については、プリンタの取扱説明書を参照してください。

① [アップルメニュー] から [セレクト] を選択し、セレクト画面を起動します。

② [Adobe PS] ドライバを選択して使用しているプリンタを選択し、[再設定] をクリックします。



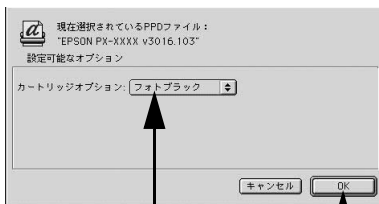
①選択して ②クリックします

③ [オプションの構成] をクリックします。



クリックします

④ [カートリッジオプション] で、プリンタにセットされているインクを選択して [OK] をクリックします。



①選択して ②クリックします

以上で更新作業は終了です。



付録

- RGB カラー印刷について 229
- 困ったときは 231
- 本製品をアンインストールしたい 235
- ソフトウェア上でのカラーマネージメント設定 236
- 用紙種類 / 解像度と ICC プロファイルの一覧 237
- インストールされるファイル、フォルダ 240

RGB カラー印刷について

本製品にはCMYK印刷用 / RGB印刷用の2種類のPPDファイルが用意されています。通常はCMYK用 PPD ファイルを使用してください。
CMYK 用 PPD ファイルを使用して RGB データを印刷した場合でも、CMYK シミュレーション・RGB シミュレーションによる印刷確認ができます。
RGB データの印刷時、プリンタに同梱されている標準プリンタドライバに近い印刷を行いたい場合には、RGB 用 PPD ファイルを使用してください。(RGB 用の PPD ファイルを使用時には本製品の機能が限定されます。)

- ・ **RGB データを、より豊かな諧調表現で印刷したい場合**
RGB データを CMYK 印刷すると、標準プリンタドライバに比べて階調性が悪くなる場合があります。より諧調性を重視した印刷を行いたい場合は、RGB 用の PPD ファイルを使用してください。
- ・ **標準プリンタドライバの仕上がりに近い印刷をしたい場合**
RGB 用 PPD ファイルを使用すると、標準プリンタドライバの色補正方法を選択することができます。
標準プリンタドライバの出力結果をそのまま大きなサイズにPostScript印刷したい場合などに、RGB 用 PPD ファイルを使用します。

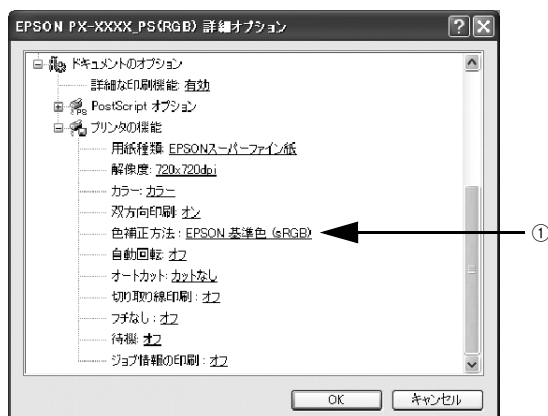
RGB 印刷用 PPD ファイルの機能

RGB 用 PPD ファイルでは、標準プリンタドライバと同様の色補正方法が選択できます。その他の印刷設定はCMYK印刷用 PPD と同様です。以下のページを参照してください。
🔗 Windows：本書 44 ページ「[[詳細オプション] ダイアログ」
🔗 Mac OS X：本書 117 ページ「[[プリント] ダイアログ」
🔗 Mac OS 9：本書 198 ページ「[[プリント] ダイアログ」

① 色補正方法

設定	説明
自然な色合い	機種毎に EPSON 独自の色作りをしており、自然な発色状態になるように色処理をします。
あざやかな色合い	機種毎に EPSON 独自の色作りをしており、彩度を上げ、色味を強くする処理をします。
EPSON 基準色 (sRGB)	本プリンタドライバの初期値。sRGB の色基準に合わせた色処理をします。MAXART 従来機種との互換性を持っています。
Adobe RGB	Adobe RGB の色域を前提とした色処理をします

※ 標準プリンタドライバのような詳細設定（ガンマ値など）の値は変更できません。



！注意

RGB 用 PPD ファイルを使用した場合には、次の設定項目は使用できません。

- CMYK シミュレーション
- グレースケール制御
- RGB シミュレーション
- RGB レンダリングインテント

RGB 用 PPD ファイルのインストールについて

クライアントソフトのインストール時に、RGB 用 PPD ファイルを選択することで、RGG カラー印刷が可能です。

- 🔗 セットアップガイド「Windows でのセットアップ」
- 🔗 セットアップガイド「Mac OS X でのセットアップ」
- 🔗 セットアップガイド「Mac OS 9 でのセットアップ」

CMYK 用、RGB 用、それぞれのプリンタドライバを追加しておけば、必要に応じてどちらか使い分けていただくこともできます。

困ったときは

ここでは困ったときの対処方法について説明しています。また、本製品のバージョンアップが行われる場合があります。下記エプソンのホームページを確認して、最新のバージョンのものを使用していただくことをお勧めします。

<http://www.i-love-epson.co.jp>

現象	説明と対応
印刷をするとプリンタ本体の液晶パネルに「コマンドエラー」と表示され印刷できない (RIP の場合、RIP サーバで「不正なパラメータです」と表示される場合もあります)	プリンタに装着しているインク種類とプリンタドライバのインク情報が違う事により発生します。 EPSON PS Server 側で情報を更新し、プリンタドライバ側で正しいインク情報に更新してから再度印刷してください。 EPSON PS Server をインストールした環境が Windows の場合、EPSON PS Server のコンピュータに EPSON プリンタウィンドウ I3 がインストールされている必要があります。 上記の条件以外でコマンドエラーが発生した場合は、プリンタの電源を入れ直すなどして再度印刷してください。
フォントのインストールができない	EPSON PS Server をセットアップした環境が Windows の場合、フォントのインストールはできません。 Mac OS の場合はフォントのインストールが可能ですが、本製品ではフォントインストールのために設定する箇所はありません。 フォントの取扱説明書を再度確認してください。 また、他の Mac OS のクライアントでインストールを試してください。
Mac OS X をプリントサーバにした場合、LPR 経由で出力ができない	プリントサーバで [ファイアウォール] または [共有] が設定されていると、LPR 印刷時に使用するポートと同じポートが使用されてしまい、プリントサーバ側での印刷ができません。 プリントサーバの Mac OS X で上記の設定を確認し、設定されている場合、下記の手順で解除もしくはポート番号を許可する必要があります。 下記の作業はセキュリティに関わる内容です。必ずシステム管理者に確認してください。 1. Mac OS X の [システム環境設定] の画面で [共有] をクリックします。 2. [共有] 画面中央の [ファイアウォール] タブをクリックし、画面右側の [新規] をクリックします。 3. [ポート名] メニューから [その他] を選択し、[ポート番号] に 515 を入力します。 4. [OK] をクリックします。

現象	説明と対応
1 台の PC に 2 つのプリンタ用の CPS ソフトリッパー Plus3 をセットアップしたところ、PS Server が正常起動しない	CPS ソフトリッパー Plus3 は、一台のコンピュータに 1 つのみインストール可能です。異なるプリンタの CPS ソフトリッパー Plus3 をインストールする場合は、以前の CPS ソフトリッパー Plus3 をアンインストールしてからインストールし直してください。また、CPS ソフトリッパー Plus2 など他のプリンタのソフトリッパーをインストールしている場合も、以前のソフトリッパーをアンインストールしてから本製品をインストールし直してください。
CPS ソフトリッパー Plus3 が CD からインストールできない (Windows)	Windows 版は、CD-ROM ドライブが複数ある場合、一番若いドライブ番号のドライブからしかインストールできません。 一番若いドライブ番号のドライブにセットしてください。
CPS ソフトリッパー Plus3 を Windows にセットアップしたが、PS サーバから印刷できない (または PS ファイルがテキストで印刷される)	PS Port の設定が正しく行われているか確認してください。 プリンタのプロパティで、「EPSON*****_PS」のポートタブを開き、[PS Port] に設定してください。セットアップ時にポート指定をせず、初期値のままセットアップすると LPT1 ポートに設定されるため、PS サーバからは出力されません。 また、セットアップ時にプリンタが物理的に接続されているポートに設定した場合、PS ファイルがテキストで印刷されます。
Mac OS X クライアントから CPS ソフトリッパー Plus3 の PS Server へ印刷時、インクセットは目的の用紙に対応しているのに、プリンタドライバでその用紙が選択できない (例：インクセットはフォトブラックで、EPSON 写真用紙を選択しようとした場合など)	用紙の種類により、指定可能な解像度があります。Mac OS X の場合、そのとき指定している解像度に対応していない用紙はグレーアウト表示され、選択できません。先に解像度の設定を変更してから、用紙種類を選択し直してください。
Mac OS X からの印刷時、カスタム用紙サイズで正常に印刷できない	Mac OS X 10.2.X の場合、カスタム用紙サイズには対応していません。
Mac OS 9 のクライアントから印刷したいが、セレクトにプリンタが表示されない	TCP/IP (LPR) 接続の場合、セレクトからプリンタは見えません。セレクトで AdobePS を選択し、用紙設定や印刷ダイアログで該当プリンタ名を選択するようにしてください。 また、Mac OS9 で LPR 印刷するには、デスクトップユーティリティの設定が必要です。
Windows 版で SMB (プリンタ共有) 接続の場合、クライアント側が User 権限でログインしてもその権限で印刷できない	SMB 印刷時には Administrator 権限でユーザーを定義して使用してください。
直接印刷できない	直接印刷は、特定の形式のファイルでのみ可能です。また、次のファイルでは直接印刷できません。 Adobe Illustrator で作成した PDF ファイル、プレビュー付き EPS ファイル、オプションありの TIFF ファイル、16bitTIFF ファイル、TIFF zip 圧縮ファイル等。

現象	説明と対応
Mac OS X で PS Server を起動すると「パーソナル Web 共有が動作していません。」と表示される	Web 版 PS Manager を利用するには、Mac OS X の [パーソナル Web 共有] をオンにする必要があります。[システム設定] - [共有] - [サービス] タブ画面の [パーソナル Web 共有] をオンにしてください。(設定を変更する場合に、管理者の権限が必要になります。) Web 版 PS Manager を利用すると、ジョブの情報が Web 上に公開されます。セキュリティを確保するため、PS Server の [環境設定] にある [クライアント パスワード] を設定することをお勧めします。
Web 版 PS Manager を表示するとき、ブラウザで次のエラーが表示される 「Connecting to *****.local: Host not found」	プロキシサーバが構築されている環境で表示されるエラーです。 エラーに表示されるホスト名を [システム設定] - [ネットワーク] - [プロキシ] タブ画面の [プロキシ設定を使用しないホストとドメイン] に登録してください。
プリントサーバが Mac OS X の場合、AppleTalk が利用できない	[システム設定] - [ネットワーク] の [AppleTalk 使用] がオンになっていることを確認してください。また、PS Server の [環境設定] - [AppleTalk] タブ画面で、エラーが表示されていないか確認してください。
プリントサーバが Mac OS X で、接続する Web 版 PS Manager のアドレスが分からない	Mac OS X 上で、PS Server の [環境設定] - [HTTP] タブ画面に記載されている URL を使用してください。
Mac OS の Rendezvous を変更しても、PS Server の Rendezvous 名が変更されない	OS の再起動が必要です。再起動後に PS Server を起動すると新しい Rendezvous 名になります。
Windows XP SP2 上で、PS Server 起動時に、セキュリティセンターが起動する	Windows 上で、[スタート] - [コントロールパネル] - [ファイアウォール] - [例外] タブ画面で [プログラムの追加] をクリックし、EPSON PS Server を、例外プログラムに登録してください。
標準ドライバと同じ色合いで印刷したい	[プリンタの追加] で、RGB の PPD ファイルを選択してください
カラーマネージャで設定したプロファイルで印刷できない	RGB の PPD ファイルが選択されています。[プリンタの追加] で CMYK の PPD を選択してください。
CMYK、RGB シミュレーションがドライバから選択できない	RGB の PPD ファイルが選択されています。[プリンタの追加] で CMYK の PPD ファイルを選択してください。
印刷時に [待機] を設定しても、印刷されてしまう	AppleTalk 接続の場合、[待機] は機能しません。LPR 接続で使用してください。
次のメッセージが表示される 「ブラウザは Internet Explorer の最新バージョンをお使いください。」 「ブラウザは Safari の最新バージョンをお使いください。」	お使いのコンピュータで使用しているブラウザが、Web 版 PS Manager の対象外のバージョンです。レイアウトが正常に表示されない等の問題が発生する可能性があるため、推奨するバージョン以上のブラウザで使用してください。

現象	説明と対応
エラーメッセージ「range check」が表示される	プリンタの仕様から外れている設定がされている場合に発生します。印刷が、本製品のクライアントソフトウェア（PS ドライバ）で行われているか確認してください。
エラーメッセージ「Limit check」が表示される	処理の限界を超えた場合に起きます。出力解像度を下げる / パスを単純にするなどして、負担を軽くして印刷してください。
エラーメッセージ「ハーフトーンモジュールの初期化に失敗しました」が表示される	EPSON PS Server とプリンタとの接続に問題が生じています。 また、インクセット（フォトブラック / マットブラック）が変更された後、EPSON PS Server でインク情報の更新がされていない可能性があります。 EPSON PS Server の [編集] - [プリンタの再選択] を行って、プリンタと接続し直してください。

本製品をアンインストールしたい

Windows XP

Windows の [コントロールパネル] - [プログラムの追加と削除] で、次のプログラムを削除します。

- EPSON PS Server
- EPSON PS Manager
- EPSON PS Utility
- EPSON PS Port Monitor

Mac OS X

本製品の CD-ROM をコンピュータにセットし、CD-ROM のアイコンをダブルクリックし、[OSX インストーラ] フォルダを開いて [EPSON PS Server アンインストーラ] をダブルクリックします。

Mac OS 9

本製品の CD-ROM をコンピュータにセットし、表示される画面で [アンインストーラ] をクリックします。

ソフトウェア上でのカラーマネージメント設定

カラーマネージメント機能のあるアプリケーションソフト上でカラーマネージメント機能を使用する場合は、本製品の [CMYK シミュレーション] と [RGB シミュレーション] を必ず [オフ] にしてから印刷を実行してください。ソフトウェアのカラーマネージメント機能と本製品の CMYK/RGB シミュレーション機能を同時に使用すると、正しい色合いで印刷することができなくなります。

📖 本書 214 ページ「設定と印刷の手順」

各プリンタ用 ICC プロファイルについて (Mac OS 9、Mac OS X の場合)

本製品には、お使いのプリンタで利用できるエプソン純正専用紙ごとの ICC プロファイルが添付されています。アプリケーションソフト上でカラーマネージメント機能を使用する場合は、使用する用紙種類に対応する ICC プロファイルを選択してください。

参考

- ICC プロファイルは、本製品をインストールする際に、自動的に起動ディスク内の [ColorSync™ 特性] または [ColorSync プロファイル] フォルダ* 内にインストールされます。
* フォルダ名は Mac OS のバージョンによって異なります。
- アプリケーションソフトによっては、リストに表示されるプロファイル名が下記の ICC プロファイル名とは異なる場合があります。
- ソフトウェア上でのカラーマネージメント機能の設定方法、ICC プロファイルの選択方法などについての詳細は、各アプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。
- 本製品に含まれる一部の ICC プロファイルは、GretagMacbeth ProfileMaker で作成されています。

用紙種類 / 解像度と ICC プロファイルの一覧

PX-5500 用の用紙種類と、その対応 ICC プロファイル名

用紙種類 _ 対応する解像度	ICC プロファイル名	
	フォトブラックインク	マットブラックインク
EPSON スーパーファイン紙 _1440x720	CPS PX5500 Super Fine Paper_PK.icc	CPS PX5500 Super Fine Paper_MK.icc
EPSON フォトマット紙 / 顔料 _1440x720	CPS PX5500 Matte Paper Pigment_PK.icc	CPS PX5500 Matte Paper Pigment_MK.icc
EPSON フォトマット紙 / 顔料 _1440x1440	CPS PX5500 Matte Paper Pigment_PK.icc	CPS PX5500 Matte Paper Pigment_MK.icc
EPSON 写真用紙 _1440x720	CPS PX5500 Photo Paper(G).icc	-
EPSON 写真用紙 _1440x1440	CPS PX5500 Photo Paper(G).icc	-
EPSON 写真用紙 _2880x1440	CPS PX5500 Photo Paper(G).icc	-
EPSON 写真用紙 [絹目調] _1440x720	CPS PX5500 Photo Paper(SG).icc	-
EPSON 写真用紙 [絹目調] _1440x1440	CPS PX5500 Photo Paper(SG).icc	-
EPSON 写真用紙 [絹目調] _2880x1440	CPS PX5500 Photo Paper(SG).icc	-
PX ブルーフ用紙 [微光沢] _1440x720	CPS PX5500 PX Proof(SM).icc	-
PX ブルーフ用紙 [微光沢] _1440x1440	CPS PX5500 PX Proof(SM).icc	-
EPSON 画材用紙 / 顔料 _1440x720	-	CPS PX5500 WCPaper Pigment.icc
EPSON 画材用紙 / 顔料 _1440x1440	-	CPS PX5500 WCPaper Pigment.icc
Velvet Fine Art Paper _1440x720	-	CPS PX5500 Velvet Fine Art.icc
Velvet Fine Art Paper _1440x1440	-	CPS PX5500 Velvet Fine Art.icc
UltraSmooth Fine Art Paper _1440x1440	-	CPS PX5500 USmoothFineArt.icc
普通紙 _720x720	CPS PX5500 Standard_PK.icc	CPS PX5500 Standard_MK.icc
郵便ハガキ (インクジェット紙) _1440x720	CPS PX5500 Standard_PK.icc	CPS PX5500 Standard_MK.icc

PX-6500 用の用紙種類と、その対応 ICC プロファイル名

用紙種類 _ 対応する解像度	ICC プロファイル名	
	フォトブラックインク	マットブラックインク
EPSON スーパーファイン紙 _720x360	CPS PX6500 Super Fine Paper_PK_L.icc CPS PX6500 Super Fine Paper_PK.icc	CPS PX6500 Super Fine Paper_MK_L.icc CPS PX6500 Super Fine Paper_MK.icc
EPSON スーパーファイン紙 _720x720		
EPSON スーパーファイン紙 _1440x720		
PX マット紙 [薄手] _720x360	CPS PX6500 Super Fine Paper_PK_L.icc CPS PX6500 Super Fine Paper_PK.icc	CPS PX6500 Super Fine Paper_MK_L.icc CPS PX6500 Super Fine Paper_MK.icc
PX マット紙 [薄手] _720x720		
PX マット紙 [薄手] _1440x720		
PX/MC プレミアムマット紙 _720x720	CPS PX6500 PXMC Matte_PK.icc	CPS PX6500 PXMC Matte_MK.icc
PX/MC プレミアムマット紙 _1440x720		
PX/MC プレミアムマット紙 _2880x1440		
EPSON フォトマット紙 / 顔料 _720x720	CPS PX6500 Super Fine Paper_PK.icc	CPS PX6500 Super Fine Paper_MK.icc
EPSON フォトマット紙 / 顔料 _1440x720		
EPSON フォトマット紙 / 顔料 _2880x1440		
MC フォトスタンダード紙 [光沢] _720x720	CPS PX6500 MC Photo Std(G).icc	-
MC フォトスタンダード紙 [光沢] _1440x720		
MC フォトスタンダード紙 [光沢] _2880x1440		
MC フォトスタンダード紙 [半光沢] _720x720	CPS PX6500 MC Photo Std(SG).icc	-
MC フォトスタンダード紙 [半光沢] _1440x720		
MC フォトスタンダード紙 [半光沢] _2880x1440		
EPSON 写真用紙 _1440x720	CPS PX6500 Photo Paper(G).icc	-
EPSON 写真用紙 _2880x1440		
EPSON 写真用紙 [絹目調] _1440x720	CPS PX6500 Photo Paper(SG).icc	-
EPSON 写真用紙 [絹目調] _2880x1440		
PX/MC 写真用紙 [厚手 絹目] _720x720	CPS PX6500 PXMC Photo(L).icc	-
PX/MC 写真用紙 [厚手 絹目] _1440x720		
PX/MC 写真用紙 [厚手 絹目] _2880x1440		
PX/MC 写真用紙 [厚手 光沢] _720x720	CPS PX6500 PXMC Photo(G).icc	-
PX/MC 写真用紙 [厚手 光沢] _1440x720		
PX/MC 写真用紙 [厚手 光沢] _2880x1440		
PX/MC 写真用紙 [厚手 半光沢] _720x720	CPS PX6500 PXMC Photo(SG).icc	-
PX/MC 写真用紙 [厚手 半光沢] _1440x720		
PX/MC 写真用紙 [厚手 半光沢] _2880x1440		
PX/MC 写真用紙 [厚手 微光沢] _720x720	CPS PX6500 PXMC Photo(SM).icc	-
PX/MC 写真用紙 [厚手 微光沢] _1440x720		
PX/MC 写真用紙 [厚手 微光沢] _2880x1440		
PX ブルーフ用紙 [微光沢] _720x720	CPS PX6500 PXMC Photo(SM).icc	-
PX ブルーフ用紙 [微光沢] _1440x720		
PX ブルーフ用紙 [微光沢] _2880x1440		

用紙種類 _ 対応する解像度	ICC プロファイル名	
	フォトブラックインク	マットブラックインク
EPSON 画材用紙 / 顔料 _720x720	CPS PX6500 Watercolor_PK.icc	CPS PX6500 Watercolor_MK.icc
EPSON 画材用紙 / 顔料 _1440x720		
Textured Fine Art/ コットン画材 _1440x720	CPS PX6500 PXMC Cotton_PK.icc	CPS PX6500 PXMC Cotton_MK.icc
Textured Fine Art/ コットン画材 _2880x1440		
Velvet Fine Art Paper_1440x720	CPS PX6500 Velvet Fine Art_PK.icc	CPS PX6500 Velvet Fine Art_MK.icc
Velvet Fine Art Paper_2880x1440		
UltraSmooth Fine Art Paper_1440x720	CPS PX6500 USmoothFineArt_PK.icc	CPS PX6500 USmoothFineArt_MK.icc
UltraSmooth Fine Art Paper_2880x1440		
普通紙 _360x360	CPS PX6500 Standard_PK_L.icc CPS PX6500 Standard_PK.icc	CPS PX6500 Standard_MK_L.icc CPS PX6500 Standard_MK.icc
普通紙 _720x360		
普通紙 _720x720		
予約 1 _720x720	CPS PX6500 Reserve_1.icc	-
予約 1 _1440x720		
予約 1 _2880x1440		
予約 2 _720x720	CPS PX6500 Reserve_2.icc	-
予約 2 _1440x720		
予約 2 _2880x1440		
予約 3 _720x720	-	CPS PX6500 Reserve_3.icc
予約 3 _1440x720		
予約 3 _2880x1440		
予約 4 _720x720	-	CPS PX6500 Reserve_4.icc
予約 4 _1440x720		
予約 4 _2880x1440		

インストールされるファイル、フォルダ

本製品のインストール時に指定したインストール先のフォルダや所定のフォルダには、本製品をお使いいただく上で必要な様々なファイルやフォルダが入っています。すべて本製品が印刷を行う際に必要となるファイル・フォルダです。以下代表的なファイルについて説明します。

■ EPSON PS Server

本製品の本体アプリケーションソフトウェアです。印刷をする前に、必ず起動します。クライアントインストールの場合は、インストールされません。

■ EPSON PS Manager

EPSON PS Server の印刷ジョブを管理・コントロールするユーティリティソフトウェアです。EPSON PS Manager を使うと、以下のことができます。

- 印刷ジョブの再印刷、印刷設定の変更が可能。
- 印刷ジョブのプレビュー（サムネイル）表示が可能。
- FTPを使用してEPSON PS Serverに印刷ファイルの転送が可能（Mac OS Xサーバはサポートしていません）。
- 印刷ジョブの印刷優先度の変更が可能。

■ AdobePS（Mac OS 9 のみ）

PostScript プリンタを制御するためのプリンタドライバです。[セレクト] からこのプリンタドライバを使って EPSON PS Server を選択します。[システムフォルダ] 内の [機能拡張] フォルダにインストールされます。

参考

- プリンタドライバ「AdobePS」は、ほかの PostScript プリンタを選択する場合にも使用できます。
- MS-Word、MS-Excel などの QuickDraw 対応のアプリケーションソフトウェアや、TrueType フォントを使用する場合は、本製品ではなく、各プリンタに標準添付されているプリンタドライバを使用することをお勧めします。
- PostScript プリンタとして使用しない場合も、各プリンタに標準添付されているプリンタドライバをお使いください。

■ PPD ファイル

PPD (PostScript Printer Description) ファイルは、各プリンタの特性を記述したファイルです。CMYK 用と RGB 用の 2 種類が利用できます。

- Windowsの場合は、プリンタドライバのインストール時にPPDファイルを指定してインストールします。CMYK 用と RGB 用の PPD ファイルを切り替えて使用する場合は、それぞれの PPD ファイルを指定してインストールし、印刷時にプリンタドライバを切り替えて使用してください。
- Mac OS X の場合は、[ライブラリ] フォルダの [プリンタ] フォルダにインストールされます。CMYK 用と RGB 用の PPD ファイルを切り替えて使用する場合は、[プリントセンター] の [プリンタの機種] で [Epson] を選択して、それぞれの PPD ファイルを指定して該当するプリンタの PPD ファイルを追加します。(表示される文字の大文字、小文字は、インストールされているプリンタドライバによって変わることがあります。)
- Mac OS 9 の場合は、[機能拡張] フォルダ内の [プリンタ記述ファイル] フォルダにインストールされます。CMYK 用と RGB 用の PPD ファイルを切り替えて使用する場合は、[セレクト]の[再設定]でPPDファイルを切り替えて使用してください。

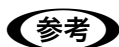
■ プリンタフォント

本製品で印刷できるフォント（書体）です。次の標準プリンタフォントがホストコンピュータの所定のフォルダにインストールされます。

漢字書体	CID フォント 2 書体 平成明朝 -W3、平成角ゴシック -W5
欧文書体	136 書体 AlbertusMT、AlbertusMT-Italic、AlbertusMT-Light、AntiqueOlive-Bold、AntiqueOlive-Compact、AntiqueOlive-Italic、AntiqueOlive-Roman、Apple-Chancery、Arial-BoldItalicMT、Arial-BoldMT、Arial-ItalicMT、ArialMT、AvantGarde-Book、AvantGarde-BookOblique、AvantGarde-Demi、AvantGarde-DemiOblique、Bodoni、Bodoni-Bold、Bodoni-BoldItalic、Bodoni-Italic、Bodoni-Poster、Bodoni-PosterCompressed、Bookman-Demi、Bookman-DemItalic、Bookman-Light、Bookman-LightItalic、Carta、Chicago、Clarendon、Clarendon-Bold、Clarendon-Light、CooperBlack、CooperBlack-Italic、Copperplate-ThirtyThreeBC、Copperplate-ThirtyTwoBC、Coronet-Regular、Courier、Courier-Bold、Courier-BoldOblique、Courier-Oblique、Eurostile、Eurostile-Bold、Eurostile-BoldExtendedTwo、Eurostile-ExtendedTwo、Geneva、GillSans、GillSans-Bold、GillSans-BoldCondensed、GillSans-BoldItalic、GillSans-Condensed、GillSans-ExtraBold、GillSans-Italic、GillSans-Light、GillSans-LightItalic、Goudy、Goudy-Bold、Goudy-BoldItalic、Goudy-ExtraBold、Goudy-Italic、Helvetica、Helvetica-Bold、Helvetica-BoldOblique、Helvetica-Condensed、Helvetica-Condensed-Bold、Helvetica-Condensed-BoldObl、Helvetica-Condensed-Oblique、Helvetica-Narrow、Helvetica-Narrow-Bold、Helvetica-Narrow-BoldOblique、Helvetica-Narrow-Oblique、Helvetica-Oblique、HoeflerText-Black、HoeflerText-BlackItalic、HoeflerText-Italic、HoeflerText-Ornaments、HoeflerText-Regular、JoannaMT、JoannaMT-Bold、JoannaMT-BoldItalic、JoannaMT-Italic、LetterGothic、LetterGothic-Bold、LetterGothic-BoldSlanted、LetterGothic-Slanted、LubalinGraph-Book、LubalinGraph-BookOblique、LubalinGraph-Demi、LubalinGraph-DemiOblique、Marigold、Monaco、MonaLisa-Recut、NewCenturySchlbk-Bold、NewCenturySchlbk-BoldItalic、NewCenturySchlbk-Italic、NewCenturySchlbk-Roman、NewYork、Optima、Optima-Bold、Optima-BoldItalic、Optima-Italic、Oxford、Palatino-Bold、Palatino-BoldItalic、Palatino-Italic、Palatino-Roman、StempelGaramond-Bold、StempelGaramond-BoldItalic、StempelGaramond-Italic、StempelGaramond-Roman、Symbol、Tekton、Times-Bold、Times-BoldItalic、Times-Italic、Times-Roman、TimesNewRomanPS-BoldItalicMT、TimesNewRomanPS-BoldMT、TimesNewRomanPS-ItalicMT、TimesNewRomanPSMT、Univers、Univers-Bold、Univers-BoldExt、Univers-BoldExtObl、Univers-BoldOblique、Univers-Condensed、Univers-CondensedBold、Univers-CondensedBoldOblique、Univers-CondensedOblique、Univers-Extended、Univers-ExtendedObl、Univers-Light、Univers-LightOblique、Univers-Oblique、Wingdings-Regular、ZapfChancery-MediumItalic、ZapfDingbats

■ スクリーンフォント（Mac OS X/Mac OS 9 の場合のみ）

画面表示用のフォントです。ホストコンピュータとクライアントコンピュータの [システムフォルダ] 内の [フォント] フォルダ（Mac OS 9）または [ライブラリ] フォルダ内の [Fonts] フォルダ（Mac OS X）にインストールされます。



欧文書体は、インストーラの [簡易インストール] ではインストールされません。[カスタムインストール] を選択してインストールしてください。

■ カラープロファイル

インストールされるプロファイルとインストール先は、次の通りです。

インストールされるプロファイル

- EuroscaleCoated.icc
- JapnaColor2001Coated.icc
- JapanWebCoated.icc
- USWebCoatedSWOP.icc
- AdobeRGB1988.icc
- AppleRGB.icc

インストールされる場所

- Windows XP
インストールしたディスク : %WINDOWS%system32%pool%drivers%color
- Windows2000
インストールしたディスク : %WINNT%system32%pool%drivers%color
- MacOSX
インストールしたディスク : / ユーザ /XXXX/ ライブラリ /ColorSync/Profiles

索引

A

Adobe RGB (Mac OS 9)	213
Adobe RGB (Mac OS X)	131
Adobe RGB (Windows)	53
AdobePS	240
Apple RGB (Mac OS 9)	213
Apple RGB (Mac OS X)	131
Apple RGB (Windows)	53

C

CMYK シミュレーション	
(Mac OS 9)	209
CMYK シミュレーション	
(Mac OS X)	124, 146
CMYK シミュレーション	
(Windows)	46, 65
CMYK シミュレーション機能	236
CMYK シミュレーション機能	
(Mac OS 9)	213
CMYK シミュレーション機能	
(Mac OS X)	131
CMYK シミュレーション機能	
(Windows)	53
CMYK (Mac OS X)	150
CMYK (Windows)	70

D

DIC (Mac OS 9)	213
DIC (Mac OS X)	131
DIC (Windows)	53

E

EPSON PS Manager	8, 240
EPSON PS Manager (Mac OS 9)	221
EPSON PS Manager (Mac OS X)	158
EPSON PS Manager (Windows)	79
EPSON PS Server	8, 240
EPSON PS Utility (Windows)	86
Euro (Mac OS 9)	213
Euro (Mac OS X)	131
Euro (Windows)	53

H

HTTP を使用してクライアント接続を 可能にする (Mac OS X)	143
---	-----

I

ICC プロファイル	236
ICC プロファイル (CMYK)	
(Windows)	70
ICC プロファイル (RGB)	
(Windows)	71
ICC プロファイル (用紙)	
(Windows)	71

J

JMPA (Mac OS 9)	213
JMPA (Mac OS X)	131
JMPA (Windows)	53

M

Macintosh 起動時にバックグラウンド 印刷を可能にする (Mac OS X)	140
---	-----

P

[PostScript オプション] ダイアログ	
(Mac OS 9)	196
[PostScript 設定] ダイアログ	
(Mac OS 9)	204
PostScript レベル (Mac OS 9)	204
PPD ファイル	241
PPD ファイル (Mac OS 9)	184

R

RGB シミュレーション	
(Mac OS 9)	210
RGB シミュレーション	
(Mac OS X)	125, 147
RGB シミュレーション	
(Windows)	46, 66
RGB シミュレーション機能	
(Mac OS 9)	213
RGB シミュレーション機能	
(Mac OS X)	131
RGB シミュレーション機能	
(Windows)	53

RGB レンダリングインテント (Mac OS 9)	210
RGB レンダリングインテント (Mac OS X)	125, 147
RGB レンダリングインテント (Windows)	46, 66
RGB (Mac OS X)	151
RGB (Windows)	71
RIP メモリサイズ (Mac OS X)	141

S

SWOP (Mac OS 9)	213
SWOP (Mac OS X)	131
SWOP (Windows)	53

T

TOYO (Mac OS 9)	213
TOYO (Mac OS X)	131
TOYO (Windows)	53

い

[一般設定] ダイアログ (Mac OS 9)	199
[一般設定] タブ (Mac OS X)	122
色調整 (Mac OS X)	151
色調整 (Windows)	71
インク情報アイコン (Mac OS X)	149
インク情報アイコン (Windows)	68
インク濃度 (Mac OS X)	153
インク濃度 (Windows)	74
印刷時間 (Mac OS 9)	200
印刷状況を表示 (Mac OS X)	156
印刷状況を表示 (Windows)	77
印刷ジョブのログを残す (Windows)	63
[印刷設定] ダイアログ (Mac OS X)	122
[印刷設定] ダイアログ (Windows)	42
印刷の向き (Windows)	42
[印刷部数と印刷ページ] ダイアログ (Mac OS X)	118
印刷方法 (Mac OS 9)	200

う

ウィンドウを非表示 (Mac OS X)	156
----------------------------	-----

ウィンドウを表示 (Mac OS X)	156
[ウォーターマーク] ダイアログ (Mac OS 9)	193

え

エラー状況を表示 (Mac OS X)	156
エラー状況を表示 (Windows)	77
[エラー処理] ダイアログ (Mac OS X)	120
[エラー設定] ダイアログ (Mac OS 9)	203

お

欧文書体	242
オートカット (Mac OS 9)	207
オートカット (Mac OS X)	123, 148
オートカット (Windows)	48, 67

か

解像度 (Mac OS 9)	206
解像度 (Mac OS X)	122, 146
解像度 (Windows)	45, 65
拡大縮小 (Mac OS X)	115
[カスタムページ設定] ダイアログ (Mac OS 9)	197
[カスタムページ設定] ダイアログ (Mac OS X)	115
カスタム用紙サイズ (Mac OS 9)	197
カスタム用紙サイズ (Mac OS X)	115
カット調節 (Mac OS X)	154
カット調節 (Windows)	75
カラー (Mac OS 9)	201, 206
カラー (Mac OS X)	124, 146
カラー (Windows)	45, 65
[カラー設定] ダイアログ	118
[カラー設定] ダイアログ (Mac OS 9)	201
[カラー設定] タブ (Mac OS X)	124
カラーマネージメント機能	236
カラーマネージャ設定 (Mac OS X) ..	150
カラーマネージャ設定 (Windows)	70
環境設定 (Mac OS X)	140
漢字書体	242

き

吸引力 (Mac OS X)	154
吸引力 (Windows)	74
給紙方法 (Mac OS 9)	199
給紙方法 (Mac OS X)	146
給紙方法 (Windows)	43, 64
切り取り線印刷 (Mac OS 9)	208
切り取り線印刷 (Mac OS X)	123, 148
切り取り線印刷 (Windows)	48, 67

く

クライアントパスワード (Mac OS X)	140
クライアントパスワード設定 (Windows)	63
グレースケール制御 (Mac OS X)	125, 147
グレースケール制御 (Mac OS 9)	209
グレースケール制御 (Windows)	46, 66

け

形式 (Mac OS 9)	204
---------------------	-----

こ

こすれ軽減 (Mac OS 9)	207
こすれ軽減 (Mac OS X)	127, 150
こすれ軽減 (Windows)	47, 69

さ

最小化時にタスクトレイにのみ表示 (Windows)	62
最大ジョブ数 (Mac OS X)	140
最大ジョブ保存数 (Windows)	63

し

シートごとのページ (Windows)	42
自動回転 (Mac OS 9)	206
自動回転 (Mac OS X)	123, 148
自動回転 (Windows)	47, 67
出力先 (Mac OS 9)	198
[詳細オプション] ダイアログ (Windows)	44
詳細設定 (Windows)	42, 43
[詳細設定] タブ (Mac OS X)	126

初期設定 (Windows)	62
書体	242
ジョブ情報の印刷 (Mac OS X)	127, 149
ジョブ情報の印刷 (Mac OS 9)	207
ジョブ情報の印刷 (Windows)	48, 68
ジョブ情報ログを出力する (Mac OS X)	140

す

スクリーンフォント	243
-----------------	-----

せ

製本 (Mac OS 9)	193
設定 (Mac OS X)	114
[設定を保存] (Mac OS 9)	198

そ

双方向印刷 (Mac OS 9)	207
双方向印刷 (Mac OS X)	122, 146
双方向印刷 (Windows)	45, 65

た

待機 (Mac OS 9)	208
待機 (Mac OS X)	127, 149
待機 (Windows)	48, 68
対象プリンタ (Mac OS X)	114

ち

丁合い (Mac OS X)	118
直接印刷 (Windows)	61, 139

つ

[追加オプション] ダイアログ (Mac OS 9)	200
-------------------------------------	-----

と

[トーンカーブ] ダイアログ (Mac OS X)	152
[トーンカーブ] ダイアログ (Windows)	72
ドラッグ&ドロップ印刷 (Mac OS X)	129
ドラッグ&ドロップ印刷 (Windows)	51
トレイの切り替え (Mac OS X)	120

ね

ネットワーク名 (Mac OS X) 142

は

排紙設定 (Mac OS X) 154

排紙補助 (Windows) 75

倍率 (Mac OS 9) 193

[バックグラウンド印刷] ダイアログ
(Mac OS 9) 200

ひ

ビジュアル効果 (Mac OS 9) 196

表紙 (Mac OS 9) 201

[表紙] ダイアログ (Mac OS 9) 201

表紙の給紙方法 (Mac OS 9) 201

ふ

ファイルとして保存 (Mac OS 9) 211

ファイルとして保存 (Mac OS X) 120

ファイルとして保存 (Windows) 49

フォーマット (Mac OS 9) 204

フォーマット (Mac OS X) 120

フォント 242

フォントデータ (Mac OS 9) 205

部数 (Mac OS 9) 199

部数 (Mac OS X) 118

部単位で印刷 (Mac OS 9) 199

フチなし (Mac OS 9) 207

フチなし (Mac OS X) 126, 149

フチなし (Windows) 68

フチなし印刷 (Mac OS 9) 217

フチなし印刷 (Mac OS X) 135, 137

フチなし印刷 (Windows) 47, 57, 59

フチなし印刷 (Mac OS 9) 219

プラテンギャップ (Mac OS X) 154

プラテンギャップ (Windows) 75

プリセット (Mac OS X) 117

プリンタ (Mac OS 9) 192, 198

プリンタ (Mac OS X) 117

[プリンタ固有機能] ダイアログ
(Mac OS 9) 206

プリンタ再選択 (Mac OS X) 155

プリンタ初期設定 (Mac OS X) 145

プリンタ初期設定 (Windows) 64

[プリンタのカラー調整] ダイアログ
(Mac OS 9) 209

プリンタの再選択 (Windows) 76

プリンタフォント 242

プリンタプロファイル (Mac OS 9) 202

プリントオプション (Mac OS 9) 196

[プリント] ダイアログ
(Mac OS 9) 198

[プリント] ダイアログ (Mac OS X) 117

プレビューウィンドウ (Mac OS 9) 193

プレビューウィンドウ (Windows) 42

プロファイル名 (CMYK)
(Mac OS X) 150

プロファイル名 (RGB)
(Mac OS X) 151

プロファイル名 (用紙)
(Mac OS X) 151

分割印刷 (Mac OS 9) 202

分割印刷 (Mac OS X) 118

へ

ページ (Mac OS 9) 199

ページ (Mac OS X) 118

[ページ設定] ダイアログ
(Mac OS X) 114

[ページ属性] ダイアログ
(Mac OS 9) 192

[ページ属性] ダイアログ
(Mac OS X) 114

ページの順序 (Windows) 42

ページ / 枚 (Mac OS 9) 202

ページ / 枚 (Mac OS X) 118

ヘッドパス毎の乾燥時間
(Mac OS X) 154

ヘッドパス毎の乾燥時間 (Windows) 74

ほ

方向 (Mac OS 9) 192

方向 (Mac OS X) 115

PostScript エラー (Mac OS X) 120

ホットフォルダ (Mac OS X) 167

ホットフォルダ (Windows) 86

ま

待ち時間 (Mac OS X) 142

め

メインウィンドウ (Mac OS X) 156

メインウィンドウ (Windows) 77

メッセージをクリア (Mac OS X) 156

メッセージをクリア (Windows) 76

ゆ

[ユーザー用紙調整] ダイアログ
(Windows) 74

よ

用紙 (Mac OS 9) 192

用紙 (Mac OS X) 151

用紙 (Windows) 71

用紙厚 (Mac OS X) 154

用紙厚 (Windows) 74

用紙送り補正值 (Mac OS X) 154

用紙送り補正值 (Windows) 74

用紙サイズ (Mac OS X) 114, 145

用紙サイズ (Windows) 44, 64

用紙種類 (Mac OS 9) 206

用紙種類 (Mac OS X) 122, 146

用紙種類 (Windows) 45, 65

[用紙設定] ダイアログ
(Mac OS 9) 192

[用紙設定] メニュー (Mac OS 9) 192

用紙調整 (Mac OS X) 151

用紙調整 (Windows) 71

[用紙調整] ダイアログ
(Mac OS X) 153

[用紙 / 品質] ダイアログ (Windows) ..43

ら

ラストスプールモード
(Mac OS X) 141

ラストスプールモード (Windows)62

り

リセット (Mac OS X) 151

リセット (Windows) 71

RIP メモリサイズ (Windows) 62

両面に印刷 (Mac OS 9) 203

れ

[レイアウト] ダイアログ 118

[レイアウト] ダイアログ
(Mac OS 9) 202

[レイアウト] ダイアログ
(Mac OS X) 118

レイアウトの方向 (Mac OS 9) 203

レイアウト方向 (Mac OS X) 119

わ

枠線 (Mac OS 9) 203

枠線 (Mac OS X) 119

割付印刷 (Mac OS 9) 202